― 目　次 ―

はじめに

１　調査の概要　・・・

はじめに

本年度の全国学力・学習状況調査は悉皆調査としては６回目、抽出調査を併せると８回目となります。また、今回は３年ぶりに理科についての調査も行われました。

さて、本県の児童生徒の学力の定着状況については、調査が始まった平成１９年度からの経年変化を見ると改善傾向にあります。そして、本年度、小学校は、国語・算数ともに全国平均を上回り、特に国語Ａは高知県教育振興基本計画重点プランの目標を達成するまでの結果を得ることができました。また、理科も前回調査より大きく改善しています。

一方、中学校は、国語・数学ともに全国平均を下回り、改善状態もここ数年続いている踊り場を脱することができておりません。さらに、理科については前回より全国との差が大きくなっています。

質問紙調査の結果を見ますと、小学校では学校の授業時間以外に「１時間以上」勉強している児童の割合が全国平均を上回り、中学校でも勉強時間が「３０分未満」の生徒の割合が減少してきています。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答した小中学生は、増加傾向にあり、子どもたちに学習習慣の定着が図られてきていることがうかがわれます。このことは、単元テストや各教科の学習シートなどが積極的に活用されたり、放課後における学習支援が組織的に取り組まれてきたり、そういった努力の積み重ねによるものと考えています。

しかしながら、先にも述べましたが、中学校の学力の改善度合いが停滞している状況があり、このことについては、危機感をもって対応していくことが必要と考えます。そして、子どもたちの学力をもう一段引き上げるために、各教科における指導方法をより一層研究し、工夫・改善を加え、また、組織的に思考力や表現力を伸ばす授業づくりを行っていくことが重要であります。

本報告書には、調査結果の分析を踏まえ、今後の指導に当って重視していくべき点や、各学校での授業改善の取り組みをより充実させていくための授業づくりのポイント、具体的な実践例等を示しています。

県教育委員会では、子どもたちが自らの夢や志を実現していくための生きる力を育むために、各学校の学校経営計画に基づく取り組みがより強力に、より組織的に進められるよう一層の支援を行ってまいります。各市町村（学校組合）教育委員会や各学校におかれましては、本報告書を参考に課題の改善に積極的に、かつ具体的に取り組んでくださるようお願いします。

平成２７年１０月　高知県教育委員会

平成２７年度全国学力・学習状況調査
調査の結果について

１　調査の概要

（１）　調査の目的

◇　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
◇　学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
◇　そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

（２）　実施日　平成２７年４月２１日（火）

（３）　調査内容

◇　小学校第６学年、中学校第３学年の全児童生徒を対象
◇　教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科を出題
◇　主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を出題
◇　生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

（４）　県内（公立学校）の参加状況

◇　参加学校数

公立小学校１９３校

公立中学校１０９校
※特別支援学校（中学部）３校を含む
公立小・中学校合計学校数３０２校

◇　小学校解答（回答）児童数

国語Ａ	５，６６３名	国語Ｂ	５，６５７名
算数Ａ	５，６６３名	算数Ｂ	５，６５６名
理科	５，６５７名		
児童質問紙	５，６６０名		

◇　中学校解答（回答）生徒数

国語Ａ	４，９３４名	国語Ｂ	４，９２５名
数学Ａ	４，９３５名	数学Ｂ	４，９２８名
理科	４，９２６名		
生徒質問紙	４，９３９名		

2　教科に関する調査の結果

小学校（国語・算数）

		国語平均正答率（%）		高知県と全国の差	算数平均正答率（%）		高知県と全国の差
		高知県（公立）	全国（公立）		高知県（公立）	全国（公立）	
A	**平成27年度**	**73.4**	**70.0**	**3.4**	**77.0**	**75.2**	**1.8**
	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5～82.7)	81.6 (81.4～81.7)	0.5	74.7 (73.9～75.6)	73.3 (73.1～73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2～83.5)	83.3 (83.2～83.5)	-0.5	75.3 (74.3～76.3)	74.2 (74.0～74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
	平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5
B	**平成27年度**	**67.0**	**65.4**	**1.6**	**44.6**	**45.0**	**-0.4**
	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4～54.3)	55.6 (55.4～55.8)	-2.2	58.1 (57.1～59.1)	58.9 (58.7～59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2～79.0)	77.8 (77.7～78.0)	0.3	48.2 (47.2～49.2)	49.3 (49.1～49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9

小学校（理科）

	理科平均正答率（%）		高知県と全国の差
	高知県（公立）	全国（公立）	
平成27年度	**60.3**	**60.8**	**-0.5**
平成24年度	59.6 (58.8～60.4)	60.9 (60.8～61.1)	-1.3

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。
（　　）の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。
※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。
※理科については、平成24年度と本年度（平成27年度）に実施した調査結果を示している。

中学校（国語・数学）

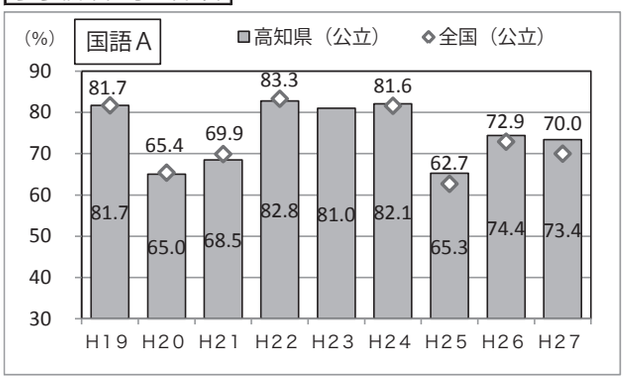
		国語平均正答率（%）		高知県と全国の差	数学平均正答率（%）		高知県と全国の差
		高知県（公立）	全国（公立）		高知県（公立）	全国（公立）	
A	**平成27年度**	**73.3**	**75.8**	**−2.5**	**59.9**	**64.4**	**−4.5**
	平成26年度	77.2	79.4	−2.2	62.7	67.4	−4.7
	平成25年度	74.3	76.4	−2.1	59.3	63.7	−4.4
	平成24年度	72.5 (71.8～73.1)	75.1 (75.0～75.2)	−2.6	58.3 (57.4～59.2)	62.1 (62.0～62.3)	−3.8
	平成23年度	78.5			54.3		
	平成22年度	72.6 (72.0～73.3)	75.1 (75.0～75.2)	−2.5	59.5 (58.3～60.7)	64.6 (64.4～64.8)	−5.1
	平成21年度	74.2	77.0	−2.8	56.5	62.7	−6.2
	平成20年度	70.0	73.6	−3.6	54.5	63.1	−8.6
	平成19年度	78.1	81.6	−3.5	62.8	71.9	−9.1
B	**平成27年度**	**62.9**	**65.8**	**−2.9**	**36.2**	**41.6**	**−5.4**
	平成26年度	47.7	51.0	−3.3	53.6	59.8	−6.2
	平成25年度	64.8	67.4	−2.6	35.4	41.5	−6.1
	平成24年度	61.6 (60.9～62.3)	63.3 (63.2～63.4)	−1.7	45.4 (44.3～46.6)	49.3 (49.2～49.5)	−3.9
	平成23年度	61.0			45.2		
	平成22年度	61.0 (60.0～62.1)	65.3 (65.1～65.5)	−4.3	36.6 (35.4～37.9)	43.3 (43.1～43.5)	−6.7
	平成21年度	69.8	74.5	−4.7	49.7	56.9	−7.2
	平成20年度	54.7	60.8	−6.1	41.5	49.2	−7.7
	平成19年度	64.0	72.0	−8.0	50.6	60.6	−10.0

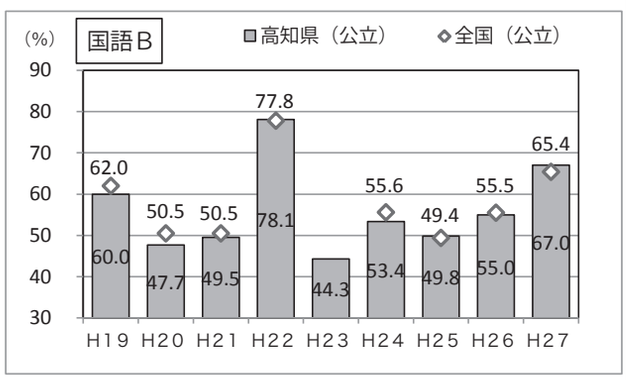
中学校（理科）

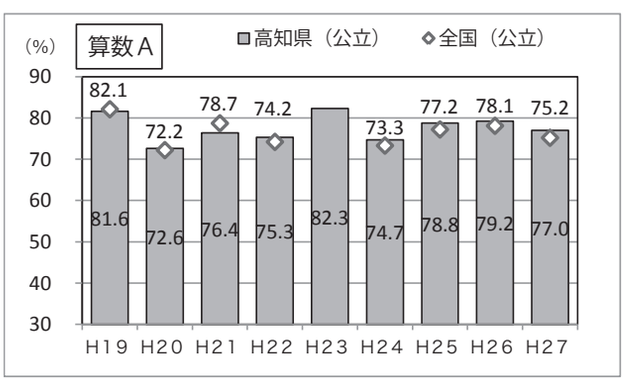
	理科平均正答率（%）		高知県と全国の差
	高知県（公立）	全国（公立）	
平成27年度	**47.3**	**53.0**	**−5.7**
平成24年度	47.3 (46.5～48.0)	51.0 (50.9～51.1)	−3.7

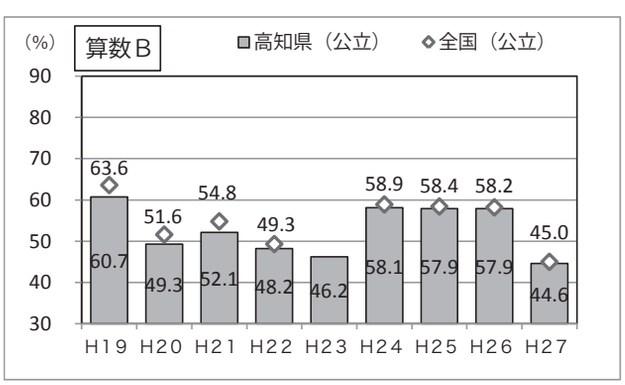
※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。
（　　）の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。
※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。
※理科については、平成24年度と本年度（平成27年度）に実施した調査結果を示している。

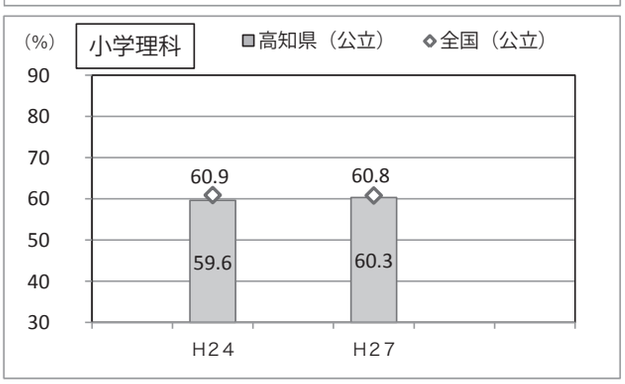
小学校（平均正答率）



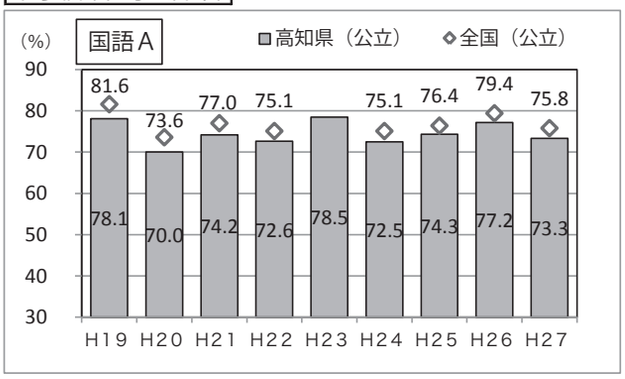


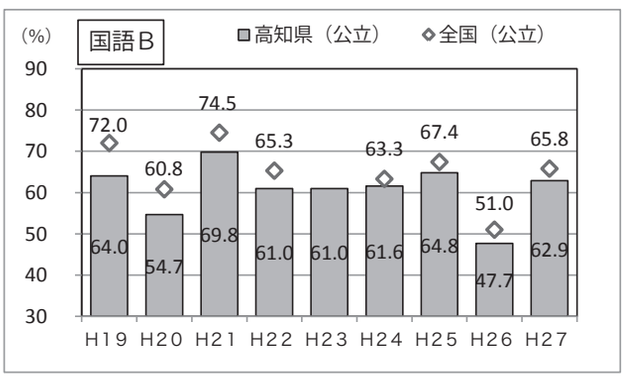


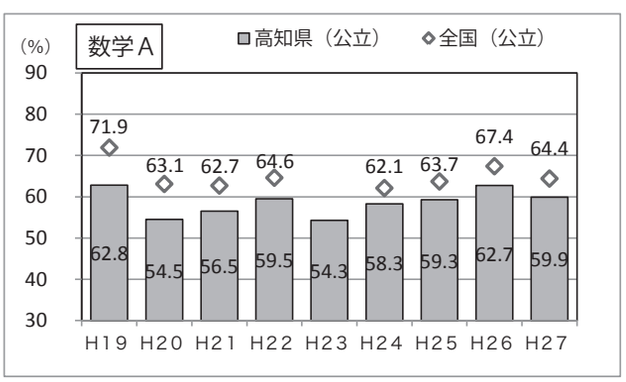


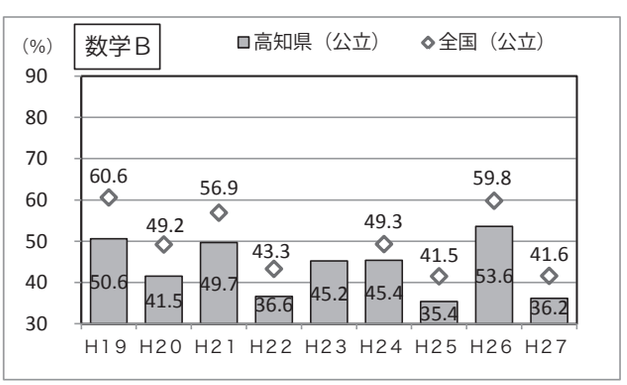


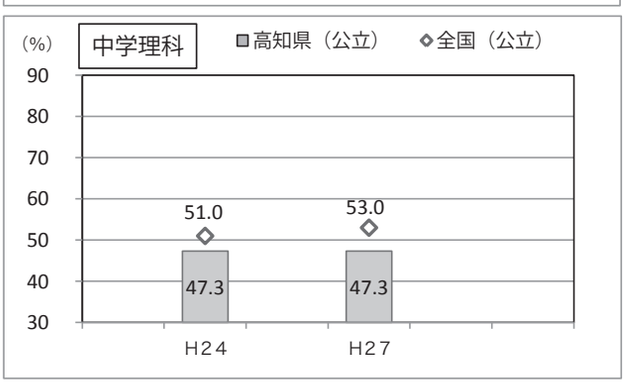
中学校（平均正答率）





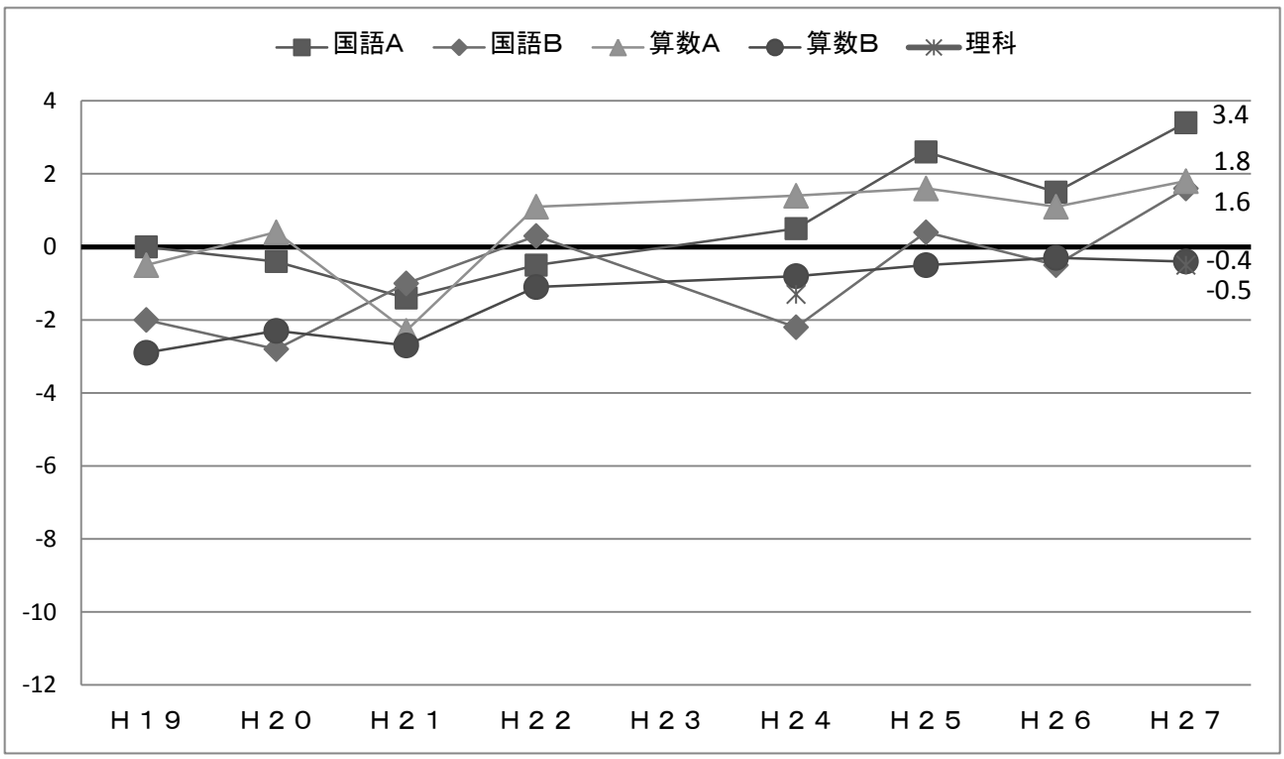




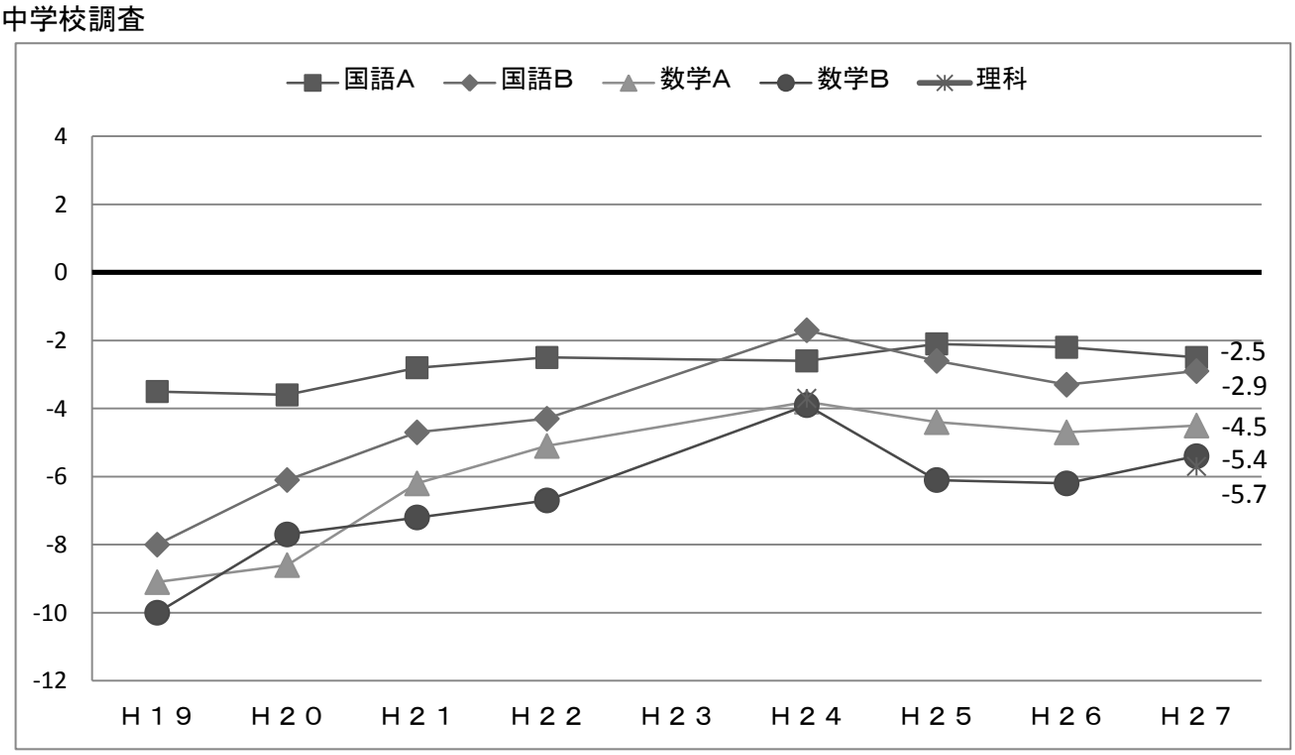


［教科に関する全国平均正答率との差］

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。（平成23年度の全国の値はない。）

３　各教科に関する学力の状況

【小学校国語】

○　国語Ａ（知識）の平均正答率は７３．４％で、例えば、次のような課題が見られた。
・話の内容に対する聞き方を工夫すること[３　５１．１％]
・新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること[５二　２１．３％]

○　国語Ｂ（活用）の平均正答率は６７．０％で、例えば、次のような課題が見られた。
・目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと[１三　３７．６％]
・文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くこと[２三　４４．９％]

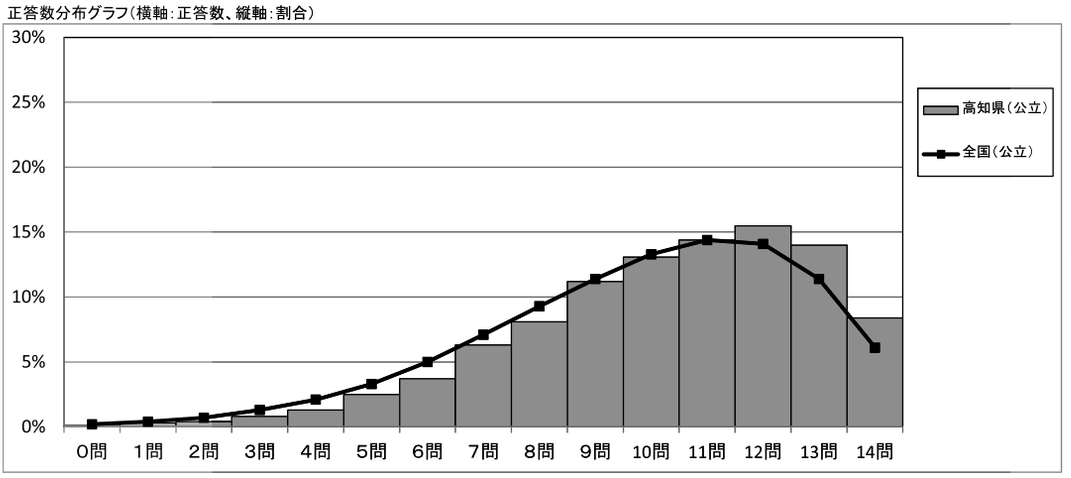
平成27年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査
調査結果概況　[国語A　主として知識]
高知県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	5,663	10.3/14	73.4	11.0	2.6
全国（公立）	1,061,264	9.8/14	70.0	10.0	2.8

正答数（割合（%））	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.3
5問	2.5
6問	3.7
7問	6.3
8問	8.1
9問	11.2
10問	13.1
11問	14.4
12問	15.5
13問	14.0
14問	8.4

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



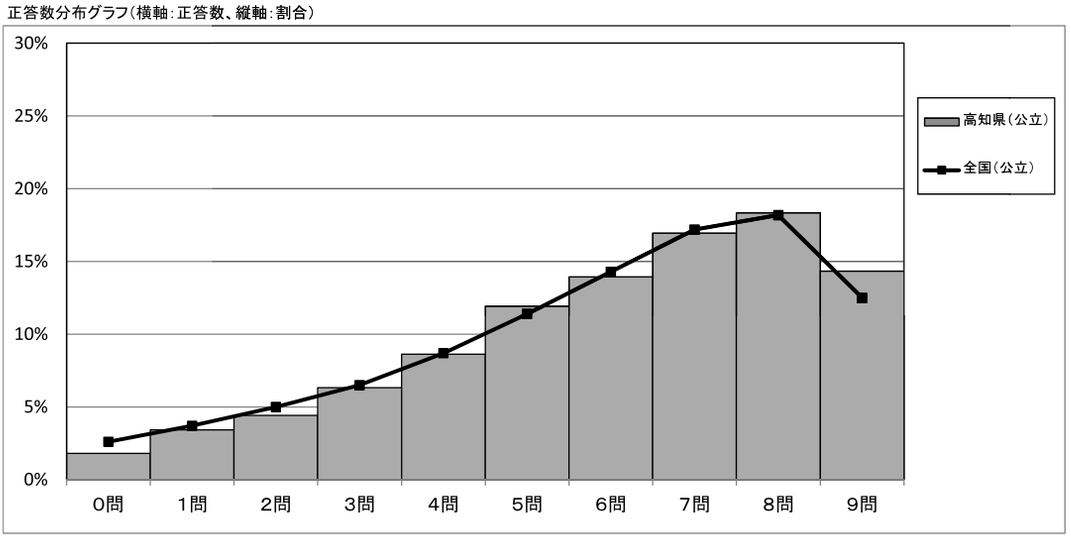
平成27年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査
調査結果概況　[国語B　主として活用]
高知県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	5,657	6.0/9	67.0	6.0	2.3
全国（公立）	1,061,093	5.9/9	65.4	6.0	2.4

正答数（割合（%））	
0問	1.8
1問	3.4
2問	4.4
3問	6.3
4問	8.6
5問	11.9
6問	13.9
7問	16.9
8問	18.3
9問	14.3

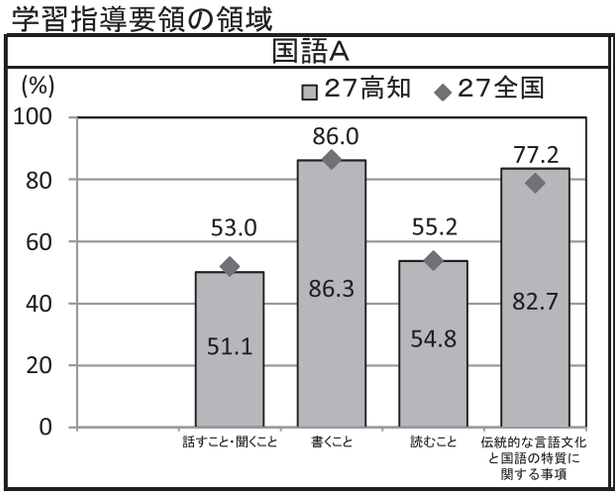
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

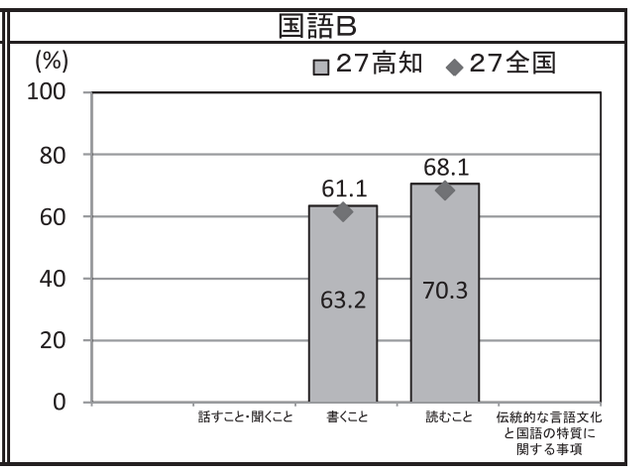


【分類・区分別の状況】

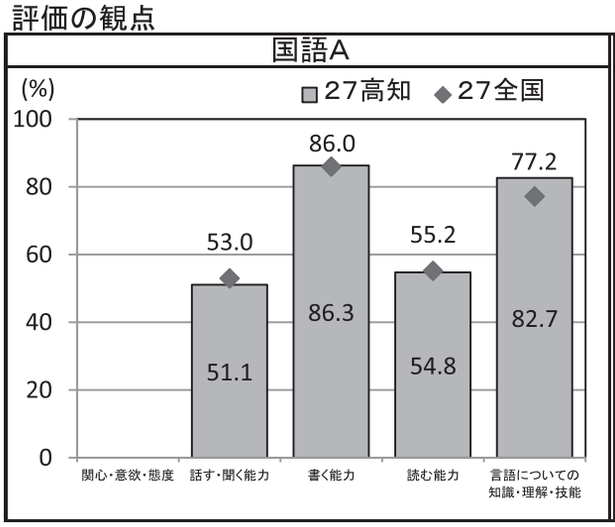
○　領域別では、国語Ａ（知識）の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で平均正答率が全国平均より５．５ポイント高い。
○　観点別では、国語Ｂ（活用）の「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が全国平均より３．７ポイント高い。
○　問題形式別では、国語Ａ（知識）の「短答式」で平均正答率が全国平均より５．０ポイント高く、国語Ｂ（活用）の「記述式」で平均正答率が全国平均より３．７ポイント高い。

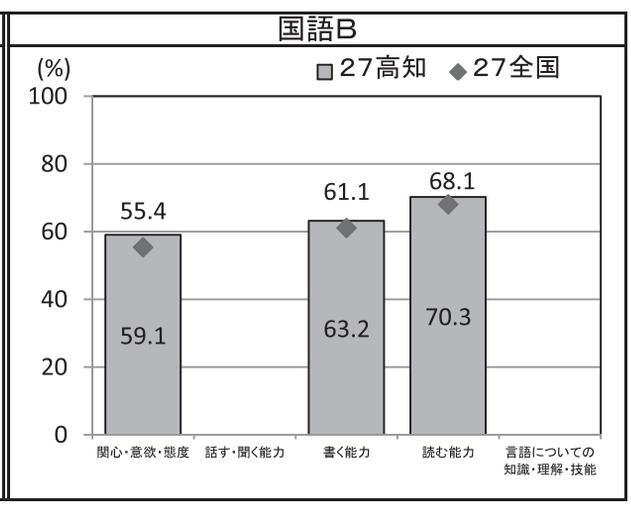
学習指導要領の領域



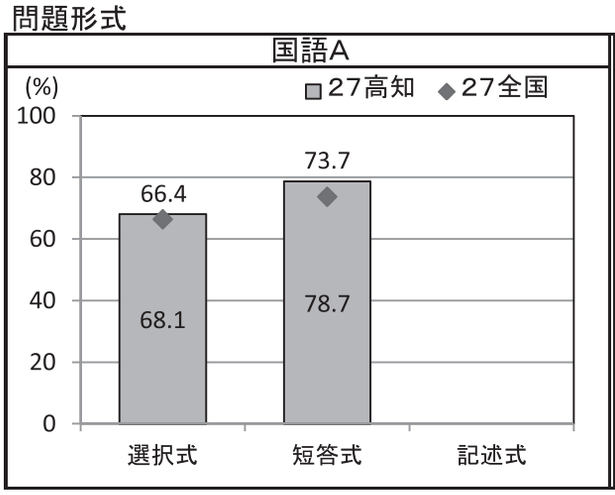


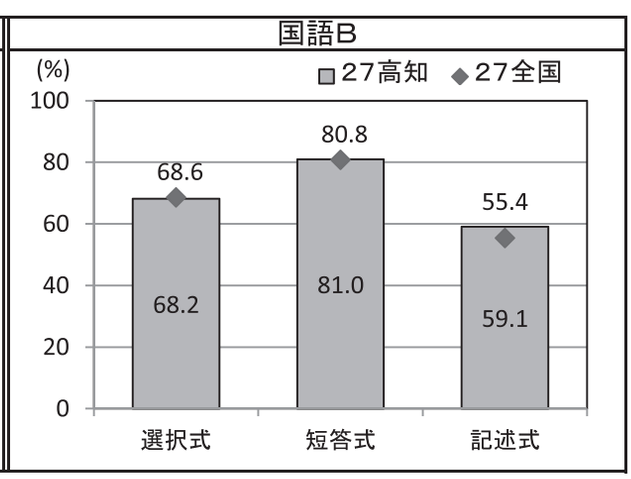
評価の観点





問題形式





【設問別集計結果　小学校国語】

■国語Ａ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一1	漢字を読む（友人を家に招く）	伝	言	短答式	0.5	98.0	97.5	0.5	0.7
1一2	漢字を読む（自分の信念をつらぬく）	伝	言	短答式	0.1	96.1	96.0	0.6	0.9
1一3	漢字を読む（全員がすぐに承知した）	伝	言	短答式	5.0	97.5	92.5	0.5	2.5
1二1	漢字を書く（シャワーをあびる）	伝	言	短答式	13.6	72.0	58.4	7.3	17.2
1二2	漢字を書く（鳥のすを観察する）	伝	言	短答式	6.5	83.0	76.5	2.4	5.7
1二3	漢字を書く（びょういんに行く）	伝	言	短答式	8.1	83.0	74.9	2.3	4.7
2一	文の主語として適切なものを選択する	伝	言	選択式	12.7	65.8	53.1	0.2	0.6
2二	文の型として適切なものを選択する	伝	言	選択式	4.3	76.0	71.7	0.2	0.5
3	聞き方の説明として適切なものを選択する	話	話	選択式	−1.9	51.1	53.0	0.2	0.5
4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	書	書	選択式	0.3	86.3	86.0	0.1	0.3
5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する	読	読	選択式	−2.9	56.6	59.5	0.9	1.6
5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	読	読	短答式	1.5	21.3	19.8	3.8	7.7
6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	読	読	選択式	0.6	68.1	67.5	1.1	2.6
7	応募のきまりを守っていないものを選択する	読 / 伝	読 / 言	選択式	−1.0	72.9	73.9	2.1	4.3

■国語Ｂ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	書	書	選択式	−0.5	74.1	74.6	0.3	0.5
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	書	書	選択式	−1.7	69.1	70.8	0.3	0.6
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	書	関 / 書	記述式	2.9	37.6	34.7	3.4	4.0
2一ア	ア に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	読	読	短答式	−0.2	75.3	75.5	2.5	3.6
2一イ	イ に入る言葉として適切な内容を書き抜く	読	読	短答式	0.7	86.7	86.0	3.7	5.6
2二	【文章】の要旨をまとめて書く	書 / 読	関/書/読	記述式	2.7	81.1	78.4	5.9	7.0
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	書 / 読	関/書/読	記述式	3.3	44.9	41.6	6.7	8.7
3一	〈絵３〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する	読	読	選択式	0.9	61.3	60.4	7.0	9.7
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	書 / 読	関/書/読	記述式	6.0	72.6	66.6	10.6	15.1

「太　字」は、全国正答率より１０ポイントをこえて高い正答率

「太　字」は、全国正答率より５ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇　「目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることに改善が見られる。
〔B 2 二〕

→「目的に応じて資料を読み、全体から分かることを書くことに依然として課題があり、指導の充実が求められる。」（『平成２５年度全国学力・学習状況調査の概要』P.８による）

◆　新聞のコラムを読んで、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成や表現の工夫を捉えることに課題がある。また、引用することに、依然として課題がある。　〔A 5 一、二〕

→「相手の発言を引用して質問や意見を述べたり、必要となる情報を取り出し、それらを関係付けながらまとめたりする点に、依然として課題がある。」

（『平成 26 年度全国学力・学習状況調査の概要』P.８による）

【学習指導要領の領域別状況】　<◇…相当数の児童ができている点　◆…課題がある点　〔　〕設問番号>

話すこと・聞くこと	◆話の内容に対する聞き方を工夫することに課題がある。〔A 3〕
書くこと	◇説明する文章の書き方の工夫として、具体的な事例を挙げて書くことについては、相当数の児童ができている。〔A 4〕 ◇目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることについては、相当数の児童ができている。〔B 2 二〕 ◆学校新聞を書く場面において、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。〔B 1 三〕 ◆図やグラフなどを読み、自分の考えを伝えるために効果的に用いたり、文章と図やグラフなどとを関係付けて、自分の考えを書いたりすることに課題がある。〔B 2 三〕
読むこと	◇目的に応じ、中心となる語や文を捉えることは、相当数の児童ができている。〔B 2 一イ〕 ◆物語の登場人物の相互関係を捉えることに課題がある。〔A 6〕 ◆登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えることに課題がある。〔B 3 一〕 ◆新聞のコラムを読んで、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成や表現の工夫を捉えることに課題がある。また、引用することに課題がある。〔A 5 一、二〕
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇今回出題された漢字の読みや書きは、相当数の児童ができているものがある。〔A 5 一、二〕 ◆文の中における主語を捉えることに課題がある。〔A 2 一〕

【正答率が高い問題】

A 1 一１	漢字の読み（招く）	[98.0%]
A 1 一３	漢字の読み（承知）	[97.5%]
A 1 一２	漢字の読み（信念）	[96.1%]

【正答率が低い問題】

A 5 二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	[21.3%]
B 1 三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	[37.6%]
B 2 三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	[44.9%]

【中学校国語】

○　国語Ａ（知識）の平均正答率は７３．３％で、例えば、次のような課題が見られた。
・表現の技法について理解すること［３一　５３．９％］
・単語の類別について理解すること［９四②　３０．０％］

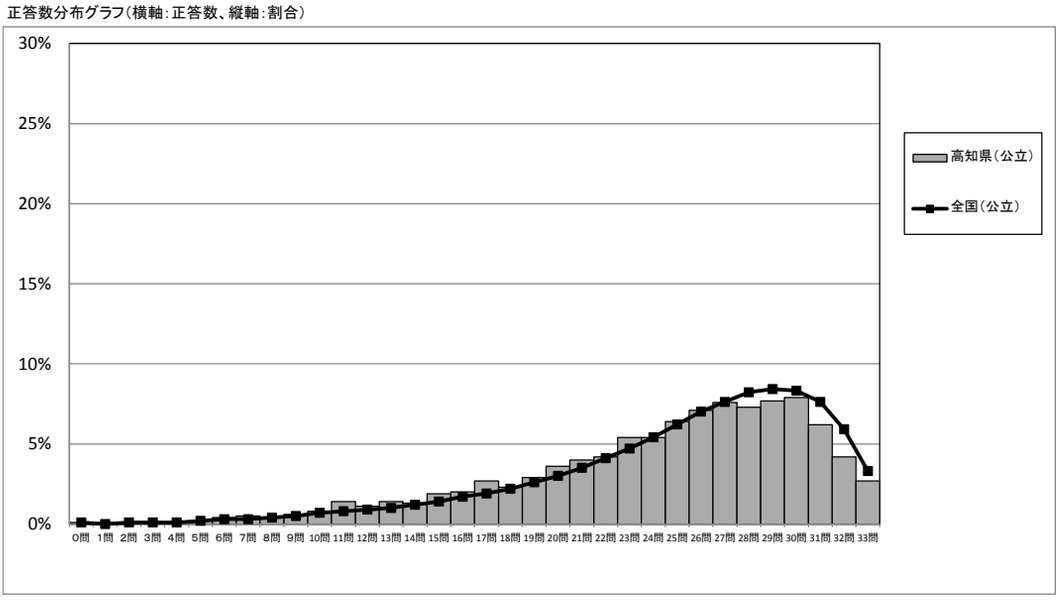
○　国語Ｂ（活用）の平均正答率は６２．９％で、例えば、次のような課題が見られた。
・複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えをもつこと［２三　２１．２％］
・文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと［３三　２８．５％］

平成27年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査
調査結果概況　［国語A　主として知識］
高知県－生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	4,934	24.2/33	73.3	26.0	6.2
全国（公立）	1,016,451	25.0/33	75.8	26.0	6.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



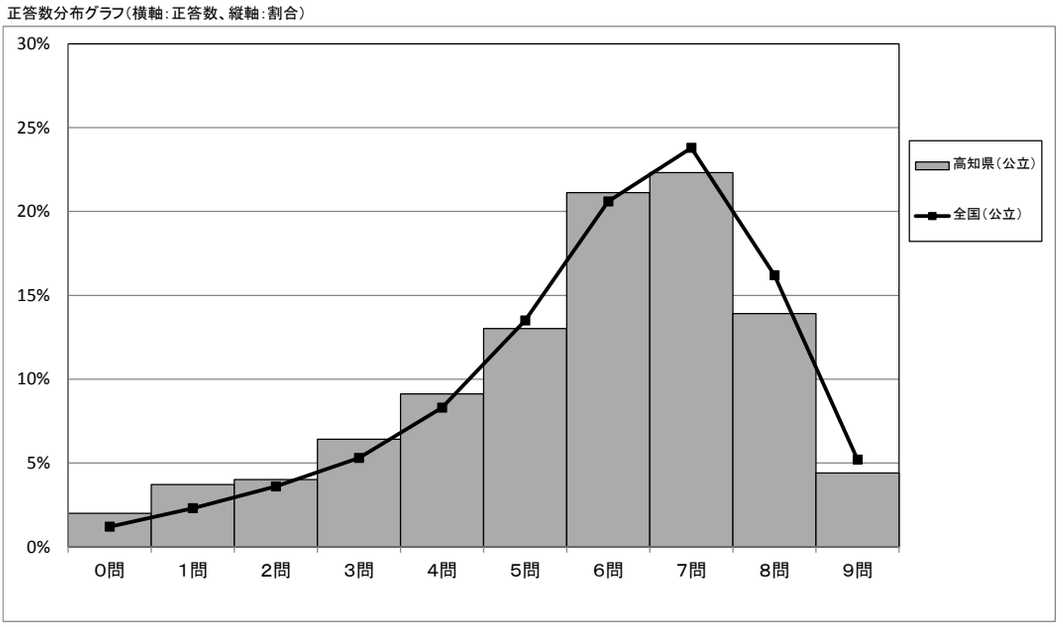
正答数（割合（%））	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.1
4問	0.1
5問	0.2
6問	0.4
7問	0.5
8問	0.4
9問	0.6
10問	0.8
11問	1.4
12問	1.1
13問	1.4
14問	1.3
15問	1.9
16問	2.0
17問	2.7
18問	2.3
19問	2.9
20問	3.6
21問	4.0
22問	4.2
23問	5.4
24問	5.4
25問	6.4
26問	7.1
27問	7.6
28問	7.3
29問	7.7
30問	7.9
31問	6.2
32問	4.2
33問	2.7

平成27年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査
調査結果概況　［国語B　主として活用］
高知県－生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	4,925	5.7/9	62.9	6.0	2.1
全国（公立）	1,016,575	5.9/9	65.8	6.0	2.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

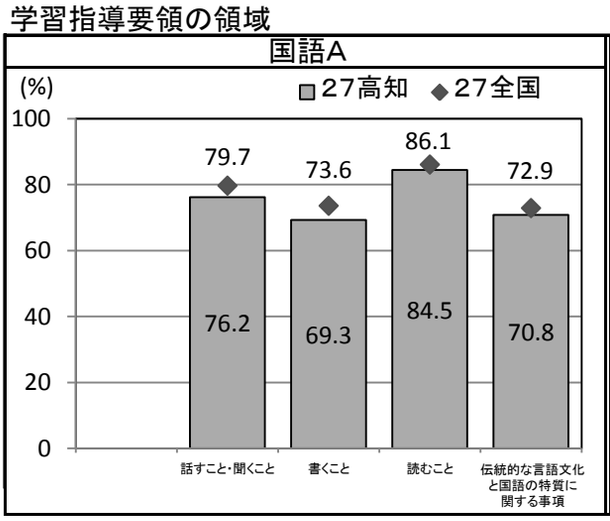


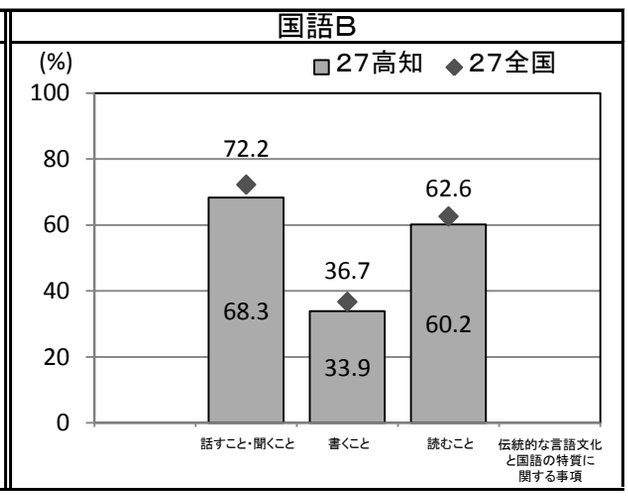
正答数（割合（%））	
0問	2.0
1問	3.7
2問	4.0
3問	6.4
4問	9.1
5問	13.0
6問	21.1
7問	22.3
8問	13.9
9問	4.4

【分類・区分別の状況】

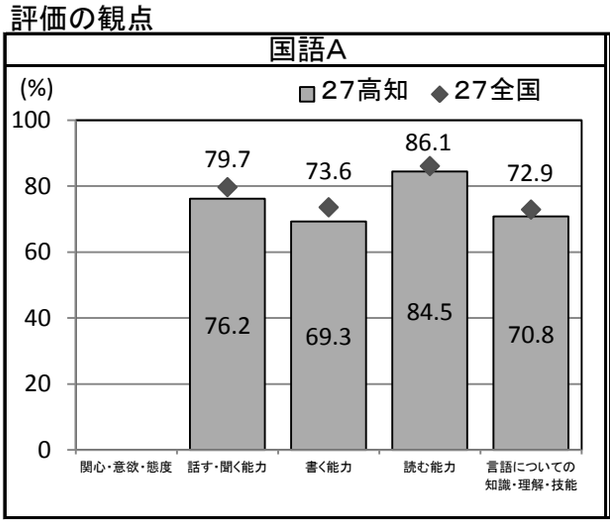
○　領域別では、国語Ａ（知識）の「書くこと」で平均正答率が全国平均より４．３ポイント低い。
○　観点別では、国語Ｂ（活用）の「話す・聞く能力」で平均正答率が全国平均より３．９ポイント低い。
○　問題形式別では、国語Ａ（知識）の「短答式」で平均正答率が全国平均より４．２ポイント低い。

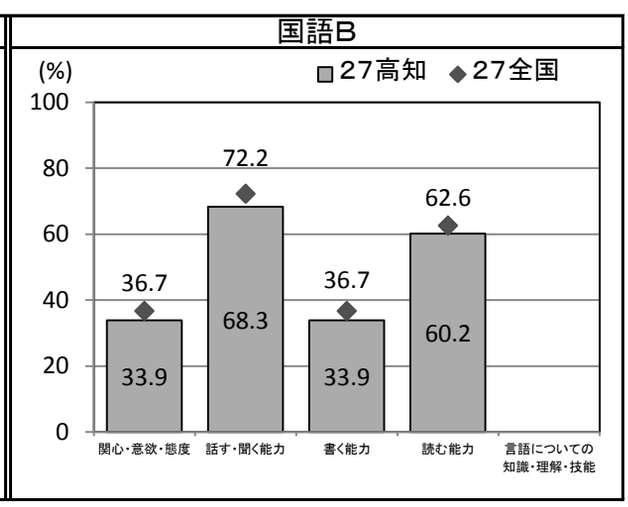
学習指導要領の領域



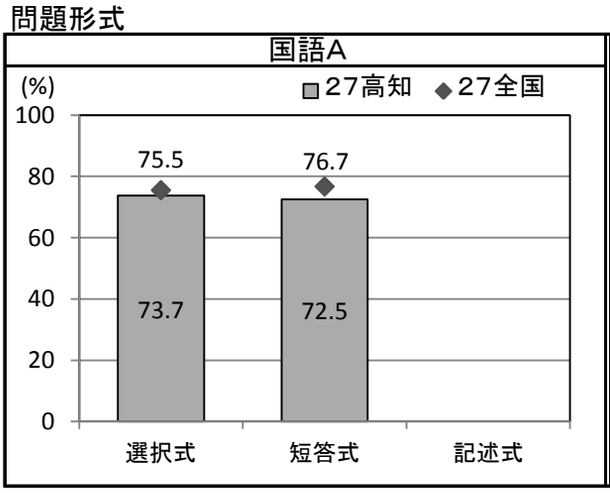


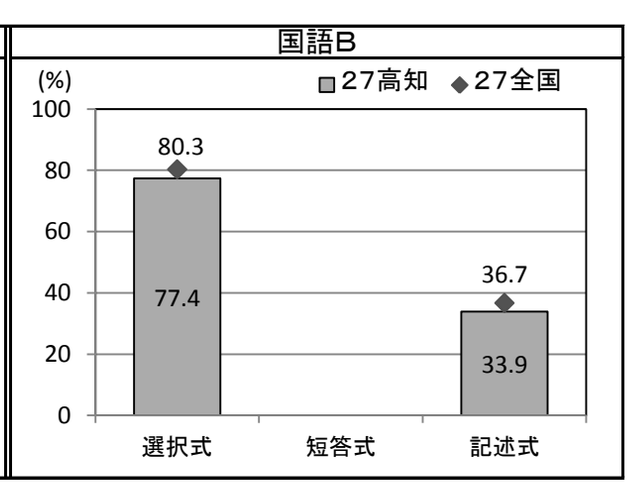
評価の観点





問題形式





【設問別集計結果　中学校国語】

■国語Ａ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する	話	話	選択式	−2.1	90.9	93.0	0.1	0.1
1二	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に直す	話	話	短答式	−5.3	59.7	65.0	13.9	12.0
2一	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する	書	書	選択式	−2.0	77.8	79.8	0.2	0.2
2二	意見文を直した意図として適切なものを選択する	書	書	選択式	−3.6	80.0	83.6	0.1	0.2
3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	伝	言	選択式	−4.4	53.9	58.3	0.5	0.4
3二	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する	読	読	選択式	−1.2	87.5	88.7	0.2	0.2
3三	嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する	読	読	選択式	−1.4	88.4	89.8	0.4	0.3
4一	棒グラフの ▭ 部の変化の内容を適切に書く	書	書	短答式	−8.6	59.0	67.6	5.3	4.2
5一	「なぜ、排水管はＳ字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する	読	読	選択式	−0.7	92.9	93.6	0.3	0.2
6一	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する	読	読	選択式	−2.2	69.1	71.3	0.4	0.3
6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	読	読	選択式	−2.3	84.8	87.1	0.6	0.4
7一	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	書	書	選択式	−3.3	67.3	70.6	1.0	0.7
7二	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える	書	書	短答式	−4.1	62.3	66.4	11.2	8.6
8一	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	話	話	選択式	−2.2	82.4	84.6	0.8	0.6
8二	意図に合った質問として適切なものを選択する	話	話	選択式	−4.3	71.8	76.1	1.0	0.7
9一1	漢字を書く（ビョウソク五メートルの風が吹く）	伝	言	短答式	−1.4	87.1	88.5	3.1	2.2
9一2	漢字を書く（地図のシュクシャクを調べる）	伝	言	短答式	−5.1	67.0	72.1	12.1	10.1
9一3	漢字を書く（アマったお金を貯金する）	伝	言	短答式	−4.3	66.6	70.9	17.6	15.9
9二1	漢字を読む（詳細に述べる）	伝	言	短答式	−8.3	69.9	78.2	6.3	5.1
9二2	漢字を読む（シャツの袖をまくる）	伝	言	短答式	−0.6	93.5	94.1	1.4	1.2
9二3	漢字を読む（学校のことが新聞に載る）	伝	言	短答式	0.1	97.3	97.2	1.5	1.3
9三ア	適切な語句を選択する（将来は、気象予報士になりたい）	伝	言	選択式	−0.8	96.8	97.6	0.7	0.5
9三イ	適切な語句を選択する（彼がこの討論の口火を切った）	伝	言	選択式	−2.7	52.8	55.5	1.2	0.9
9三ウ	適切な敬語を選択する（私が先生のお宅に参ります）	伝	言	選択式	1.4	85.5	84.1	0.7	0.7
9三エ	適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ）	伝	言	選択式	1.0	71.8	70.8	1.2	0.8
9三オ	適切な語句を選択する（たなびく雲の間から、春の光がもれている）	伝	言	選択式	0.6	49.6	49.0	0.9	0.7
9三カ	適切な語句を選択する（新聞を読む習慣を身に付ける）	伝	言	選択式	0.1	87.0	86.9	1.0	0.9
9四①	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	伝	言	選択式	−1.6	60.7	62.3	1.1	0.9
9四②		伝	言	選択式	−3.7	30.0	33.7	1.2	1.1
9五	運筆の際の説明に対応する部分として適切なものを選択する	伝	言	選択式	−1.9	84.0	85.9	1.0	0.8
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する	伝	言	選択式	−1.0	57.2	58.2	1.3	1.2
9七1	漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する	伝	言	選択式	−3.4	71.9	75.3	1.8	1.4
9七2	古典の作品名を漢字で書く	伝	言	短答式	−4.6	62.1	66.7	12.4	9.9

■国語Ａ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	話	話	選択式	−4.6	68.6	73.2	0.3	0.2
1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	話	話	選択式	−3.2	84.1	87.3	0.5	0.4
1三	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	話 / 書	関/話/書	記述式	−4.2	52.0	56.2	4.9	2.8
2一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	読	読	選択式	−3.3	79.3	82.6	0.4	0.3
2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	読	読	選択式	−4.6	63.2	67.8	0.4	0.3
2三	資料を参考にして 2020 年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	書 / 読	関/書/読	記述式	−1.8	21.2	23.0	5.9	3.7
3一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	読	読	選択式	−1.6	87.0	88.6	0.6	0.5
3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する	読	読	選択式	−0.7	81.9	82.6	0.8	0.7
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	書 / 読	関/書/読	記述式	−2.6	28.5	31.1	14.7	11.2

「白抜き」は、全国正答率より５ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇　表現の工夫について自分の考えをもつことに改善が見られる。　〔B3一、二〕
→「文章の構成や表現の仕方などについて自分の考えをもつことに課題がある。」
（『平成２６年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.16による）

◆　伝えたい事実や事柄について自分の考えを表してはいるが、根拠を明確にして書く点に、依然として課題がある。　〔B1三、B3三〕
→「根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに、依然として課題がある。」

◆　目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが、それらを基にして自分の考えを具体的にまとめる点に、依然として課題がある。　〔B2三〕
→「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに、依然として課題がある。」
（『平成２６年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.16による）

【学習指導要領の領域別状況】　<◇…相当数の生徒ができている点　◆…課題がある点　〔　〕設問番号>

話すこと・聞くこと	◇相手の反応を踏まえて話すことは、相当数の生徒ができている。　〔A1一〕
	◇必要に応じて質問しながら聞き取ることは、相当数の生徒ができている。　〔A8一〕
	◆聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話すことに課題がある。　〔A1二〕
書くこと	◇書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くことは、相当数の生徒ができている。〔A2二〕
	◆伝えたい事実を明確に書くことに課題がある。　〔A4一〕
	◆伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。　〔A7二〕
	◆伝えたい事実や事柄について自分の考えを表してはいるが、根拠を明確にして書く点に課題がある。〔B1三、B3三〕
読むこと	◇文章から適切な情報を得て、考えをまとめることは、相当数の生徒ができている。　〔A5一〕
	◇表現の工夫について自分の考えをもつことは、相当数の生徒ができている。　〔B3一、二〕
	◆文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることに課題がある。〔B2二〕
	◆目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが、それらを基にして自分の考えを具体的にまとめる点に課題がある。　〔B2三〕
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇毛筆を用いて楷書で文字を書くことは、相当数の生徒ができている。　〔A9五〕
	◆語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。〔A9三イ、オ〕
	◆単語の類別について理解することに課題がある。　〔A9四〕

【正答率が高い問題】

A9二３	漢字の読み（載る）	[97.3%]
A9三ア	適切な語句の選択（気象）	[96.8%]
A9二２	漢字の読み（袖）	[93.5%]

【正答率が低い問題】

B2三	資料を参考にして２０２０年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	[21.2%]
B3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	[28.5%]
A9四②	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	[30.0%]

【小学校算数】

○　算数Ａ（知識）の平均正答率は７７．０％で、例えば、次のような課題が見られた。
・分度器を用いて、１８０度よりも大きい角の大きさを求めること［４（２）５８．２％］
・示された三角形が二等辺三角形になる根拠を円の性質と関連付けて判断すること［５（１）５１．５％］

○　算数Ｂ（活用）の平均正答率は４４．６％で、例えば、次のような課題が見られた。
・示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めること［２（２）１５．０％］
・長方形の面積を２等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述すること
［５（１）１１．５％］

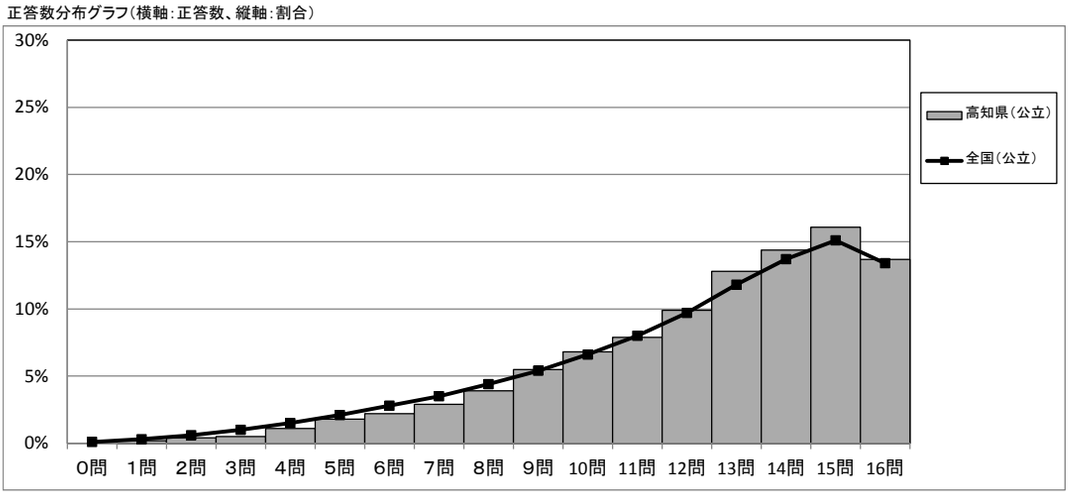
平成27年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査
調査結果概況　［算数A　主として知識］
高知県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	5,663	12.3/16	77.0	13.0	3.1
全国（公立）	1,061,301	12.0/16	75.2	13.0	3.4

正答数（割合（%））	
0問	0.0
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.5
4問	1.1
5問	1.8
6問	2.2
7問	2.9
8問	3.9
9問	5.5
10問	6.8
11問	7.9
12問	9.9
13問	12.8
14問	14.4
15問	16.1
16問	13.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



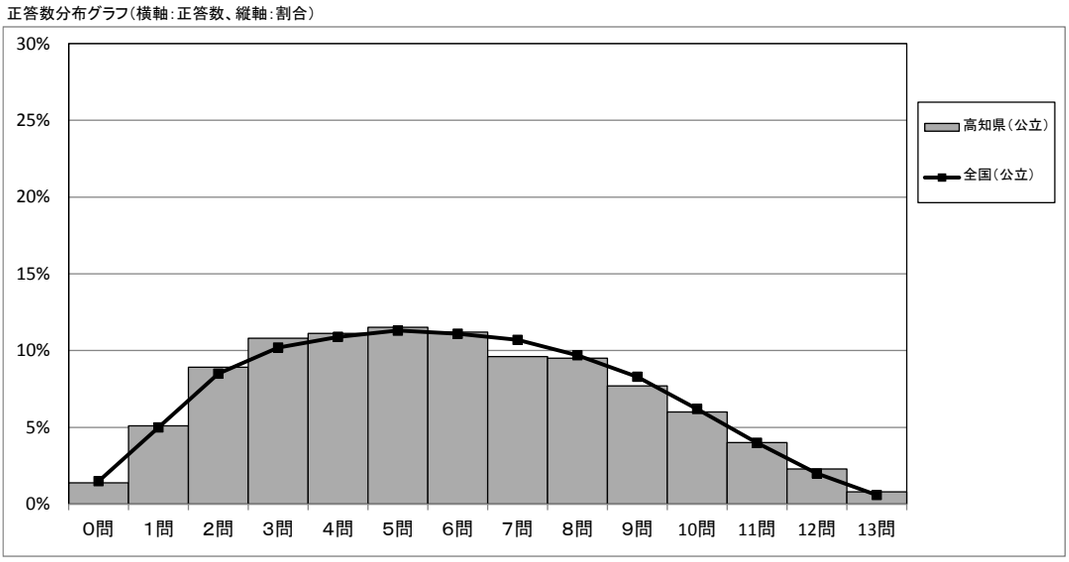
平成27年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査
調査結果概況　［算数B　主として活用］
高知県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	5,656	5.8/13	44.6	6.0	3.0
全国（公立）	1,061,063	5.9/13	45.0	6.0	3.0

正答数（割合（%））	
0問	1.4
1問	5.1
2問	8.9
3問	10.8
4問	11.1
5問	11.5
6問	11.2
7問	9.6
8問	9.5
9問	7.7
10問	6.0
11問	4.0
12問	2.3
13問	0.8

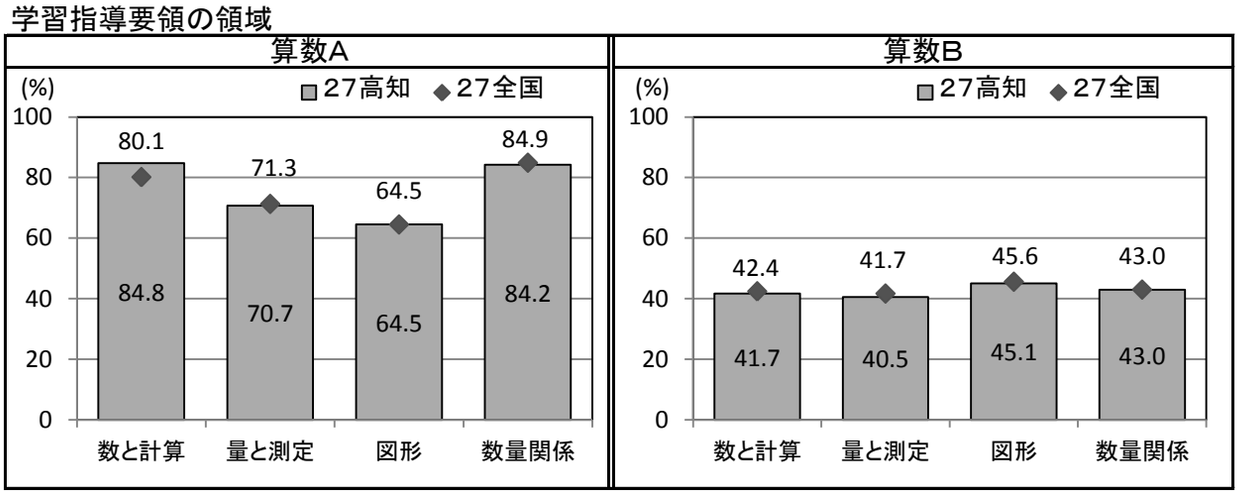
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



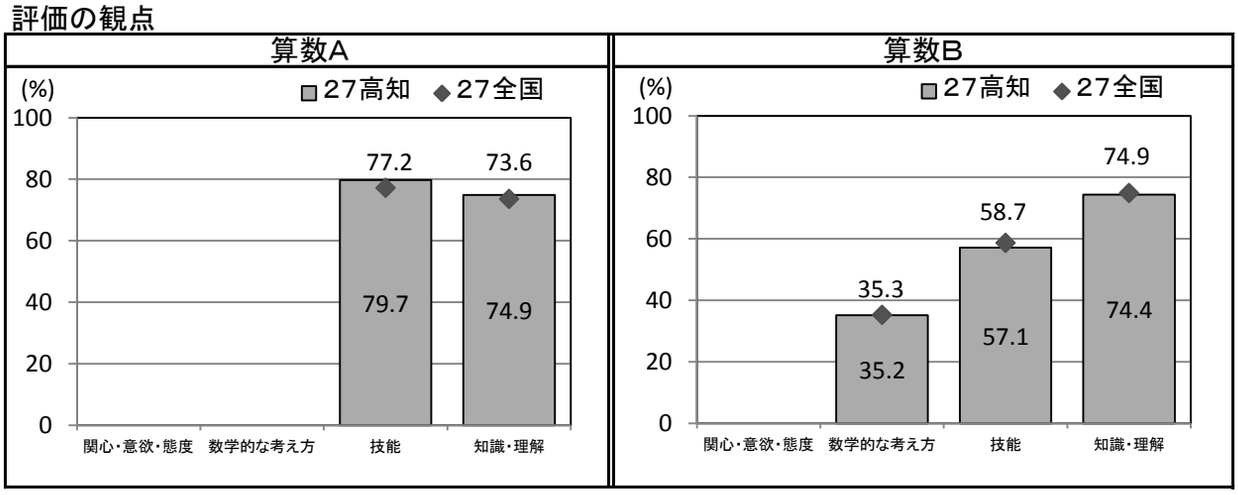
【分類・区分別の状況】

○　領域別では、算数Ａ（知識）の「数と計算」で平均正答率が全国平均より４．７ポイント高い。
○　観点別では、算数Ａ（知識）の「数量や図形についての技能」で平均正答率が全国平均より２．５ポイント高い。
○　問題形式別では、算数Ａ、算数Ｂのすべての問題形式で、平均正答率が全国平均とほぼ同じである。

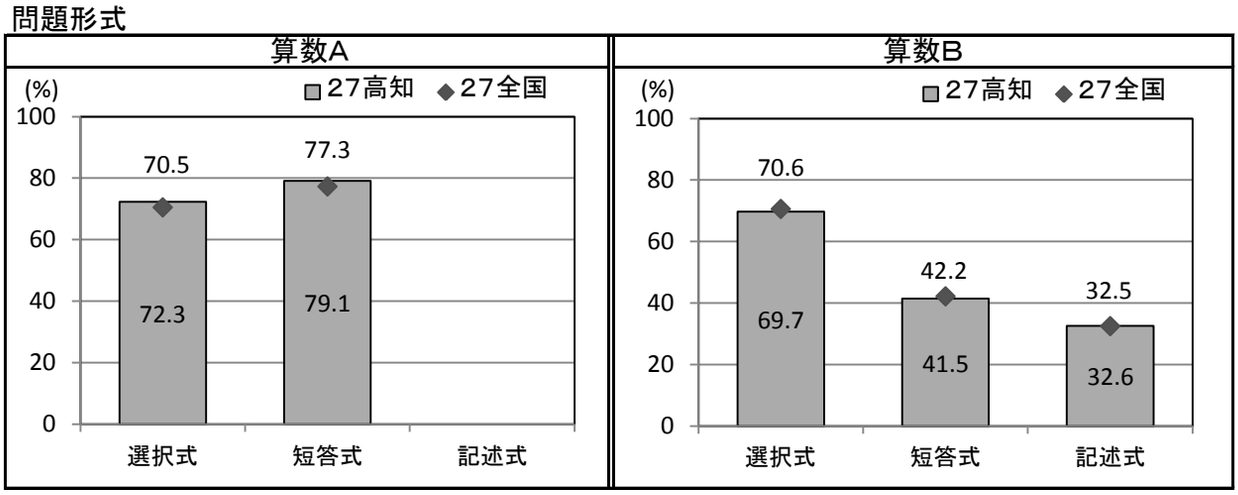
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果　小学校算数】

■算数Ａ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	8.9−0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	数と計算	知	選択式	**10.4**	81.4	71.0	0.1	0.6
1(2)	5.21＋0.7は0.01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	数と計算	技	短答式	2.0	76.3	74.3	0.6	1.1
1(3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	数と計算	知	短答式	2.8	84.8	82.0	1.2	2.0
2(1)	28＋72を計算する	数と計算	技	短答式	0.3	98.5	98.2	0.1	0.2
2(2)	6.79−0.8を計算する	数と計算	技	短答式	**9.9**	79.4	69.5	0.2	0.7
2(3)	$\frac{5}{9}-\frac{1}{4}$ を計算する	数と計算	技	短答式	4.0	85.4	81.4	0.9	1.8
2(4)	$\frac{5}{6}\div 7$ を計算する	数と計算	技	短答式	3.4	87.6	84.2	2.5	4.1
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	量と測定	技	短答式	−2.2	72.6	74.8	0.6	1.0
4(1)	90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	量と測定	知	選択式	−0.1	81.2	81.3	0.2	0.3
4(2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	量と測定	技	短答式	0.2	58.2	58.0	0.3	0.5
5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	図形	知	選択式	0.9	51.5	50.6	0.9	1.6
5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	図形	知	短答式	−0.7	63.8	64.5	1.2	2.4
6(1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	図形	知	短答式	−0.6	74.8	75.4	1.3	2.1
6(2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	図形	知	選択式	0.2	67.8	67.6	1.9	3.4
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	数量関係	知	選択式	−2.3	79.5	81.8	1.6	2.3
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	数量関係	知	短答式	0.8	88.9	88.1	3.2	4.6

■算数Ｂ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ	図形	知	選択式	−0.3	94.9	95.2	0.1	0.1
1(2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	図形	知	選択式	−0.7	53.9	54.6	0.7	1.0
1(3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	図形	考	記述式	1.1	28.8	27.7	**11.1**	14.3
2(1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	量と測定 数量関係	技	短答式	−1.4	63.4	64.8	0.2	0.3
2(2)	20％増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	数量関係	考	短答式	1.9	15.0	13.1	2.7	4.5
2(3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見いだし、正しい求め方と答えを書く	数量関係	考	記述式	−0.5	50.5	51.0	**10.0**	12.8
3(1)	周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどこの目盛りのところを持てばよいかを書く	数と計算 図形	考	短答式	−0.9	31.6	32.5	5.4	6.7
3(2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、㋐の角が30°になるわけを書く	図形	考	記述式	−0.8	48.3	49.1	**15.3**	18.9
4(1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	数と計算	技	短答式	−1.8	50.8	52.6	2.1	2.4
4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	数と計算	考	選択式	−1.7	60.3	62.0	2.7	3.9
4(3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	数と計算	考	記述式	1.6	23.9	22.3	**12.9**	15.3
5(1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	量と測定 図形	考	記述式	−1.0	11.5	12.5	**18.9**	21.0
5(2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	量と測定 図形	考	短答式	−1.1	46.7	47.8	**13.5**	17.3

「太　字」 は、全国正答率より１０ポイントをこえて高い正答率

「太　字」 は、全国正答率より５ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」 は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇ 「計算の結果を見積もる」、「計算の仕方を考える」、「計算の結果を振り返って確かめる」の各活動を関連付けて、計算の能力を身に付けることに改善が見られる。 〔A1 (1) ～ (3)〕

→「目的に応じて計算の結果の見積りをすることに課題がある。」

（『平成 26 年度高知県学力定着状況調査結果の概要』P．１７による）

◆ 基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに依然として課題がある。〔B2 (2)、(3)〕

→「割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなるときの基準量を判断し、その理由を記述することに課題がある。」

（『平成２２年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P．１５による）

【学習指導要領の領域別状況】

＜◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 〔 〕設問番号＞

数と計算	◇整数、小数、分数の計算をすることは、相当数の児童ができている。 〔A2(1)～(4)〕 ◆位に正しく着目し、四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することに課題がある。 〔B4(1)〕 ◆目的に応じた見積り方で求めた結果を基に、３０００個集めればよい理由を記述することに課題がある。 〔B4(3)〕
量と測定	◇１８０°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることは、相当数の児童ができている。 〔A4(1)〕 ◆分度器を用いて、１８０°よりも大きい角の大きさを求めることに課題がある。 〔A4(2)〕 ◆条件を変更した場面に面積を２等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることに課題がある。 〔B5(2)〕
図形	◇平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを正しく判断することは、相当数の児童ができている。 〔B1(1)〕 ◆示された三角形が二等辺三角形になる根拠を円の性質と関連付けて判断することに課題がある。 〔A5(1)〕 ◆示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見いだし、その図形の性質を言葉と記号を用いて記述することに課題がある。 〔B1(3)〕 ◆正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることに課題がある。 〔B3(1)〕
数量関係	◇グラフに表されている事柄を読み取ることは、相当数の児童ができている。 〔A7〕 ◆示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。 〔B2(2)〕 ◆示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを言葉や数を用いて記述することに課題がある。 〔B2(3)〕

【正答率が高い問題】

A2(1)	２８＋７２を計算する	[98.5%]
B1(1)	平行四辺形を構成することができる、四つの辺の組み合わせを選ぶ	[94.9%]
A8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	[88.9%]

【正答率が低い問題】

B5(1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	[11.5%]
B2(2)	２０%増量した商品の内容量が４８０mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	[15.0%]
B4(3)	目標に達するには、１２月に３０００個のキャップを集めればよいわけを書く	[23.9%]

【中学校数学】

○　数学Ａ（知識）の平均正答率は５９．９％で、例えば、次のような課題が見られた。
・数量の関係を文字式に表すこと[２（２）　１７．１％]
・証明の必要性と意味を理解すること[８　２９．９％]

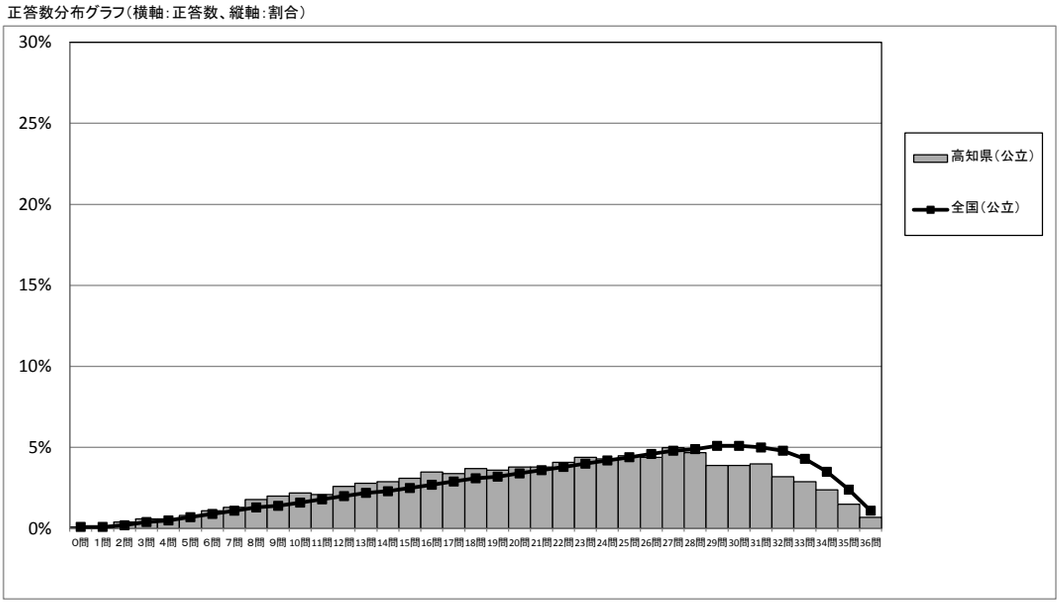
○　数学Ｂ（活用）の平均正答率は３６．２％で、例えば、次のような課題が見られた。
・数学的な表現を用いて解釈した理由を説明すること[１（３）　１０．７％]
・図形の性質を用いて問題解決の方法を数学的に説明すること[３（２）　１５．６％]

平成27年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査
調査結果概況　[数学A　主として知識]
高知県ー生徒(公立)

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,935	21.6/36	59.9	22.0	8.0
全国(公立)	1,016,737	23.2/36	64.4	24.0	8.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



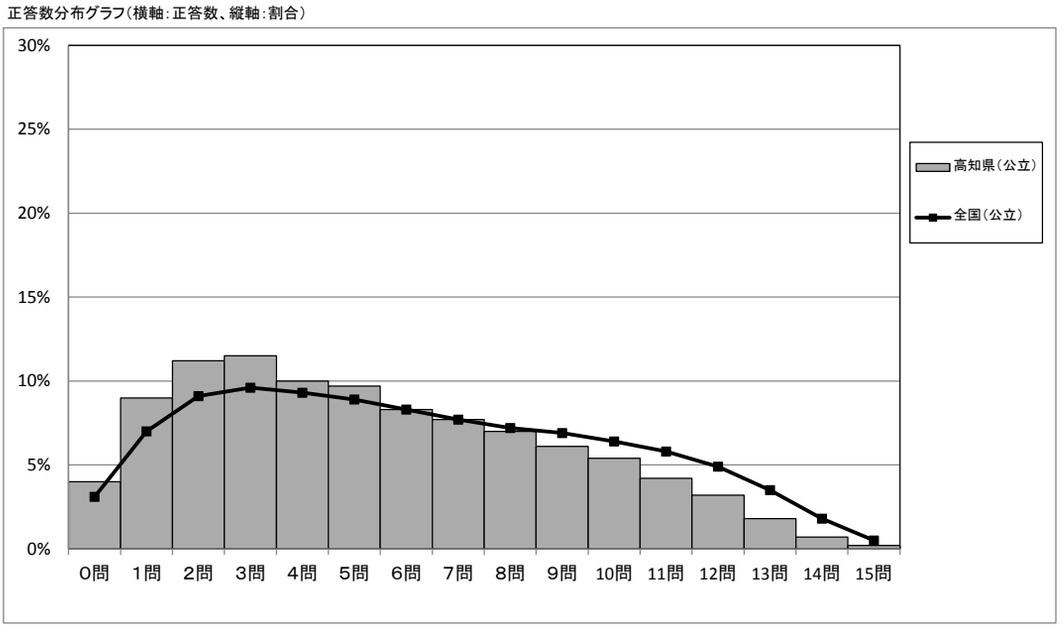
正答数（割合（%））	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.4
3問	0.6
4問	0.6
5問	0.8
6問	1.1
7問	1.3
8問	1.8
9問	2.0
10問	2.2
11問	2.1
12問	2.6
13問	2.8
14問	2.9
15問	3.1
16問	3.5
17問	3.4
18問	3.7
19問	3.6
20問	3.8
21問	3.8
22問	4.1
23問	4.4
24問	4.3
25問	4.5
26問	4.4
27問	5.0
28問	4.7
29問	3.9
30問	3.9
31問	4.0
32問	3.2
33問	2.9
34問	2.4
35問	1.5
36問	0.7

平成27年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査
調査結果概況　[数学B　主として活用]
高知県ー生徒(公立)

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,928	5.4/15	36.2	5.0	3.5
全国(公立)	1,016,548	6.2/15	41.6	6.0	3.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

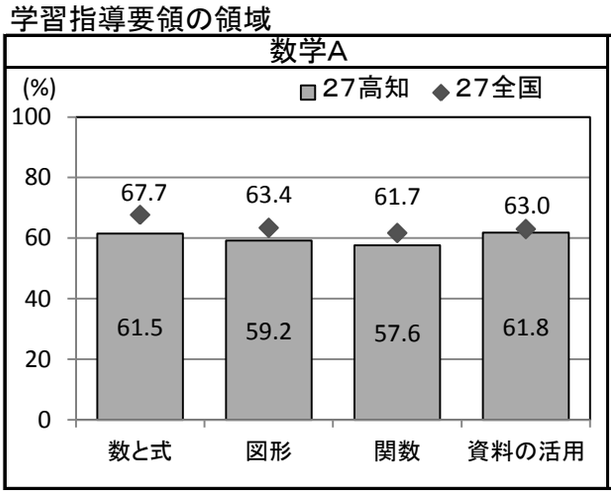


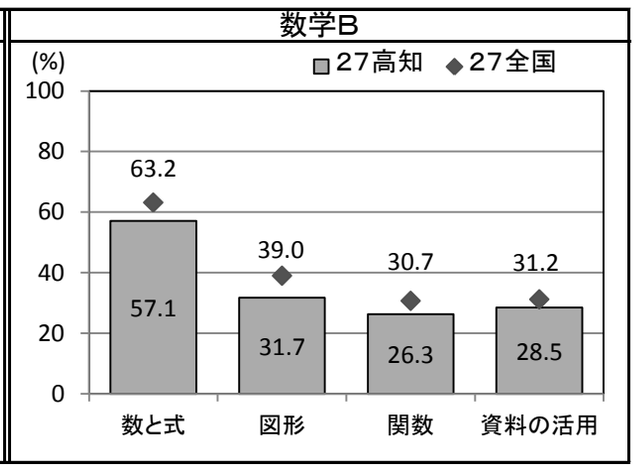
正答数（割合（%））	
0問	4.0
1問	9.0
2問	11.2
3問	11.5
4問	10.0
5問	9.7
6問	8.3
7問	7.7
8問	7.0
9問	6.1
10問	5.4
11問	4.2
12問	3.2
13問	1.8
14問	0.7
15問	0.2

【分類・区分別の状況】

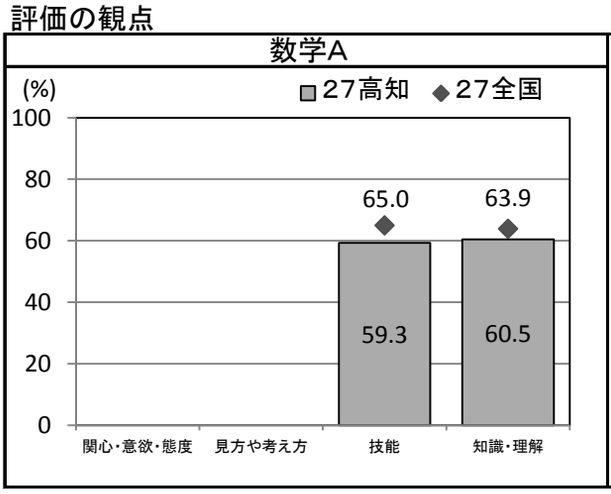
○　領域別では、数学Ａ（知識）の「数と式」、数学Ｂ（活用）の「数と式」「図形」で平均正答率が全国平均より5ポイント以上低い。
○　観点別では、数学Ａ（知識）の「数学的な技能」、数学Ｂ（活用）の「数学的な見方や考え方」で平均正答率が全国平均より5ポイント以上低い。
○　問題形式別では、数学Ａ（知識）の「短答式」、数学Ｂ（活用）の「記述式」で平均正答率が全国平均より５ポイント以上低い。

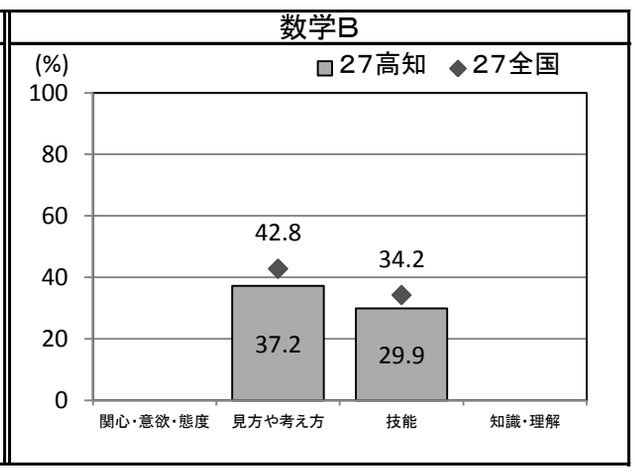
学習指導要領の領域



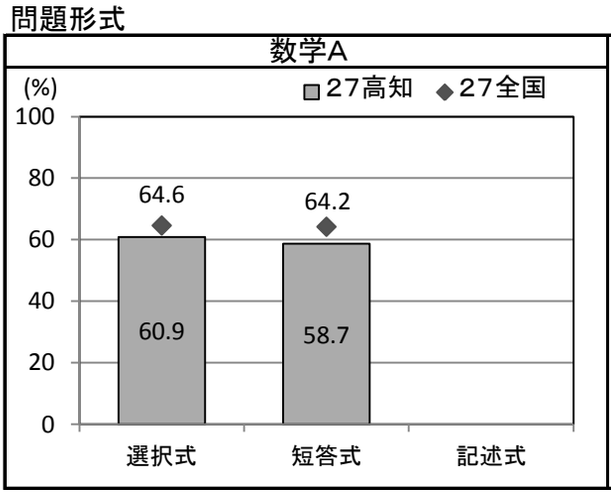


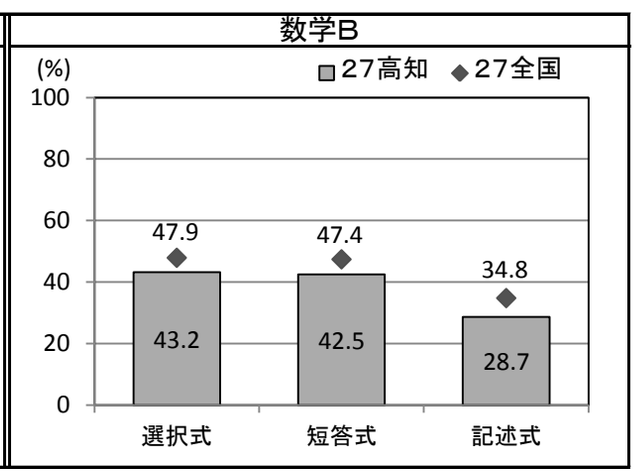
評価の観点





問題形式





【設問別集計結果　中学校数学】

■数学Ａ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	12：9 と等しい比を選ぶ	小6数量	知	選択肢	−2.1	91.5	93.6	0.0	0.1
1(2)	12−2×（−6）を計算する	数と式	技	短答式	−5.2	78.5	83.7	1.7	1.2
1(3)	a が正の数のとき、a×（−2）の計算の結果について、正しい記述を選ぶ	数と式	知	選択式	−6.5	69.2	75.7	0.3	0.3
1(4)	ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求める	数と式	知	短答式	−4.7	70.7	75.4	1.8	1.3
2(1)	$5x-x$ を計算する	数と式	技	短答式	−5.1	80.2	85.3	2.6	1.6
2(2)	赤いテープの長さが a cmで、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す	数と式	技	短答式	−5.1	17.1	22.2	10.8	9.0
2(3)	等式 $2x-y=5$ を y について解く	数と式	技	短答式	−10.4	53.8	64.2	9.5	6.8
2(4)	連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とするとき、それらの和が中央の整数の3倍になることを、n を用いた式で表す	数と式	知	短答式	−5.9	51.1	57.0	10.5	7.9
3(1)	一元一次方程式 $7x=5x+4$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	数と式	知	選択式	−2.8	76.6	79.4	0.7	0.5
3(2)	一元一次方程式 $1.2x-6=0.5x+1$ を解く	数と式	技	短答式	−6.9	66.9	73.8	9.7	7.1
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	数と式	技	選択式	−11.0	33.9	44.9	1.1	0.9
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 4x+2y=5 \\ x+y=2 \end{cases}$ を解く	数と式	技	短答式	−8.8	48.0	56.8	14.1	10.4
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	図形	知	選択式	−2.9	56.2	59.1	1.2	1.0
4(2)	△ＡＢＣを、矢印の方向に４ｃｍ平行移動した図形をかく	図形	技	短答式	−9.6	44.9	54.5	3.0	2.2
5(1)	直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く	図形	知	短答式	−3.9	43.5	47.4	2.8	1.9
5(2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ	図形	知	選択式	−2.9	80.5	83.4	0.5	0.3
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	図形	技	選択式	−1.4	82.4	83.8	0.6	0.4
5(4)	与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ	図形	知	選択式	−7.0	49.4	56.4	1.6	1.4
6(1)	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	−1.8	78.5	80.3	0.6	0.4
6(2)	四角形を五角形に変えたときの、内角の和の変化について正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	−8.4	61.3	69.7	1.1	0.9
7(1)	ひし形ＡＢＣＤにおいて、ＡＣ⊥ＢＤが表す性質を選ぶ	図形	技	選択式	−5.4	70.7	76.1	0.7	0.5
7(2)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	図形	知	短答式	−5.3	70.8	76.1	9.4	6.8
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	図形	知	選択式	−5.7	42.4	48.1	1.1	0.9
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	4.1	29.9	25.8	1.3	1.2
9	y が x の関数でない事象を選ぶ	関数	知	選択式	−2.4	79.1	81.5	1.3	0.9
10(1)	反比例のグラフを選ぶ	関数	知	選択式	−1.9	59.8	61.7	1.5	1.2
10(2)	比例 $y=2x$ のグラフ上の点Ａの x 座標が3のときの y 座標を求める	関数	技	短答式	−9.4	55.5	64.9	11.7	9.8
10(3)	比例のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求める	関数	技	短答式	−6.2	43.1	49.3	19.5	17.2
11	一次関数の表から、x と y の関係を表した式を選ぶ	関数	技	選択式	−6.6	58.1	64.7	1.8	1.4
12(1)	時間と道のりの関係を表すグラフから、速さが最も速い区間を選ぶ	関数	知	選択式	−6.7	43.2	49.9	1.4	1.3
12(2)	時間と道のりの関係を表すグラフを基に、出発してから15分後にいる地点までの家からの道のりを求める	関数	技	短答式	−3.1	80.7	83.8	9.5	8.5
13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	関数	知	選択式	3.2	41.1	37.9	2.6	2.3
14(1)	反復横とびの記録の中央値を求める	資料の活用	技	短答式	1.2	47.2	46.0	11.6	9.7
14(2)	度数分布表について、ある階級の度数を求める	資料の活用	技	短答式	0.1	76.0	75.9	10.5	9.4
15(1)	セットメニューの選び方の総数を求める	小6数量	技	短答式	−4.7	70.1	74.8	6.9	5.2
15(2)	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	資料の活用	知	選択式	−1.4	54.0	55.4	2.1	2.1

■数学Ｂ

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す	関数	技	短答式	−7.5	21.8	29.3	21.7	21.1
1(2)	投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ	関数	考	選択式	−3.1	32.0	35.1	0.9	0.9
1(3)	映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する	関数	考	記述式	−1.0	10.7	11.7	6.8	5.6
2(1)	連続する3つの整数が19、20、21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	数と式	考	短答式	−4.7	74.1	78.8	8.6	6.0
2(2)	連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることの説明を完成する	数と式	考	記述式	−10.7	32.4	43.1	28.1	24.0
2(3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	数と式	考	記述式	−4.8	59.0	63.8	23.6	19.4
3(1)	ポップアップカードを90°に開いたとき、四角形ＥＦＧＨが正方形になる場合のＥＦの長さを求める	図形	考	短答式	−6.5	36.1	42.6	10.9	8.7
3(2)	四角形ＥＦＧＨがいつでも平行四辺形になるように点Ｆの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形	考	記述式	−5.6	15.6	21.2	48.9	48.2
4(1)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ	図形	考	選択式	−7.0	35.5	42.5	1.5	1.2
4(2)	正方形ＡＢＣＤを平行四辺形ＡＢＣＤに変えても、ＡＥ＝ＣＦとなることの証明を完成する	図形	考	記述式	−10.1	39.5	49.6	23.8	18.6
5(1)	1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	小5数量	技	短答式	−1.0	38.1	39.1	27.2	26.8
5(2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する	資料の活用	考	記述式	−4.3	19.0	23.3	32.9	29.7
5(3)	記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	数と式	考	選択式	−4.4	62.9	67.3	1.7	1.5
6(1)	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について、正しい記述を選ぶ	関数	考	選択式	−4.3	42.2	46.5	1.5	1.3
6(2)	底面になる円の半径の長さが8cmのとき、表や式から，側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	関数	考	記述式	−6.2	24.6	30.8	19.0	17.1

「白抜き」は、全国正答率より 10 ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、全国正答率より 5 ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇　正答率は、全国との差が依然としてあるものの、昨年度と比較してＢ問題で０．８ポイント改善している。

◆　Ｂ問題を問題形式別に見ると、記述式の正答率が２８．７％と最も低く、全国との差は大きい。理由や方法を説明する際に、問題の条件に合わせて根拠や用いるものを明らかにすることに課題があり、指導の充実が求められる。〔Ｂ1(3)、Ｂ3(2)〕

→中学校数学指導改善のポイント「事柄が成り立つ理由を、数学的な表現を用いて的確に説明する活動の重視」、「図形の性質などを用いて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の重視」

（『平成２４年度全国学力・学習状況調査結果の概要』Ｐ．３８による）

【学習指導要領の領域別状況】　<◇…相当数の生徒ができている点　◆…課題がある点　〔　〕設問番号>

数と式	◇一次式の減法の計算は、相当数の生徒ができている。〔A2(1)〕 ◆数量の関係を文字式に表すことに課題がある。〔A2(2)〕 ◆等式を目的に応じて変形することに課題がある。〔A2(3)〕 ◆具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることに課題がある。〔A3(3)〕
図形	◇面の回転によって回転体が構成されることは、相当数の生徒が理解している。〔A5(2)〕 ◇投影図から空間図形を読み取ることは、相当数の生徒ができている。〔A5(3)〕 ◆証明の必要性と意味を理解することに課題がある。〔A8〕 ◆図形の性質を用いて問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。〔B3(2)〕
関数	◇グラフを具体的な事象と関連付けて解釈することは、相当数の生徒ができている。〔A12(2)〕 ◆比例の式について、そのグラフ上の点の x 座標を基に y 座標を求めることに課題がある〔A10(2)〕 ◆比例のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求めることに課題がある。〔A10(3)〕 ◆数学的な表現を用いて解釈した理由を説明することに課題がある。〔B1(3)〕
資料の活用	◆多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解することに課題がある。〔A15(2)〕 ◆資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて判断の理由を説明することに課題がある。〔B5(2)〕

【正答率が高い問題】

A1(1) １２：９と等しい比を選ぶ　［91.5%］

A5(3) 与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ　［82.4%］

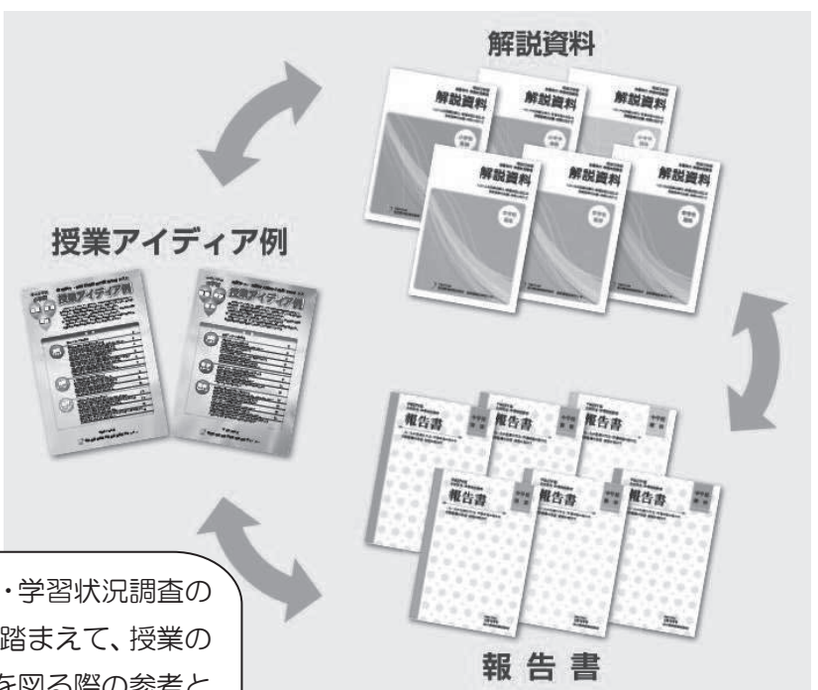
A12(2) 時間と道のりの関係を表すグラフを基に、出発してから１５分後にいる地点までの家からの道のりを求める　［80.7%］

【正答率が低い問題】

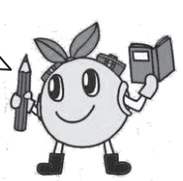
B1(3) 映像の明るさを２倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する　［10.7%］

B3(2) 四角形ＥＦＧＨがいつでも平行四辺形になるように点Ｆの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する　［15.6%］

B5(2) ２回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する　［19.0%］



全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考として、「解説資料」「報告書」「授業アイデア例」を活用ください。



【小学校理科】

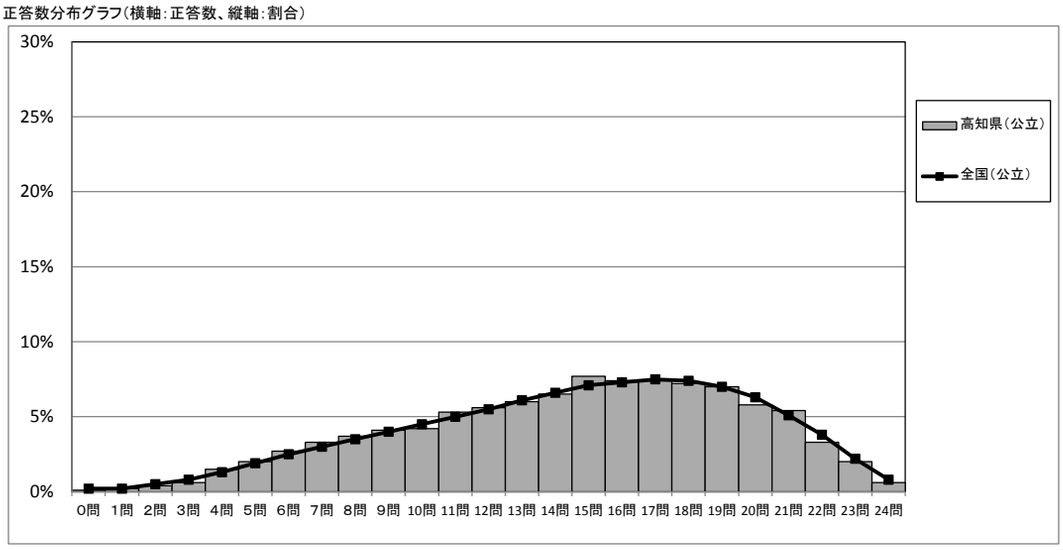
○　理科の平均正答率は６０．３％で、例えば、次のような課題が見られた。
・析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述すること［３（６）３１．４％］
・方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析すること［４（１）４１．６％］

平成27年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査
調査結果概況 ［理科］
高知県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	5,657	14.5/24	60.3	15.0	5.0
全国（公立）	1,060,792	14.6/24	60.8	15.0	5.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数（割合（%））	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.6
4問	1.5
5問	2.0
6問	2.7
7問	3.3
8問	3.7
9問	4.1
10問	4.2
11問	5.3
12問	5.6
13問	6.0
14問	6.5
15問	7.7
16問	7.4
17問	7.4
18問	7.2
19問	7.0
20問	5.8
21問	5.4
22問	3.3
23問	2.0
24問	0.6

【中学校理科】

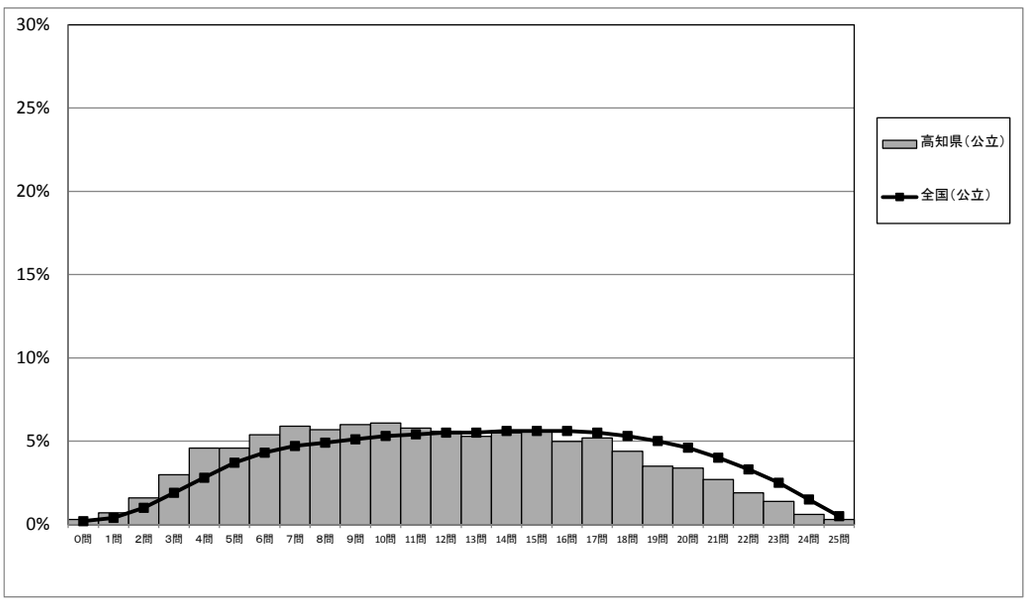
○　理科の平均正答率は４７．３％で、例えば、次のような課題が見られた。
・他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること［２（３）８．０％］
・音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画すること［６（２）２４．８％］

平成27年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査
調査結果概況　［理科］
高知県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、４月２１日に実施した調査の結果を集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（％）	中央値	標準偏差
高知県（公立）	4,926	11.8/25	47.3	12.0	5.6
全国（公立）	1,016,572	13.3/25	53.0	13.0	5.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

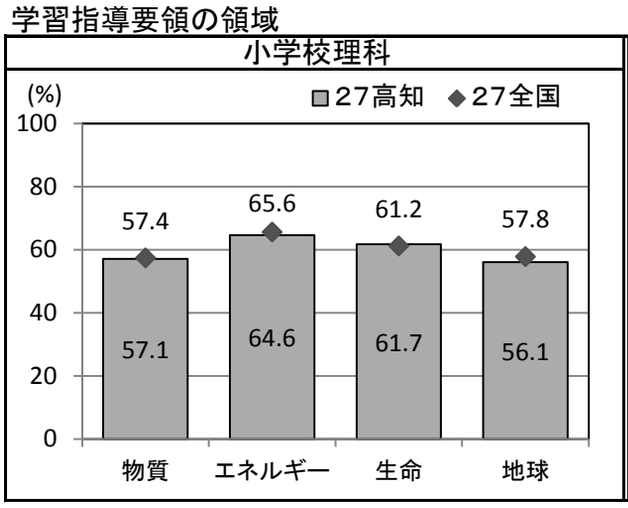


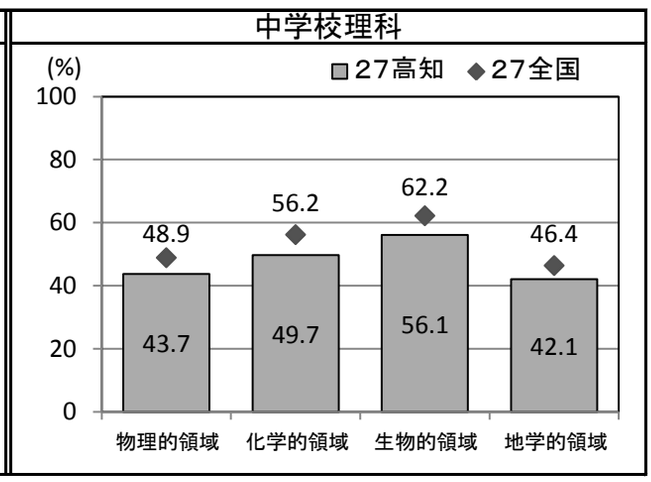
正答数（割合（％））	
0問	0.3
1問	0.7
2問	1.6
3問	3.0
4問	4.6
5問	4.6
6問	5.4
7問	5.9
8問	5.7
9問	6.0
10問	6.1
11問	5.8
12問	5.6
13問	5.3
14問	5.5
15問	5.6
16問	5.0
17問	5.2
18問	4.4
19問	3.5
20問	3.4
21問	2.7
22問	1.9
23問	1.4
24問	0.6
25問	0.3

【分類・区分別の状況】

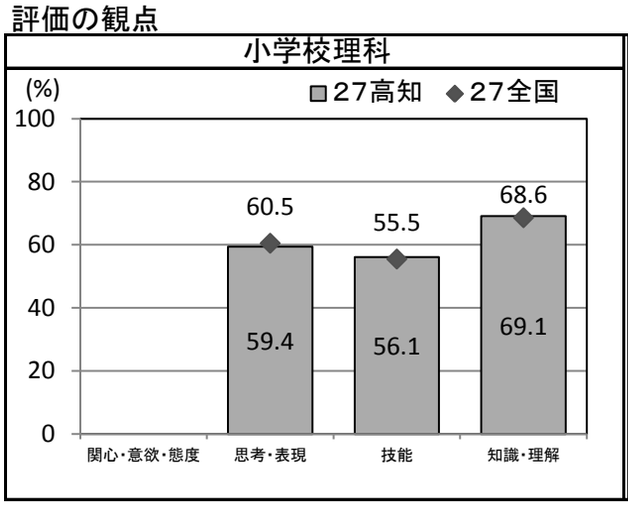
○領域別では、中学校の「地学的領域」を除く領域で平均正答率が全国平均より５ポイント以上低い。
○観点別では、中学校の「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」で平均正答率が全国平均より５ポイント以上低い。
○問題形式別では、小学校の「短答式」で平均正答率が全国平均より２．２ポイント高い。中学校の「短答式」「記述式」で平均正答率が全国平均より５ポイント以上低い。

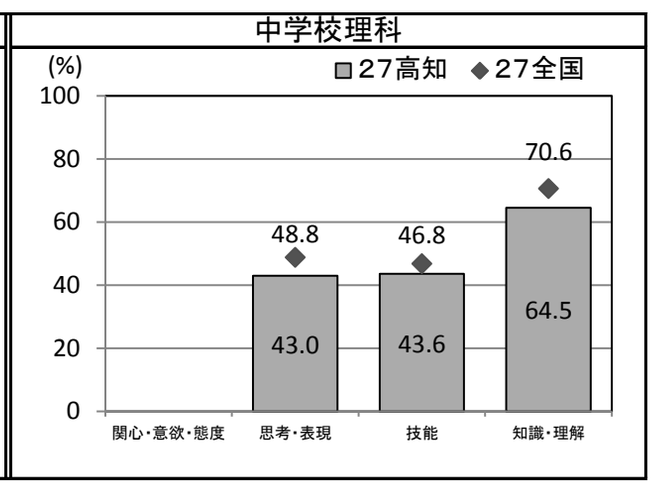
学習指導要領の領域



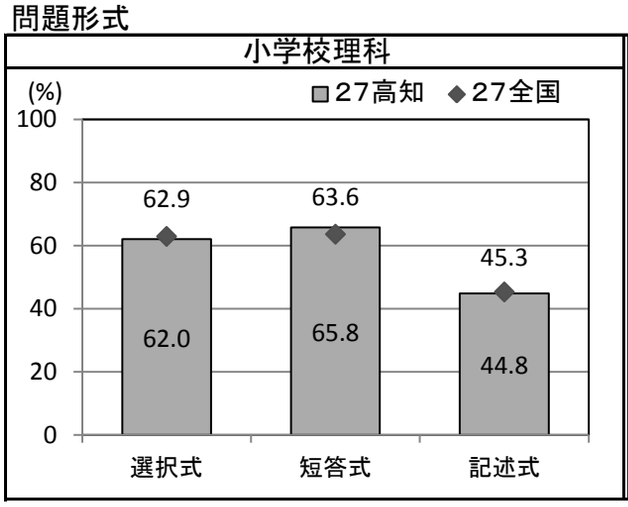


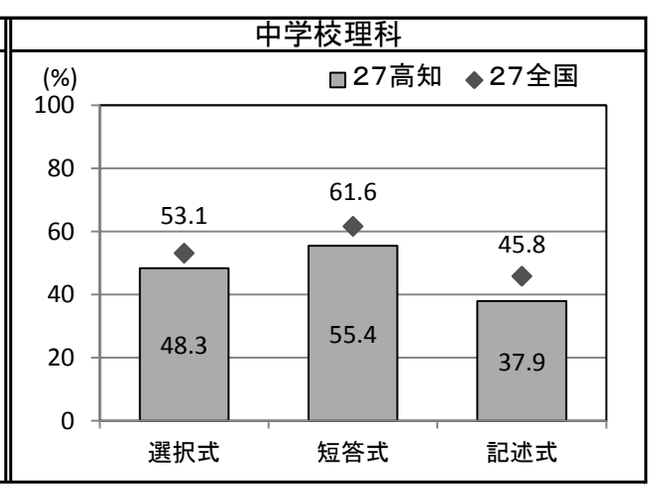
評価の観点





問題形式





【設問別集計結果　小学校理科】

■理科

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1（1）	振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ	エネルギー	思	選択式	0.0	77.6	77.6	0.0	0.2
1（2）	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ	エネルギー	思	選択式	−0.3	60.9	61.2	0.4	0.7
1（3）	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く	物質 エネルギー	思	記述式	−1.8	61.0	62.8	0.6	1.1
1（4）	電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ	エネルギー	思	選択式	−2.4	50.8	53.2	0.5	1.3
1(5)ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ	エネルギー	思	選択式	−1.0	71.7	72.7	0.3	0.9
1(5)イ		エネルギー	思	選択式	−0.8	65.4	66.2	0.4	1.0
2（1）	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	生命	知	選択式	1.2	79.2	78.0	0.2	0.3
2（2）よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ	生命	思	選択式	−1.4	74.9	76.3	0.3	0.6
2（2）ひろし		生命	思	選択式	−0.1	68.9	69.0	0.4	0.8
2（3）	示された器具（顕微鏡）の名称を書く	生命	技	短答式	1.5	63.1	61.6	9.6	16.1
2（4）	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	生命	技	選択式	4.3	42.2	37.9	0.9	1.0
2（5）	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	生命 地球	思	記述式	−2.4	41.8	44.2	1.7	2.8
3（1）	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	物質	知	選択式	−0.2	81.7	81.9	0.3	0.5
3（2）	水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	物質	思	選択式	−2.4	51.6	54.0	0.5	0.7
3（3）	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	物質	思	選択式	−2.5	49.2	51.7	0.8	1.1
3（4）	示された器具（メスシリンダー）の名称を書く	物質	技	短答式	2.6	73.3	70.7	7.7	10.7
3（5）	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	物質	技	選択式	−0.2	51.5	51.7	2.4	2.9
3（6）	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	物質	思	記述式	2.5	31.4	28.9	4.3	5.7
4（1）	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	地球	思	選択式	0.6	41.6	41.0	1.1	2.0
4（2）	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	地球	知	選択式	−1.8	54.3	56.1	1.3	2.0
4（3）	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	地球	技	選択式	−4.8	50.5	55.3	1.6	2.2
4（4）	観察した星座や雲の動きを選ぶ	地球	思	選択式	−3.3	61.7	65.0	2.1	3.0
4（5）	水が水蒸気になる現象について、その名称を書く	地球	知	短答式	2.6	61.1	58.5	10.4	15.2
4（6）	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ	地球	思	選択式	−2.1	82.1	84.2	3.0	4.2

「白抜き」は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇　水蒸気は水が気体になったものであることの理解については、改善が見られる。　〔3(1)〕
→「水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす『エネルギーの見方』として適用することに課題がある。」　（『平成２４年度全国学力・学習状況調査結果の概要』Ｐ．27 による）

◆　観察、実験の器具について、適切な操作技能に関する知識を身に付けることに、依然として課題がある。　〔2(4)、 3(5)〕
→「方位磁針の適切な操作の技能に関する知識の定着に課題がある。」
（『平成２４年度全国学力・学習状況調査結果の概要』Ｐ．27 による）

【学習指導要領の領域別状況】　<◇…相当数の児童ができている点　◆…課題のある点　〔　〕設問番号>

物質	◇水蒸気は水が気体になったものであることの理解については、相当数の児童ができている。〔3(1)〕 ◆予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基に自分の考えを改善したりすることに課題がある。〔3(2)、(3)〕 ◆メスシリンダーで一定量の水をはかり取る操作技能に関する知識の定着に課題がある。〔3(5)〕 ◆温度の変化に伴って変わる析出する量について、グラフを基に考察して分析することに課題がある。〔3(6)〕
エネルギー	◆振り子の運動の規則性を的確に捉え、振り子時計の調整の仕方に適用することに課題がある。〔1(2)〕 ◆熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析し、他と比較して解釈した内容を記述することに課題がある。〔1(3)〕 ◆電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用することに課題がある。〔1(4)〕
生命	◆顕微鏡の適切な操作技能に関する知識の定着に課題がある。〔2(4)〕 ◆植物の適した栽培場所を判断する場合において、植物の成長の様子と日光の当たり方を適用して考察することに課題がある。〔2(5)〕
地球	◇打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析することについては、相当数の児童ができている。〔4(6)〕 ◆方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析することに課題がある。〔4(1)〕 ◆星座の動きを捉えるための適切な記録の技能に関する知識の定着に課題がある。〔4(3)〕

【正答率が高い問題】

4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ	[82.1%]
3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	[81.7%]
2(1)	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	[79.2%]

【正答率が低い問題】

3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	[31.4%]
4(1)	方位についての情報から、観察している方位を選ぶ	[41.6%]
2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	[41.8%]

【設問別集計結果　中学校理科】

■理科

質問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率−全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1（1）化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	化学	知	選択式	−4.2	75.4	79.6	0.4	0.3
1（1）濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	化学	技	短答式	−5.7	39.3	45.0	18.7	17.6
1（2）	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	化学	思	選択式	−5.5	27.1	32.6	0.4	0.3
1（3）	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	化学	思	記述式	−13.4	39.6	53.0	26.3	18.8
1（4）	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから、温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ	化学	思	選択式	−6.2	67.4	73.6	0.4	0.4
1（5）	ベーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ	化学	思	選択式	−5.2	46.5	51.7	0.6	0.8
1（6）	他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	化学	思	選択式	−5.0	52.7	57.7	1.2	1.2
2（1）	天気図から風力を読み取る	地学	知	短答式	−6.7	71.2	77.9	12.6	9.0
2（2）	天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ	地学	技	選択式	−0.6	48.0	48.6	0.4	0.5
2（3）	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する	地学	思	記述式	−6.5	8.0	14.5	6.6	6.7
2（4）	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について、空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する	地学 物理	思	選択式	−2.9	59.3	62.2	0.5	0.5
3（1）	13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ	地学	思	選択式	−6.3	30.2	36.5	0.5	0.6
3（2）	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	地学	思	選択式	−3.1	35.9	39.0	0.8	0.8
4（1）	実験の結果から、凸レンズによる実像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	物理	思	選択式	−6.8	36.9	43.7	0.5	0.6
4（2）	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	物理	思	選択式	−4.0	46.3	50.3	1.1	1.1
5（1）	抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める	物理	知	短答式	−10.2	49.4	59.6	20.7	15.6
5（2）	電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する	物理	思	記述式	−5.0	51.8	56.8	35.1	30.7
6（1）	音の波形を比較し、音の高さが高くなった根拠として、正しいものを選ぶ	物理	思	選択式	−3.0	37.1	40.1	0.9	0.8
6（2）	音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	物理	思	選択式	−5.1	24.8	29.9	1.1	1.0
7（1）	音消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	生物	知	選択式	−7.5	64.7	72.2	1.0	0.9
7（2）	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	生物	思	選択式	−6.7	69.7	76.4	1.2	1.1
7（3）	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する	生物	思	記述式	−7.3	50.0	57.3	32.2	27.8
8（1）	背骨のある動物の名称を答える	生物	知	短答式	−2.0	61.9	63.9	14.3	10.4
8（2）	えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	生物	思	選択式	−5.3	50.4	55.7	1.5	1.4
8（3）	課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する	生物	思	記述式	−7.4	40.0	47.4	29.8	25.5

「白抜き」は、全国正答率より 10 ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、全国正答率より５ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、１０ポイントをこえる高知県無解答率

【経年で見た成果と課題】

◇　一つの条件に着目して、観察・実験を行った結果を分析して解釈することについては、改善状況が見られる。〔7(2)〕

→「『チューリップの花が開くには、温度が関係している』という考察を導くために、実験結果を分析し解釈して、比較することに課題がある。」

（『平成２４年度全国学力・学習状況調査結果の概要』Ｐ．２９による）

◆　溶解度の知識と溶け残りの様子を関係付けて分析して解釈することに、依然として課題がある。〔1(2)〕

→「『いくらでも食塩水を濃くできるわけではない』という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明することに課題がある。」

（『平成２４年度全国学力・学習状況調査結果の概要』Ｐ．２９による）

【学習指導要領の領域別状況】

＜◆…課題のある点　〔　〕設問番号＞

第１分野	物理的領域	◆凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することに課題がある。〔4(1)〕 ◆日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することに課題がある。〔6(1)〕 ◆音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することに課題がある。〔6(2)〕
	化学的領域	◆特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることに課題がある。〔1(1)濃度〕 ◆溶解度の知識と溶け残りの様子を関係付けて分析して解釈することに課題がある。〔1(2)〕 ◆水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明することに課題がある。〔1(3)〕
第２分野	生物的領域	◆自然の事物・現象から問題を見いだし、それを基に適切な課題を設定することに課題がある。〔7(3)〕 ◆同じ種類の生物であっても個体差を考え、複数の個体のデータから平均値を求める理由を説明することに課題がある。〔8(2)〕 ◆他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な考察（課題に正対した考察）を記述することに課題がある。〔8(3)〕
	地学的領域	◆他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することに課題がある。〔2(3)〕 ◆露点を測定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することに課題がある。〔3(1)〕 ◆一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することに課題がある。〔3(2)〕

【正答率が高い問題】

1(1)　塩化ナトリウムの化学式を選ぶ　化学式　[75.4%]

2(1)　天気図から風力を読み取る　[71.2%]

7(2)　キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ　[69.7%]

【正答率が低い問題】

2(3)　湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善するところを改善する　[8.0%]

6(2)　音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ　[24.8%]

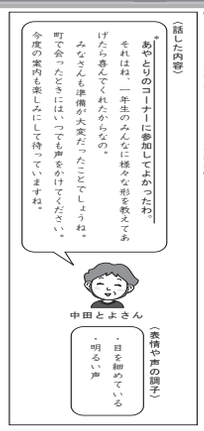
1(2)　同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ　[27.1%]

【課題が見られる設問の例】Ｂ問題1三　目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉

1　東小学校の新聞委員会の木村さんたちは、月ごとの学校の様子を新聞にまとめて地域の方々に伝えています。木村さんたちは、次の**【ふれあい新聞（六月号）】**を書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



三　**【ふれあい新聞（六月号）】**の　ア　の中には、あやとりのコーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしました。次の**【中田とよさんへのインタビューの様子】**の内容をまとめて書きます。あとの条件に合わせて書きましょう。



〈条件〉

○　＊――部についての理由が分かる言葉を、〈話した内容〉の中から「　」を使って取りだし、その言葉と〈表情や声の調子〉の中の内容を合わせて、一文で書くこと。

○　書き出しの文に続けて、四十字以上、七十字で書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくむ。

《出題の趣旨》

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第５学年及び第６学年〕Ｂ　書くこと

ウ　事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。《記述》

解答類型	類型番号	高知県反応率（%）	全国反応率（%）
（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　以下の内容を合わせて書いている。 a「(一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」 b 目を細めながら明るい声 ＊「目を細めている」、「明るい声」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。 ②　一文で書いている。 ③　書き出しの言葉に続けて、40 字以上、70 字以内で書いている。 （正答例） ・(「また、参加された中田とよさんは、」)「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら明るい声で話してくださいました。(69 字)			
・条件①ａ、ｂの両方と、条件②、③を満たしているもの	1◎	37.6	34.7
・条件①ａ、ｂの両方と、条件②は満たしているが、条件③を満たしていないもの	2	0.0	0.0
・条件①ａ、ｂの両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。	3	2.5	3.0
・条件①ａまたはｂのいずれか一方を満たしているもの ＊条件②、③を満たしているかどうかは不問とする。	4	48.3	50.2
・上記以外の解答	9	8.2	8.1
・無解答	0	3.4	4.0

○　正答率は 37.6%、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに、依然として課題がある。

○　誤答について見ると、解答類型４の反応率が 48.3%である。これは、―― 部の理由として、条件①ａの「(一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」、または、条件①ｂの「目を細めながら明るい声」のいずれか一方のみの解答であり、複数の情報を的確に関係付けてまとめることができていないと考えられる。

学習指導に当たって

目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書く

取材した内容を新聞記事として書く際、事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じ、伝えたい内容が十分に伝わるように、取材した複数の内容を整理して書くことが必要である。

具体的には、読み手に伝えたいことの中心を明確にした上で、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択し、伝えたいことが読み手に伝わるように、整理して記事を書く指導が考えられる。

これまでに示した指導改善のポイント

○一つ一つの事実に対する自分の考えをもち、編集の目的や意図に応じた自分の考えの中心を明確にしながら一定の条件に合わせて書くことが大切です。

（『平成２５年度全国学力・学習状況調査結果の概要』による。）

【課題が見られる設問の例】B問題2三　情報を関連させて読む（２０２０年）

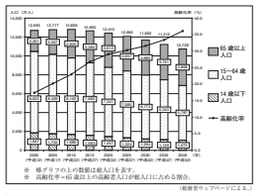
2 次の資料は、**【A　ウェブページの文章】**、**【B　日本の人口推移を表したグラフ】**（予想を含みます。）、**【C　雑誌の記事の一部】**です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A　ウェブページの文章】

（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブページによる。）

（注１）インフラ＝インフラストラクチャーの略。道路、鉄道、学校、病院など、社会生活の基盤となる構造物の総称。
（注２）イノベーション＝技術革新。これまでとは異なった新しい発展。
（注３）インスピレーション＝ここでは、オリンピックやパラリンピックがもたらす刺激のこと。
（注４）IOC総会＝国際オリンピック委員会の会議。

【B　日本の人口推移を表したグラフ】

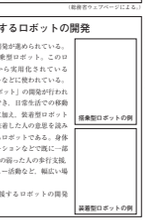


※　棒グラフの上の数値は総人口を表す。
※　高齢化率＝65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。

（総務省ウェブページによる。）

【C　雑誌の記事の一部】

生活を支援するロボットの開発



世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する搭乗型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのパトロールなどに使われている。

現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける搭乗型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重たい荷物の持ち上げ、レスキュー活動など、幅広い場面での活用が期待されている。

このように、人間の生活を支援するロボットの開発が、日夜進められているのだ。

三　あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのように関わっていきたいと思いますか。あなたの考えを、次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

条件1　資料**【A　ウェブページの文章】**、**【B　日本の人口推移を表したグラフ】**、**【C　雑誌の記事の一部】**の中からいずれか**二つ**を選び（どの資料を選んでもかまいません。）、それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。

条件2　「二〇二〇年の日本は、」に続けて、**八十字以上、百二十字以内**で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

《出題の趣旨》

複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第２学年〕Ｂ　書くこと
　ウ　事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。《記述》
〔第２学年〕Ｃ　読むこと
　オ　多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。《読書と情報活用》

解答類型	類型番号	高知県反応率（%）	全国反応率（%）
（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　**【A　ウェブページの文章】**、**【B　日本の人口推移を表したグラフ】**、**【C　雑誌の記事の一部】**の中からいずれか二つを選んで、その記号を塗り潰している。 ②　選んだ二つの資料の内容を適切に取り上げて書いている。 ③　２０２０年の日本がどのような社会になっているかを予想して具体的に書いている。 ④　社会にどのように関わっていきたいかを具体的に書いている。 ⑤　「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書いている。 （正答例）ＡとＢ （二〇二〇年の日本は、）オリンピック・パラリンピックの影響で様々なスポーツに注目が集まるだろう。今後増えていく高齢者もスポーツに関心をもつと思われる。そのような社会に、私は、スポーツ関連のボランティアをすることで積極的に関わっていきたい。（118字）			
・条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの	1◎	21.2	23.0
・条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさないで解答しているもの	2	0.1	0.2
・条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	3	42.7	44.7
・条件①、②、④、⑤を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	4	0.0	0.1
・条件①、③、④、⑤を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	5	2.4	2.3
・上記以外の解答	9	27.7	26.1
・無解答	0	5.9	3.7

○　正答率は 21.2%であり、多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題があると考えられる。

○　誤答について見ると、解答類型３の反応率が 42.7%である。これは、2020 年の社会にどのように関わっていきたいかについて、自分の考えを書くことに課題があると考えられる。

学習指導に当たって

多様な情報に触れながら、自分の考えをもつ

多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりするためには、複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることが重要である。その際、それぞれの資料に書かれていることを正確に理解した上で、感じたことや考えたことを他の人に話したり、文章に書いたりして、新たな気付きや問題意識を明らかにすることが大切である。

これまでに示した指導改善のポイント

○授業では、単に印象や感想を述べるにとどまらせず、文章に表れている書き手の考え方について、これまで身に付けてきた知識や様々な体験と結び付けて説明したり、賛否を明らかにしたりする課題を与え、自分の考えを具体的にもたせる工夫が大切です。

（『平成２６年度高知県学力定着状況調査結果の概要』による。）

【課題が見られる設問の例】Ｂ問題4 (3)　見積りの仕方と結果の判断（キャップ集め）

(3)　９月から12月までの間に集める目標も，10000個です。11月までの３か月間に集めた個数は，下の表のとおりです。

11月までの3か月間に集めた個数

月	９月	10月	11月
個数（個）	3009	2514	2120

はるかさんは，目標に達するには，12月におよそ何個のキャップを集めればよいかを，次のように考えました。

はるかさんの考え

３か月間に集めた個数の合計を，次のようにして計算します。

実際の数　3009　2514　2120

↓　↓　↓

およその数の計算　3000 + 2000 + 2000 = 7000

目標の10000個に達するには，12月に3000個集めればよいはずです。

はるかさんのおよその数の計算で，12月に3000個集めればよいことがわかります。実際の数で計算しなくても，12月に3000個集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを，言葉と数を使って書きましょう。

《出題の趣旨》

概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、３０００個集めればよい理由を、言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第４学年〕Ａ　数と計算

(2)　概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。

ア　概数が用いられる場合について知ること。

イ　四捨五入について知ること。

ウ　目的に応じて四則計算の結果の見積りをすること。

解答類型	類型番号	高知県反応率（%）	全国反応率（%）
（正答の条件） 次の①、②、③、④の全てまたは①、②、③または①、③、④または①、③を書いている。 ①　（はるかさんは）実際の数より小さい数にして見積もっていること ②　はるかさんの見積りの結果は7000（個）であること ③　集めた個数の合計は見積りの結果7000（個）以上であること ④　実際には足りない個数は12月に集める個数（3000個）以下であること、または、12月に集める個数（3000個）集めれば目標（10000個）に達すること （正答例） 実際の数より小さい数にして和が7000だから、集めた個数の合計が7000個以上であることはわかります。だから、実際に足りない個数は3000個以下です。つまり、12月に3000個集めれば目標の10000個に達するからです。			
・①、②、③、④または、①、②、③または、①、③、④または、①、③を書いているもの	1◎	17.9	16.2
・①、②、④、または、①、②を書いているもの	2○	5.9	6.1
・①、④を書いているもの	3	5.3	5.0
・①を書いているもの	4	6.5	8.0
・①の誤りを書いているもの	5	10.0	8.8
・②、③、④または、②、③または、③、④または、③を書いているもの	6	3.5	4.3
・②、④または④を書いているもの	7	21.3	20.7
・②を書いているもの	8	4.8	4.3
・上記以外の解答	9	11.8	11.3
・無解答	0	12.9	15.3

○　正答率は23.9%、であり、目的に応じた見積り方で求めた結果を基に 3000個集めればよい理由を記述することに課題がある。

○　誤答について見ると、解答類型７の反応率が 21.3%である。問題に示されている内容は記述できているが、見積り方や見積りの結果の大小関係について、正しく記述できていないと考えられる。また、Ｂ4（２）の解答状況からも、見積りの結果を正しく解釈できていないことが考えられる。

学習指導に当たって

見積り方や見積りの結果を基に、根拠となる事柄を過不足なく説明できるようにする

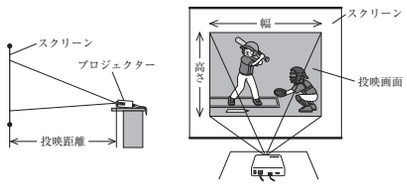
目的に応じた見積りの学習において、判断したことの根拠を過不足なく挙げて説明する場を学習指導の中に取り入れることが大切である。例えば、「どのような概数で計算したのか」、「計算の結果はどうなったのか」、「概数と実際の数の計算における結果とを比較して言えることは何か」を説明する際、目的と見積り方を関連付けたり、見積りの結果を目的と関連付けたりすることにより、筋道の立った説明へと練り上げていくことが考えられる。

これまでに示した指導改善のポイント

○目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について適切に判断できる活動などを位置付け、見積りを生活や学習の場面の中で活用することができる力を育てていくことが大切です。

（『平成２５年度高知県学力定着状況調査結果の概要』による。）

【課題が見られる設問の例】Ｂ問題1(3)　事象の数学的な表現と解釈（プロジェクター）



投映距離 (m)	投映画面の大きさ		
	高さ(m)	幅(m)	面積(m^2)
1.0	0.6	0.8	0.48
1.5	0.9	1.2	1.08
2.0	1.2	1.6	1.92

○ 投映画面の大きさは，投映距離によって変わる。
○ 投映画面の形は，調整されて，いつも長方形になる。
○ 投映画面の高さや幅は，投映距離に比例する。

（3）健治さんは，映像が暗くて見えにくいのではないかと気になりました。しかし，プロジェクターの光源の明るさを変えることはできません。そこで，映像の明るさについて調べると，映像の明るさと投映画面の面積の関係は，次の式で表されることがわかりました。

$$\left(\begin{array}{c}\text{映像の}\\\text{明るさ}\end{array}\right) = \left(\begin{array}{c}\text{プロジェクターの}\\\text{光源の明るさ}\end{array}\right) \div \left(\begin{array}{c}\text{投映画面の}\\\text{面積}\end{array}\right)$$

このとき，映像の明るさを２倍にするにはどうすればよいですか。下の**ア**，**イ**の中から正しいものを１つ選びなさい。また，それが正しいことの理由を，上の式で表される関係をもとに説明しなさい。

ア　投映画面の面積を２倍にする。

イ　投映画面の面積を$\frac{1}{2}$倍にする。

《出題の趣旨》
事象を式の意味に即して解釈し、その結果について、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》
〔第１学年〕Ｃ　関数
(1)　具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。
エ　比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。
オ　比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

解答類型		類型番号	高知県反応率（%）	全国反応率（%）
（正答の条件） **イ**を選択し、次の(a)、(b)のいずれかについて記述しているもの。 (a) 映像の明るさが投映画面の面積に反比例すること。 (b) 文字や数値を用いて、投映画面の面積を$\frac{1}{2}$倍にすると映像の明るさはいつも２倍になること。				
イを選択	・(a)について記述しているもの。	1◎	1.7	1.6
	・(a)についての記述が十分でないもの。	2○	0.6	0.4
	・(b)について記述しているもの。	3◎	2.6	3.1
	・(b)について、一般的に成り立つことについて記述していないが、投映画面の面積を$\frac{1}{2}$倍にすると映像の明るさは２倍になることを記述しているもの。	4○	5.8	6.6
	・式の読み取りに関する記述や計算などに誤りがあるもの。	5	6.8	7.7
	・上記以外の解答	6	45.8	47.4
	・無解答	7	11.3	11.1
・**ア**を選択しているもの		8	18.3	16.2
・上記以外の解答		9	0.3	0.3
・無解答		0	6.8	5.6

○　正答率は10.7%であり、事象を式の意味に即して解釈し、その結果について、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
○　解答類型６の反応率は45.8%であり、与えられた言葉の式を根拠として説明できていない解答が多く見られた。
○　解答類型８の反応率は18.3%であり、与えられた言葉の式から数量の関係を捉えることができていないと考えられる。

学習指導に当たって
日常的な事象における３つの数量の関係について、言葉で表された式を取り上げ、３つの数量のうち１つを定数とみて、残りの２つの数量の関係を捉える場面を設定する。例えば、この設問以外で３つの数量の関係についての題材として、道のり、時間、速さを取り扱うことが考えられる。その際、道のりと時間と速さの関係を式で表したものを利用して、道のりが決まっている場合に道のりを定数とみて、時間と速さの関係が反比例になっていることを捉えることができるよう指導することが大切である。（　時間×速さ＝道のり　→　時間＝道のり÷速さ　）

これまでに示した指導改善のポイント

○事象から数量の関係を見いだし、見通しをもって問題解決に取り組む活動の充実
日常的な事象における数量の関係が積で表された式について、３つの数量のうちの１つを一定とみることで残りの２つの数量の関係が比例や反比例になることをとらえることを通して、積で表された式の数学的な意味の理解を深める活動を充実させることが大切です。（『平成22年度全国学力・学習状況調査結果の概要』による。）

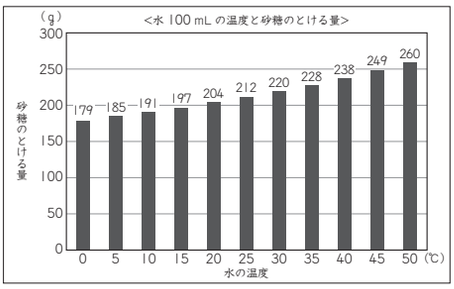
授業事例：平成22年度授業アイディア例（国立教育政策研究所教科研究センター）P.10

【課題が見られる設問の例】 3 (6) 物の溶け方の規則性

3(6)

としおさんは、20℃の水 100ｍＬを50℃にあたためてから、砂糖を入れてかき混ぜました。すると、とけ残りが出たので、ろ過してから砂糖水を冷蔵庫で保管しました。次の日、冷蔵庫からとり出すと、底に砂糖がたまっていました。

そこで、としおさんは、水の温度と砂糖が水にとける量との関係を調べました。



左のグラフから考えると、砂糖水を**５℃の冷蔵庫からとり出したとき**、とけきれなくなってたまっていた砂糖は約何ｇだと考えられますか。下の**１**から**４**までの中から１つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

１ 約 19ｇ
２ 約 75ｇ
３ 約 185ｇ
４ 約 260ｇ

《出題の趣旨》

析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第５学年〕 A 物質・エネルギー

(1) 物を水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についての考えをもつことができるようにする。

イ 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。

解答類型		類型番号	高知県反応率(%)	全国反応率(%)
(正答の条件) 番号を**２**と解答し、次の①、②の全てを記述している。 ① 「(５℃まで冷やすと) 185ｇまでしかとけない」など、グラフに示された砂糖の溶ける量のうち、５℃で185ｇまでしか溶けないことを示す趣旨で解答しているもの ② 「とけきれなくなって出てくるのは、50℃と５℃のときのとける量の差」など、50℃で溶ける砂糖の量 260ｇと５℃で溶ける砂糖の量 185ｇとの差や、50℃のときと５℃のときの溶ける量の変化を示す趣旨で解答しているもの (正答例) ・【番号】２ 【わけ】５℃まで冷やすと 185ｇまでしかとけず、とけきれなくなって出てくるのは、50℃と５℃のときのとける量の差だから。				
番号	**わけ**			
２（約 75ｇ）と解答	①、②の全てを記述しているもの	１◎	28.2	24.9
	②のみを記述しているもの	２○	2.1	2.8
	①のみを記述しているもの	３○	1.1	1.1
	類型１から類型３以外の解答・無解答	4	14.2	13.7
１（約 19ｇ）と解答しているもの		5	9.9	8.9
３（約 185ｇ）と解答しているもの		6	29.3	30.9
４（約 260ｇ）と解答しているもの		7	10.6	11.7
上記以外の解答		9	0.2	0.2
無解答		0	4.3	5.7

○ 正答率は 31.4%であり、温度の変化に伴って変わる砂糖が析出する量について、グラフを基に考察して分析することに課題がある。

○ 誤答について見ると、解答類型６の反応率が 29.3%である。温度によって砂糖が溶ける量が変化し、温度が下がることで溶けていた砂糖が析出することを捉えることができていないものと考えられる。

学習指導に当たって

変化とその要因とを関係付けて考えることができるようにする

水の温度を上げながらミョウバンなどが溶けていく様子とともに、温度を下げながら析出する様子をじっくりと観察する場面を設定することが重要である。水溶液を冷やすことで溶かした物が結晶となって水溶液中から見えてきたり、水溶液の温度が上昇することでその結晶が見えなくなったりするということを繰り返し観察し、実感を伴って理解させながら、グラフを使って出てくる物質の量を定量的に考えさせることが大切である。

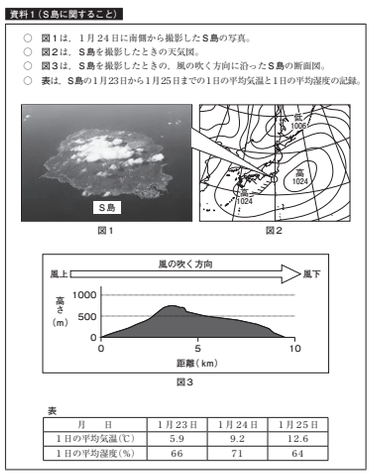
これまでに示した指導改善のポイント

○物質が水に溶ける量と水の温度や水の量との関係を、水の温度や水の量を変化させたときの実験結果を基に考察させることが大切です。

(『全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた理科の観察・実験に関する指導事例集【小学校】』〔平成２６年２月国立教育政策研究所教育課程研究センター〕による。)

【課題が見られる設問の例】 2 (3)

2(3)



（3）若菜さんは，S島の上空だけに雲ができることに疑問をもったので，**資料1** の**図2**，**図3**と**表**をもとに，その理由を下の**ア**から**エ**のように考えました。その理由を見直したところ，誤りに気づきました。誤りのあるものを，下の**ア**から**エ**までの中から1つ選びなさい。また，選んだものを正しく書き直しなさい。

ア　水蒸気を比較的多くふくんだ空気のかたまりは，S島の山の斜面に沿って上昇する。
イ　上昇した空気のかたまりが膨張し，温度が下がる。
ウ　空気のかたまりの温度が，露点に達する。
エ　水滴が冷やされて水蒸気になり，雲ができる。

《出題の趣旨》

雲の成因に関する知識を活用して、資料を基に他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

第２分野　（４）気象とその変化
　イ　天気の変化
　(ｱ)霧や雲の発生
　　霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けてとらえること。

解答類型		類型番号	高知県反応率（%）	全国反応率（%）
（正答の条件） **エ**を選択し、次の(a)、(b)を満たしているもの。 (a)水蒸気が水滴（氷の粒）に状態変化することについて記述している。 (b)水蒸気が冷やされることについて記述している。 例　水蒸気が冷やされて水滴（氷の粒）になり、雲ができる。				
エを選択	(a)、(b)を満たしているもの。	1◎	7.1	13.3
	(a)を満たしているが、(b)を満たしていないもの。	2○	0.1	0.3
	(b)を満たしているが、(a)を満たしていないもの。	3○	0.9	0.9
	上記以外の解答又は無解答	4	28.8	27.6
アを選択	水蒸気量について、「比較的多くふくんだ」という記述を書き直しているもの。	5	0.5	0.4
	上昇気流について、「S島の斜面に沿って」という記述を書き直しているもの。	6	1.2	1.3
	上記以外の解答又は無解答	7	15.0	12.7
イ、**ウ**を選択しているもの。		8	39.3	36.5
上記以外の解答		9	0.6	0.2
無解答		0	6.6	6.7

○　正答率は8.0%であり、雲の成因に関して、水の状態変化に関する知識と資料を基に、他者の考察を検討して改善し、正しく説明することに課題がある。
○　誤答について見ると、解答類型４の反応率は 28.8%である。「水滴が冷やされて雲ができる」という解答が見られ、水の状態変化に関する知識を身に付けることができていないと考えられる。

学習指導に当たって

考察などを検討して改善する際は、多面的・総合的に思考できるようにする

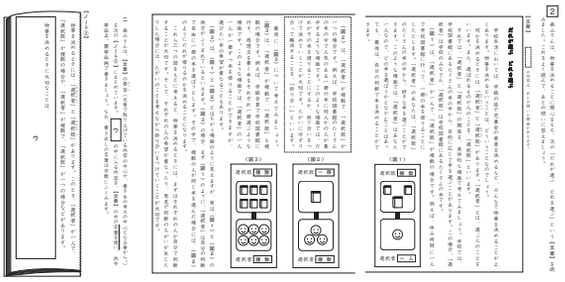
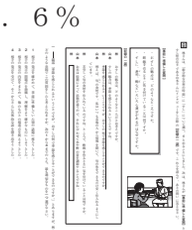
天気図や地形の断面図、気温や湿度などの複数の資料を使って、島の上空だけに雲ができる理由を多面的・総合的に考察する学習場面が考えられる。その際、状態変化の概念が形成できていない生徒がいると考えられるので、水の状態変化や大気圧など関連する知識を整理しておくことが大切である。

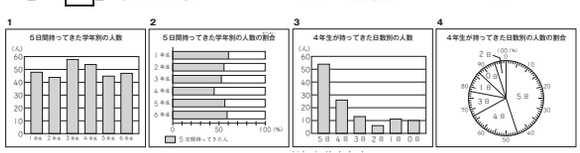
これまでに示した指導改善のポイント

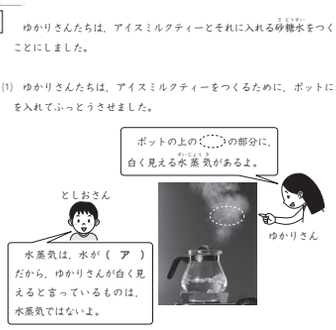
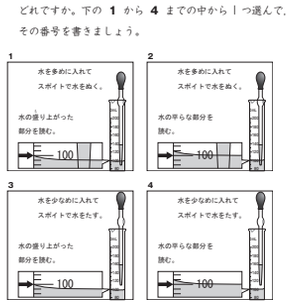
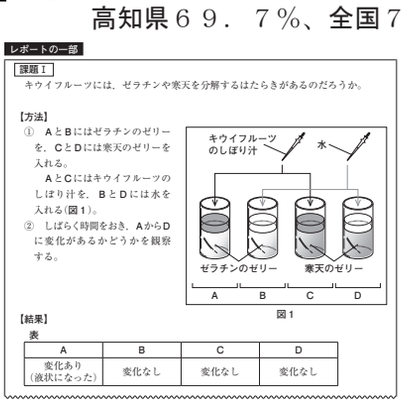
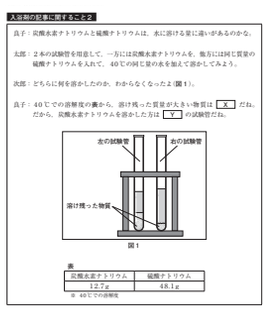
○生活の中の結露に関係する現象について調べ、温度による水の状態変化と関連付けることが大切です。

（『平成 24 年度全国学力・学習状況調査【小学校】報告書』による。）

平成２７年度全国学力・学習状況調査を活用したこれまでの取組の検証

	改善状況が見られたもの	依然として課題が見られるもの
小学校国語	**目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えること** 文章の要旨をまとめて書く設問【B2二】 高知県８１．１%、全国７８．４%  【Ｈ１９B2一】 高知県６０．８%、 全国６０．８%	**新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること** コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く設問【A5二】 高知県２１．３%、全国１９．８% 【Ｈ２６B1三】 高知県２８．５%、全国２８．３% **目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと** 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く設問【B1三】 高知県３７．６%、全国３４．７% 【Ｈ２５B2二】 高知県３０．２%、全国２６．２% 読み手に伝えたいことを明確にし、自分で調べたことや取材したことの中から取捨選択して、それらを関係付けて書くことに取り組みましょう。 
中学校国語	**表現の工夫について自分の考えをもつこと** 「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する設問【B3一】 高知県８７．０%、全国８８．６% 「あたり……良かった。」の説明として適切なものを選択する設問【B3二】 高知県８１．９%、全国８２．６% 【Ｈ２５B2二】 高知県 ７１．９%、全国 ７５．６% **必要に応じて質問しながら聞き取ること** インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する設問【A8一】 高知県８２．４%、全国８４．６%  【Ｈ２４小国A2】 高知県６４．８%、全国６５．２%	**複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと** 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く設問【B1三】 高知県５２．０%、全国５６．２% 【Ｈ２２B2三】 高知県３９．７%、全国４５．６% **文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと** 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く設問【B3三】 高知県２８．５%、全国３１．１% 【Ｈ１９B2三】 高知県６３．７%、全国７４．８% この場面がなかったらどのように作品全体の印象が変わるかなど、根拠を示しながら書いたり、話し合ったりしましょう。文章の展開について自分の考えをもつために、場面の役割などを考えることも大切です。 

	改善状況が見られたもの	依然として課題が見られるもの
小学校算数	**計算の結果を確かめるために、加法と減法の相互の関係を理解すること** 小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く設問 【A 1 (3)】高知県８４．８％、全国８２．０％ (3) 6.3 + 0.22 の答えを 6.52 と求めました。 この答えが正しいかどうかを，次のように確かめます。 下の (ウ)，(エ)，(オ) に入る数を書きましょう。 ［ウ］－［エ］を計算して，［オ］になるかどうかを確かめます。 【Ｈ２５Ａ 3 】 高知県７３．９％、全国７１．６％ **グラフに表されている事柄を読み取ること** ハンカチを５日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、４年生だけであることを示しているグラフを選択する設問 【A 7 】高知県７９．５％、全国８１．８％  左の４つのグラフを見て，あるグラフから，次のことがわかりました。 わかったこと ハンカチを５日間持ってきた人数が，学年全体の人数の半分より少ない学年は，４年生だけである。 このことがわかるグラフはどれですか。 左の 1 から 4 までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。 【Ｈ２６Ｂ 2 (3)】 高知県６３．４％、全国６１．５％	**図形の構成を図形の特徴と関連付けて捉えること** 円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選択する設問 【A 5 (1)】高知県５１．５％、全国５０．６％  (1) 三角形ＡＢＣが二等辺三角形になるのは，円にどのような特ちょうがあるからです。 下の 1 から 4 までの中から最もふさわしいものを１つ選んで，その番号を書きましょう。 1 １つの円の半径の長さは，どれも同じ長さになる。 2 円周の長さは，直径の長さの約 3.14 倍になる。 3 １つの円の直径の長さは，半径の長さの２倍になる。 4 １つの円の直径の長さは，円周の上の２つの点を結ぶ直線の中でいちばん長い。 【Ｈ２６Ａ 6 】 高知県４６．５％、全国５２．０％ 図形のどのような特徴を活用すれば作図できるかを考えることが大切です。 **基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えること** ２０％増量した商品の内容量が４８０ｍＬであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く設問 【B 2 (2)】高知県１５．０％、全国１３．１％ (2) 次に，せんざいを買います。家で使っているせんざいが，20 %増量して売られていました。増量後のせんざいの量は 480 mL です。 増量前のせんざいの量は何 mL ですか。求める式と答えを書きましょう。  【Ｈ２５Ｂ 5 (2)】 高知県４４．１％、全国４４．４％ 児童にとって考えやすい数で、数量の関係を捉え、基準量を意識させることが大切です。
中学校数学	**発展的に考え、予想した事柄を説明すること** 連続する５つの整数の和について成り立つ事柄を表現する設問【B 2 (3)】 高知県５９．０％、全国６３．８％ (3) 連続する３つの整数を，連続する５つの整数に変えた場合，その和がどんな数になるかを調べます。 1，2，3，4，5 のとき　1＋2＋3＋4＋5＝15 5，6，7，8，9 のとき　5＋6＋7＋8＋9＝35 14，15，16，17，18 のとき　14＋15＋16＋17＋18＝80 ⋮　⋮ 連続する５つの整数の和は，中央の整数に着目すると，どんな数になると予想できますか。前ページの**予想**のように，「～～は，……になる。」という形で書きなさい。 【Ｈ２４Ｂ 2 (2)】 高知県５０．８％、全国５５．３％  問題解決のあと、その問題の条件を変えるとどのようなことが予想できるかを考える場面を設定して、さらに力を伸ばしていこう！	**関係を表す式を、等式の性質を用いて目的に応じて変形すること** 【A 2 (3)】 高知県５３．８％、全国６４．２％ 等式 $2x - y = 5$ を y について解きなさい。 【Ｈ２２Ａ 2 (5)】 高知県６５．５％、全国７２．１％ 等式 $2x + y = 5$ を y について解きなさい。 「この等式の変形の際に用いられる等式の性質は？」と問いかけるなど、問題解決の過程を振り返ることで、等式の性質と、式の計算をつないでいくことが大事です。

	改善状況が見られたもの	依然として課題が見られるもの
小学校理科	**水蒸気は水が気体になったものであることを理解すること** 水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ設問【3(1)】 高知県８１．７%、全国８１．９%  3　ゆかりさんたちは，アイスミルクティーとそれに入れる砂糖水をつくることにしました。 (1)　ゆかりさんたちは，アイスミルクティーをつくるために，ポットに水を入れてふっとうさせました。 ポットの上の□の部分に，白く見える水蒸気があるよ。 としおさん ゆかりさん 水蒸気は，水が（　ア　）だから，ゆかりさんが白く見えると言っているものは，水蒸気ではないよ。 としおさんのことばの（　ア　）にあてはまるものを，下の **1** から **4** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。 **1**　気体にすがたを変えて，目に見えなくなったもの **2**　液体にすがたを変えて，目に見えなくなったもの **3**　固体にすがたを変えて，目に見えなくなったもの **4**　消えてなくなって，目に見えなくなったもの 水の状態変化の説明として、当てはまる言葉を選ぶ設問【Ｈ２４3(5)オ・カ】 オ　高知県６１．４%、全国６２．１% カ　高知県４１．４%、全国４２．４%	**メスシリンダーで一定量の水をはかり取るときの適切な扱い方を身に付けること** メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ設問【3(5)】 高知県５１．５%、全国５１．７%  (5)　(4)の器具を使って水を正しくはかりとっているのはどれですか。下の **1** から **4** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。 1　水を多めに入れてスポイトで水をぬく。水の盛り上がった部分を読む。100 2　水を多めに入れてスポイトで水をぬく。水の平らな部分を読む。100 3　水を少なめに入れてスポイトで水をたす。水の盛り上がった部分を読む。100 4　水を少なめに入れてスポイトで水をたす。水の平らな部分を読む。100  例えば、「スポイトの先をメスシリンダーの水の中に入れてはいけないのはなぜだろう」など、器具の操作の意味を考えながら、器具の適切な操作方法を身に付けさせていきましょう。 方位磁針の適切な操作方法を選び、そのときの太陽の方位を書く設問【Ｈ２４4(1)】 高知県２６．４%、全国２７．３%
中学校理科	**実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘すること** キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ設問【7(2)】 高知県６９．７%、全国７６．４%  レポートの一部 課題Ⅰ キウイフルーツには，ゼラチンや寒天を分解するはたらきがあるのだろうか。 【方法】 ①　AとBにはゼラチンのゼリーを，CとDには寒天のゼリーを入れる。 AとCにはキウイフルーツのしぼり汁を，BとDには水を入れる（図１）。 ②　しばらく時間をおき，AからDに変化があるかどうかを観察する。 キウイフルーツのしぼり汁 水 ゼラチンのゼリー 寒天のゼリー A　B　C　D 図１ 【結果】 表 A：変化あり（液状になった）／B：変化なし／C：変化なし／D：変化なし （2）【結果】の表から，キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解するはたらきについて，考えられることとして最も適切なものを，下のアからエまでの中から１つ選びなさい。 ア　ゼラチンと寒天のどちらも分解する。 イ　ゼラチンを分解するが，寒天を分解しない。 ウ　ゼラチンを分解しないが，寒天を分解する。 エ　ゼラチンと寒天のどちらも分解しない。 「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組み合わせを選ぶ設問【Ｈ２４1(5)】 高知県３３．５%、全国４１．３%	**実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘すること** 同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ設問【1(2)】 高知県２７．１%、全国３２．６%  入浴剤の成分に関すること 良子：炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムは，水に溶ける量に違いがあるのかな。 太郎：２本の試験管を用意して，一方には炭酸水素ナトリウムを，他方には同じ質量の硫酸ナトリウムを入れて，40℃の同じ量の水を加えて溶かしてみよう。 次郎：どちらに何を溶かしたのか，わからなくなったよ（図１）。 良子：40℃での溶解度の表から，溶け残った質量が大きい物質は［X］だね。だから，炭酸水素ナトリウムを溶かしたのは［Y］の試験管だね。 左の試験管／右の試験管／溶け残った物質 図１ 表 炭酸水素ナトリウム：12.7g／硫酸ナトリウム：48.1g ※ 40℃での溶解度 （2）上の［X］［Y］に当てはまる正しいものを，それぞれ下のア，イから１つ選びなさい。 X：ア　炭酸水素ナトリウム　イ　硫酸ナトリウム Y：ア　左　イ　右  溶解度が大きい物質が多く溶け残ると誤って捉えていると考えられます。 図などを用いて、二つの物質の溶け残りの質量や溶解度の大きさを視覚的に捉えさせることが大切です。 食塩水がいくらでも濃くできるわけではない理由を説明する設問【Ｈ２４4(4)】 高知県３９．３%、全国４６．６%

教科等に関する質問紙調査より

各教科の学習に対する関心・意欲・態度について

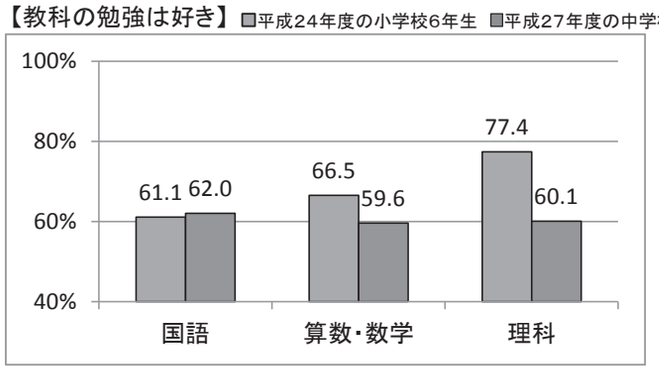
〔全国及び前回調査との比較〕

	小学生			中学生		
	本県	本県－全国	本県27－26 理科(本県27－24)	本県	本県－全国	本県27－26 理科(本県27－24)
国語の勉強は好きだ	63.6	2.5	2.2	62.0	1.5	7.6
国語の勉強は大切だ	93.9	1.9	0.7	90.2	0.3	2.1
国語の授業の内容はよく分かる	83.4	1.4	3.1	72.1	−2.2	5.6
算数・数学の勉強は好きだ	69.3	2.7	3.4	59.6	3.6	0.9
算数・数学の勉強は大切だ	94.6	1.5	1.9	84.1	1.5	0.8
算数・数学の授業の内容はよく分かる	83.2	2.2	3.9	70.2	−1.4	−0.6
理科の勉強は好きだ	82.8	−0.7	5.4	60.1	−1.8	4.4
理科の勉強は大切だ	89.3	2.4	1.8	71.9	2.6	4.0
理科の授業の内容はよく分かる	87.4	−0.5	3.2	62.1	−4.7	4.4

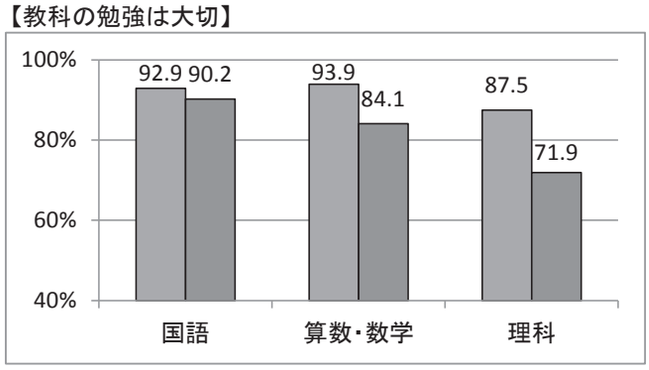
［肯定群の割合(%)］

〔同一世代（H24小6とH27中3）との比較〕

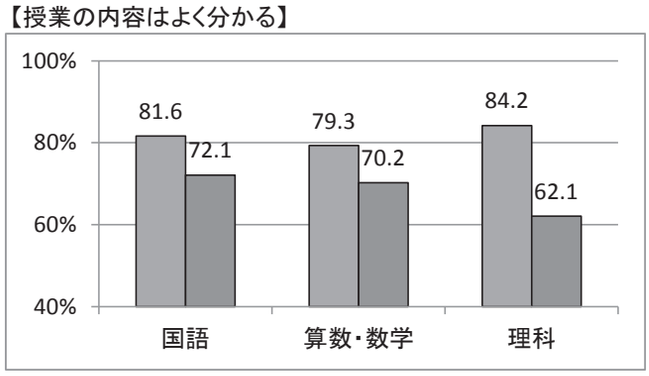
【教科の勉強は好き】 ■平成24年度の小学校6年生 ■平成27年度の中学校3年生



【教科の勉強は大切】



【授業の内容はよく分かる】

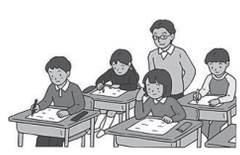


［肯定群の割合］

上の表に示しているように各教科の学習に対する関心・意欲・態度を前回調査と比較すると「数学の授業はよく分かる」を除いて肯定群の割合は増加しているものの中学生で3教科とも「授業の内容がよく分かる」の肯定群の割合が全国を下回っています。

また、下のグラフに示したように「教科の勉強は好き・大切」より、「授業の内容はよく分かる」の方が3年後の肯定群の割合の減少が大きくなっています。

児童生徒が学習内容を分かって実感できる授業づくりが大切です。各学校において、学習指導要領に指導内容を踏まえ、授業の質を高めるための研究を深めていきましょう。



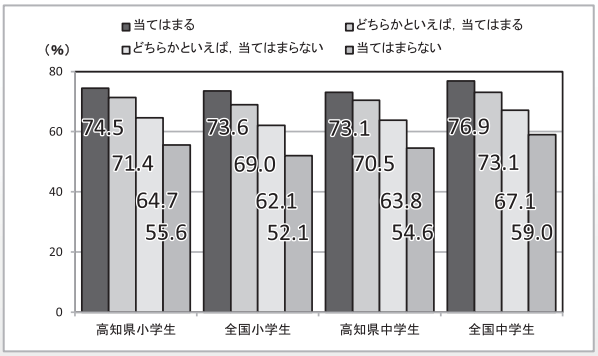


各教科指導（言語活動）と学力の関係

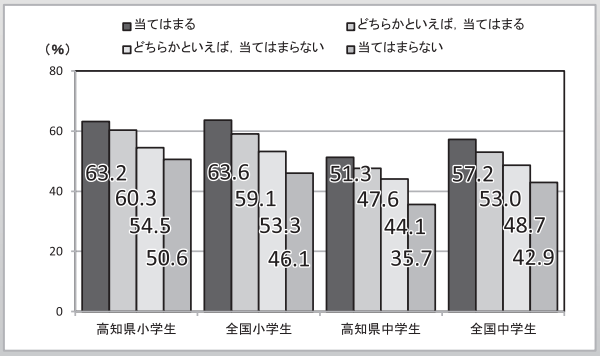


各教科における児童生徒の意識について

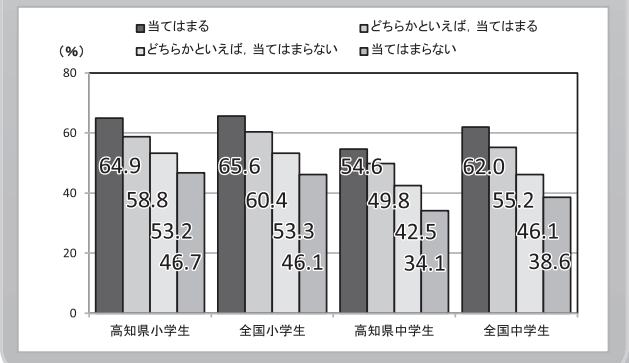
質問 55　国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか



質問 67　算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

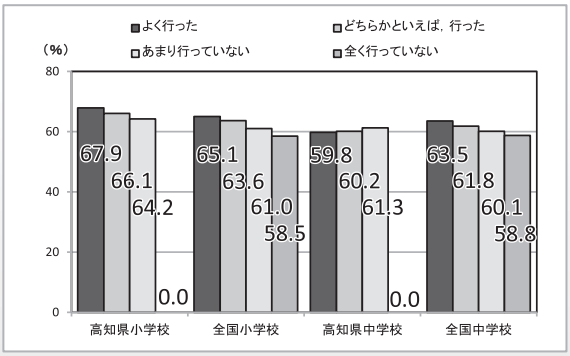


質問 80　理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか

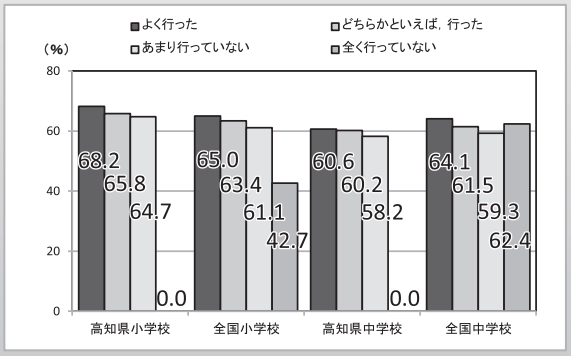


学校の取組について

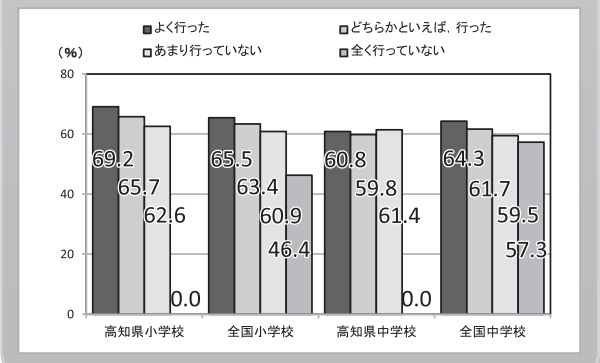
質問 31　児童生徒に対して、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



質問 32　児童生徒に対して、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



質問 40　児童生徒に対して、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



児童生徒質問紙調査の言語活動に関わる質問事項では、肯定的に回答している児童生徒の方が各教科の正答率が高く、相関が顕著に見られます。一方、学校質問紙調査の言語活動の質問事項では、小学校では正答率との相関が見られるものの、中学校では相関が見られないものがあります。

言語活動は、思考力・判断力・表現力等を育成するためのツールの一つとして重要です。今回の調査結果の分析を踏まえ、各教科の指導計画に位置付けた言語活動の内容の修正・追記を行い、授業構成や指導方法を工夫・改善していきましょう。

子どもたちの思考を促し、深める授業づくり

授業づくりのポイント

一. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二. 学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

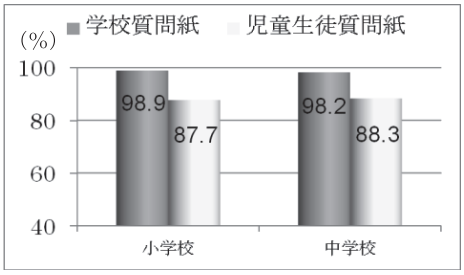
五. 学習したことの振り返りの場を設定する。

学校質問紙調査と児童生徒質問紙調査の回答状況

※グラフの数値は、各質問に対する高知県の肯定的な回答の割合（%）

めあて・学習課題の提示

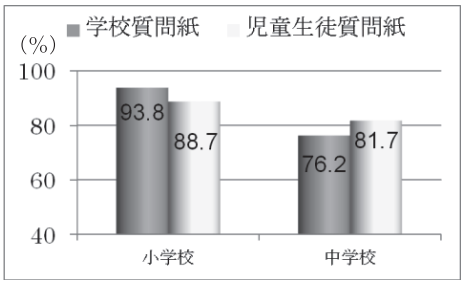
学校質問紙 【質問29】 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたか
児童生徒質問紙 【質問41】 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたか



児童生徒が、課題解決の見通しをもち、主体的に学習に取り組めるよう、適切な目標、学習課題を提示することが大切です。目標を達成するために、児童生徒に「何を、どのように学ばせるのか」など、教員一人一人が指導方法の工夫・改善に取り組んでいきましょう。

ノート指導の充実

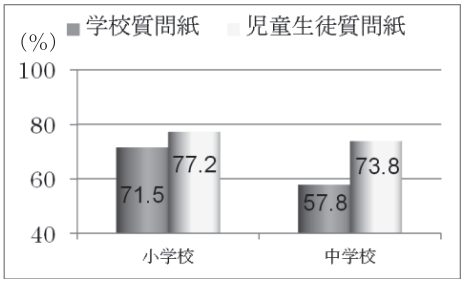
学校質問紙 【質問34】 ノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したか
児童生徒質問紙 【質問43】 ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたか



授業を振り返ったとき、思考過程がわかり、学びの成果を実感することができるよう、ノートづくりを指導することが大切です。また、ねらいの共有化、課題の明確化、思考のヒントとなるよう、板書を工夫することで、ノートの記述内容の質を高めていきましょう。

問題解決的な学習の充実

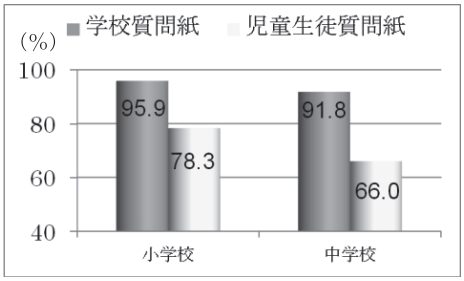
学校質問紙 【質問37】 児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか
児童生徒質問紙 【質問40】 学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたか



児童生徒の「なぜかな？」が「なるほど！」「もっと知りたい」になるよう、学習過程を大切にした授業づくりを行いましょう。また、自らの考えを、根拠をもって表現し、他者との交流を通して深めることのできる授業を仕組んでいきましょう。

振り返りの活動の充実

学校質問紙 【質問30】 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたか
児童生徒質問紙 【質問42】 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたか



「ねらいを達成した児童生徒 は、何がわかり、何ができるようになるのか」を明確に設定し、それに対応して適切な振り返りの活動を設定することが大切です。また、効果的な振り返りの活動になるよう、授業構成についても検討することが大切です。

質問紙調査には、「授業づくりのポイント」に関連する項目があります。今回、上に示した４つの項目について回答状況を見ると、県全体の学校と児童生徒の意識にはずれがあります。各学校において、児童生徒が学校の取り組みをどのように受け止めているか、また、質問の内容をどのように捉えているかなど、児童生徒の意識を把握することが大切です。そのような分析も踏まえて、何を指導すべきかを明確にし、指導した内容が身に付いたかを評価する学習指導のＰＤＣＡサイクルを生かした授業づくりを充実させていきましょう。

思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりの取り組みを充実させるために，自分の授業を振り返ってみましょう！

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント

授業中に		チェック
1.	子どもに学習の見通しをもたせるために，授業のねらいを示す。	
	① 学習指導要領の指導内容に基づいたねらいになっている。	□
	② 児童生徒にねらいをつかませ，課題意識をもたせている。	□
2.	学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。	
	① 板書計画に基づいた構造的な板書をしている。	□
	② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫している。	□
3.	自分の考えを，根拠を基に説明させたり，書かせたりする。	
	① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう，手立てを工夫している。	□
	② 全員が課題解決に取り組めるよう，適切な支援をしている。	□
4.	話し合いや書く活動などを通して，学習したことを整理し，考えを深めさせる。	
	① ねらいを達成するために，話し合いや交流の目的を明確にしている。	□
	② 考えを深めたり広げたりすることができるよう，児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。	□
5.	学習したことの振り返りの場を設定する。	
	① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。	□
	② 学習内容に有用感がもてる適用問題や評価問題を実施している。	□
日常的に		チェック
6.	学習時間を保証し，開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。	□
7.	すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。（すっきりした黒板周りの掲示，机・椅子の整理整頓など）	□
8.	あいさつ，言葉づかい，聞く姿勢等，教師が子どもの模範となる。	□

平成２７年１０月改訂　高知県教育委員会事務局小中学校課



各学校においては、授業づくりの取り組みを進めるに当たり、なぜ目標を示す活動や学習したことを振り返る活動を取り入れるのかなど、活動の目的を全教職員で共有していると思います。現在行っている活動がその目的にあっているか、内容を吟味し、活動の充実を図っていきましょう。

今回「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくり」（平成２４年９月）の「授業中に」の５つの項目について、活動の質をさらに高めるために、特に留意していただきたいことを２点ずつ示しています。

各学校において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決していく力を育む授業づくりの充実のために、活用してください。

組織的に取り組む思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり（実践例）

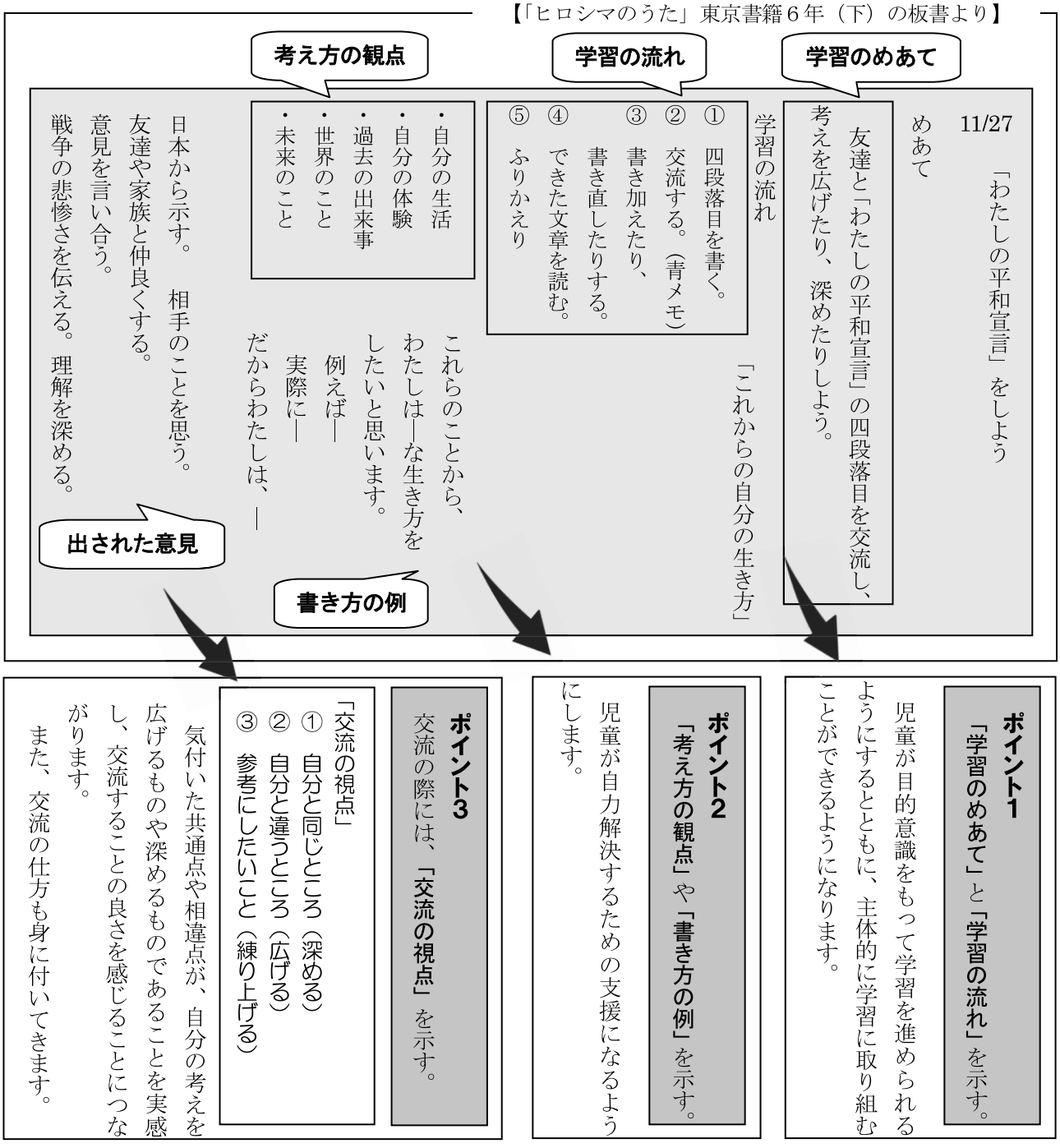
各学校においては、「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」をもとに、学力調査等から見られる課題を解決するための授業を構成し、実践を積み重ねていただいていることと思います。ここでは、３校の学力向上のための取り組みを紹介します。

香南市立野市小学校

野市小学校では、学習内容を共有し、児童の思考を活性化させ、児童の理解が深まるように板書を工夫しています。

また、板書以外にも、単元計画や言語活動のモデル、前時までの学習を振り返ることができるように学習の足跡を掲示し、視覚的に支援しています。

【「ヒロシマのうた」東京書籍６年（下）の板書より】



ポイント1
「学習のめあて」と**「学習の流れ」**を示す。

児童が目的意識をもって学習を進められるようにするとともに、主体的に学習に取り組むことができるようになります。

ポイント2
「考え方の観点」や**「書き方の例」**を示す。

児童が自力解決するための支援になるようにします。

ポイント3
交流の際には、**「交流の視点」**を示す。

「交流の視点」
① 自分と同じところ（深める）
② 自分と違うところ（広げる）
③ 参考にしたいこと（練り上げる）

気付いた共通点や相違点が、自分の考えを広げるものや深めるものであることを実感し、交流することの良さを感じることにつながります。

また、交流の仕方も身に付いてきます。

越知町立越知中学校

越知中学校では、学校独自の授業づくりのスタンダードを確立し、活用する力を問う問題を解決する力を育成するために、課題解決型の学習に取り組んでいます。

越知中「授業づくりのスタンダード」

1　子どもに学習の見通しをもたせるために、前時の振り返りから始める。

2　生徒自身に問いをもたせるように、課題の提示を工夫する。

ポイント１
「問いの共有」と「自力解決の時間（１５分程度）の確保」

「問いの共有」

課題の提示後、「何について、どのようにして解決していくのか」を確認し、目標の達成に向けて見通しをもたせます。

※授業の中心的活動が本時のめあてや目標に沿ったものになっているか教師側が確認をする上で重要です。



「自力解決の時間（１５分程度）の確保」

自分で思考し判断する習慣を身に付けさせ、集団解決の時間における練り合いの土台となります。ノートには、図や式や言葉などを用いて、考えた理由を筋道立てて書かせます。

※教師は、ヒントや解き方の手順など、適切な支援策を準備しておき、机間巡視を行います。

3　自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

ポイント２
「集団解決」〔グループ（４人）　→　全体共有〕

「集団解決」

自力解決後は、グループで、司会を中心に話し合いを行い、個人の考えを整理します。

全体共有の場では、学習課題に迫る考察を行います。１～２グループの意見を取り上げ、その考え方と他のグループの考えとをつなげさせたり、比較・分類させたりする等、目標に迫らせます。

※自由に個人のノートを見回り意見を述べ合うなど、その状況に合った適切な場を設定し、全体共有できる工夫をします。



4　話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

5　学習したことの振り返りの場を設定する。

大月町立大月中学校

大月中学校では、授業における「大月中スタンダード」に基づく日々の実践はもちろんのこと全校授業研究や評価テストを検証の機会とし、授業改善のＰＤＣＡサイクルを確実に機能させています。

1　大月中スタンダードの中で、「各教科の用語・表現を使った言語活動」「めあてに対する振り返り」に重点を置いた実践研究を行っています。

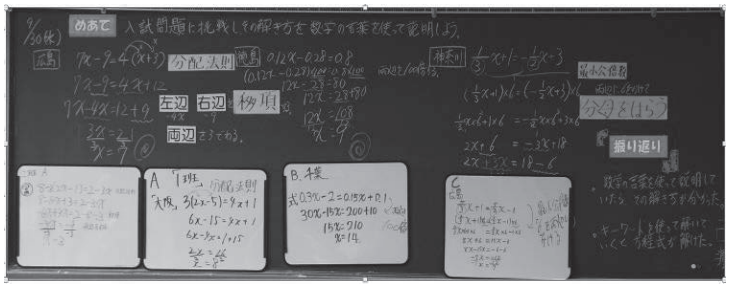
大月中スタンダード

○　めあての提示
○　発問の工夫
◎　各教科の用語・表現を使った言語活動

生徒が自分の考えを表現する際に、授業のキーワードとなる教科の用語や表現を使うように指導します。
キーワードを活用する場面を設定することで、教科の用語や表現の意味理解が深まり、生徒が活用の仕方を身に付けることができます。

○　ホワイトボードの利用
◎　めあてに対する振り返り

授業の導入で提示しためあてに対して、生徒が、キーワードを使って本時の学習を振り返る時間を確保します。
キーワードを使った振り返りをさせることにより、教科の用語や表現の定着状況を把握し、不十分であれば家庭学習や次時の導入で補充を行います。



キーワードを使った表現、振り返りのある板書

2　全校授業研究を通じた実践研究を推進しています。

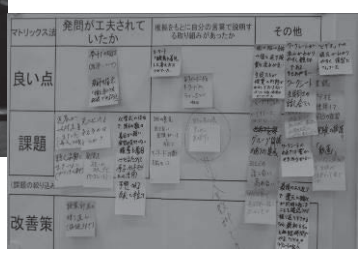
授業参観の視点
「ねらいにせまる発問が工夫されていたか」「根拠をもとに説明する言語活動があったか」

全校授業研究
ワークショップ型の研究協議
・２つ視点で授業を参観し、「良い点」「課題」「改善策」を、マトリックス表で整理する。
・課題を絞り込み、改善策を明確にする。（次の研究協議の参観シートに明記）

授業改善のサイクル化

日々の授業実践
・改善策を生かした授業を行う。
・管理職や研究主任（学力向上推進教師）が日常的に授業を参観し、授業者にアドバイスを行うなど、進捗管理を図る。


全校授業研究の研究協議



研究協議で使用するマトリックス表

１学年の同じ教科の授業を複数教員で担当する「タテ持ち」を取り入れたり、職員室の机の配置を工夫したりすることで、担当教員同士が授業について日常的に話し合える環境が整い、実践研究の推進につながっています。

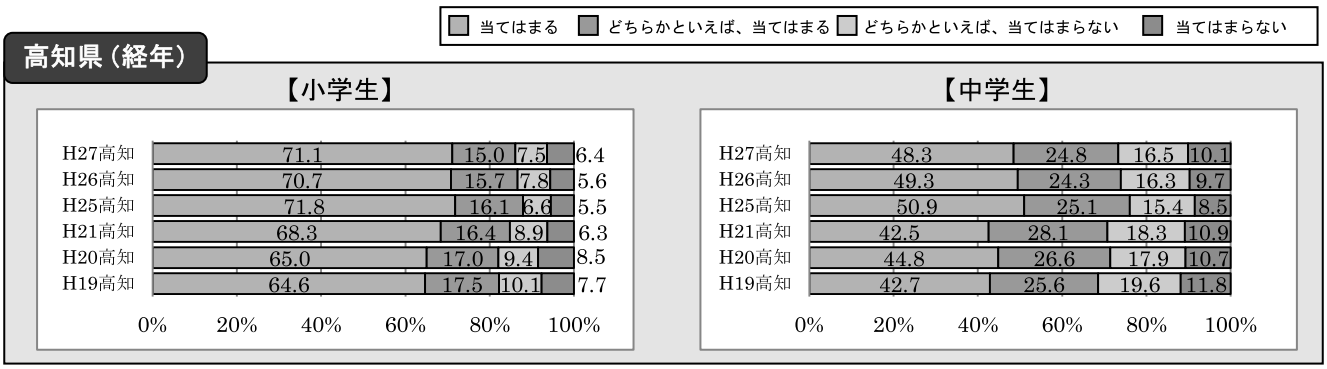
4　質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

高知のキャリア教育の柱「社会性の育成」

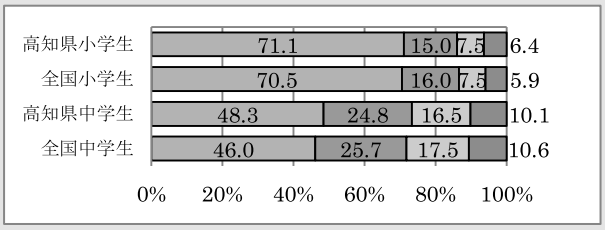
＊「肯定群」は、選択肢の「している・どちらかといえば、している」や「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。
＊文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±２ポイントの範囲内にあることを表している。
＊高知県（経年）は、悉皆調査であった調査年度の結果を掲載している。

【将来の夢や目標を持っていますか】

高知県（経年）



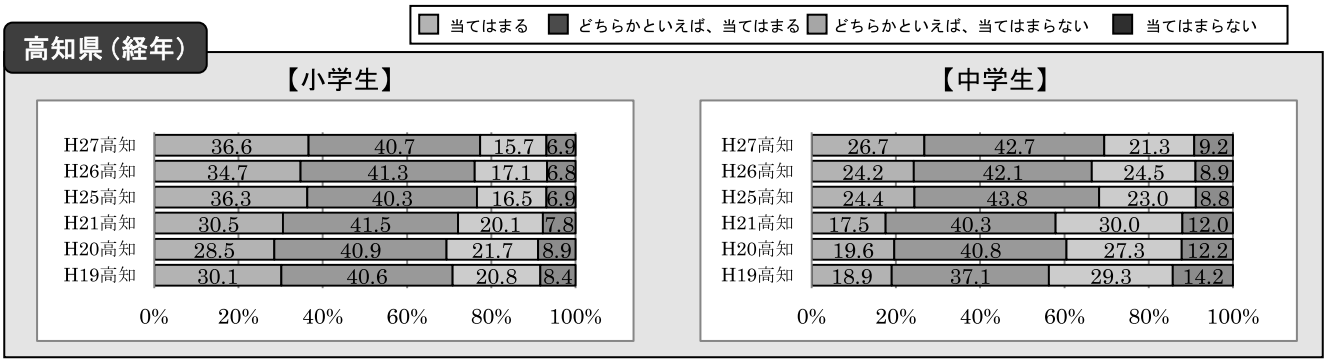
平成 27 年度調査結果



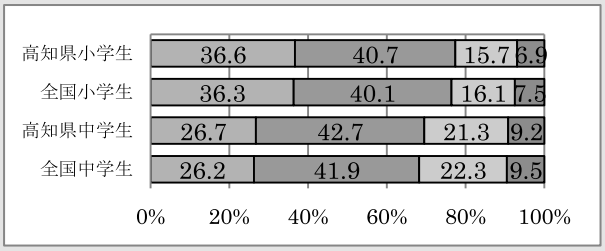
小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。児童生徒が将来の生き方について考え、キャリアプランニング能力を身に付け、伸ばすことができるよう、各学校で作成しているキャリア教育の指導計画に基づいて授業を行っていくことが重要です。

【自分には、よいところがあると思いますか】

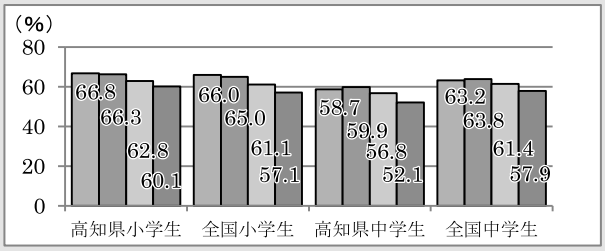
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



質問項目と正答率との相関

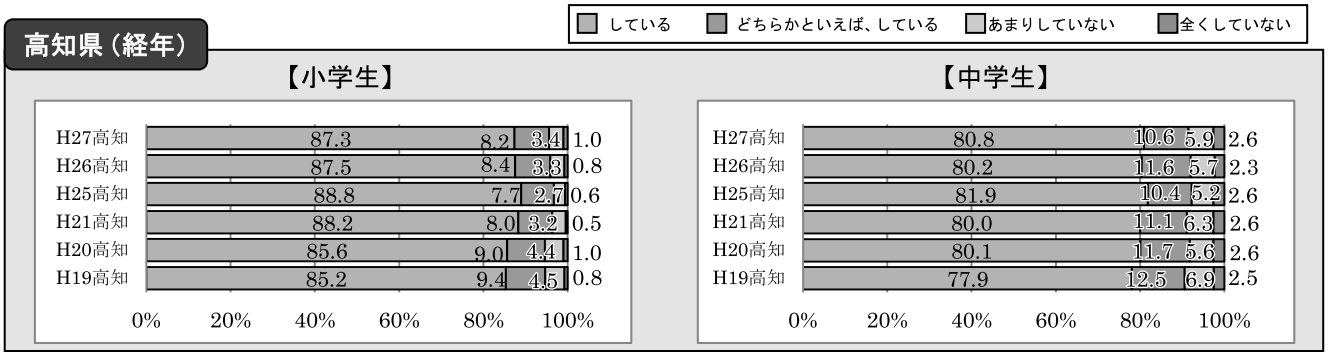


小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。中学生では、自尊感情と正答率には相関が見られないものの、小学生では、自尊感情と正答率には相関が見られます。児童生徒一人一人が自信をもち、互いに高め合っていけるような学級づくり、授業づくりを行うことが大切です。

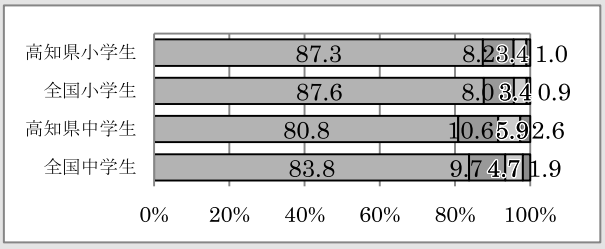
高知のキャリア教育の柱「基本的生活習慣の確立」

【朝食を毎日食べていますか】

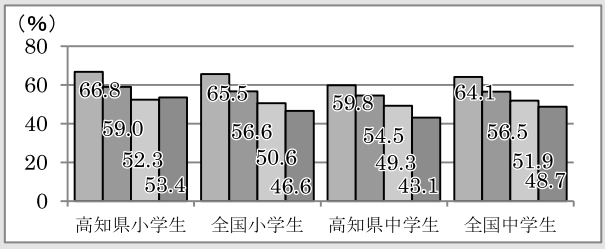
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



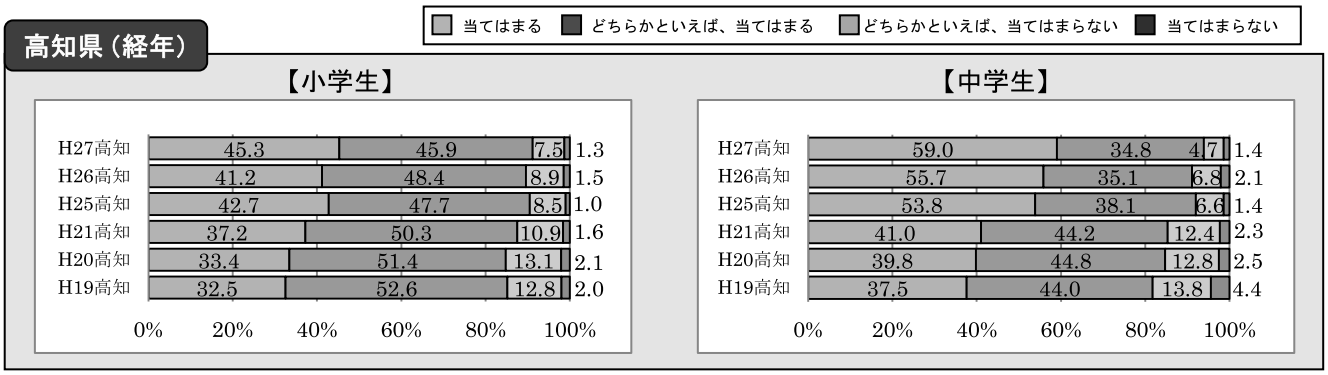
質問項目と正答率との相関



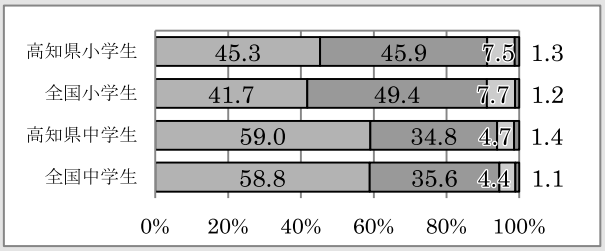
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じですが、中学生では、２．１ポイント下回っています。朝食を毎日食べている児童生徒ほど正答率が高い傾向があることから、子どもたちの活力の源をつくるために、朝食を摂るなどの生活習慣を見直す機会をもち、児童生徒が自ら基本的生活習慣を確立できるようにしていくことが大切です。

【学校のきまり（規則）を守っていますか】

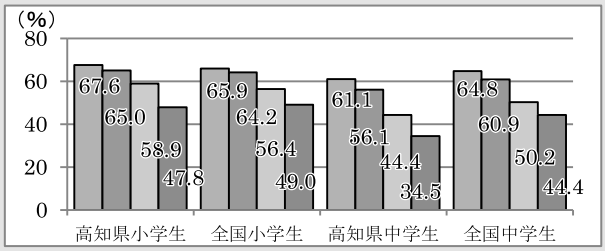
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



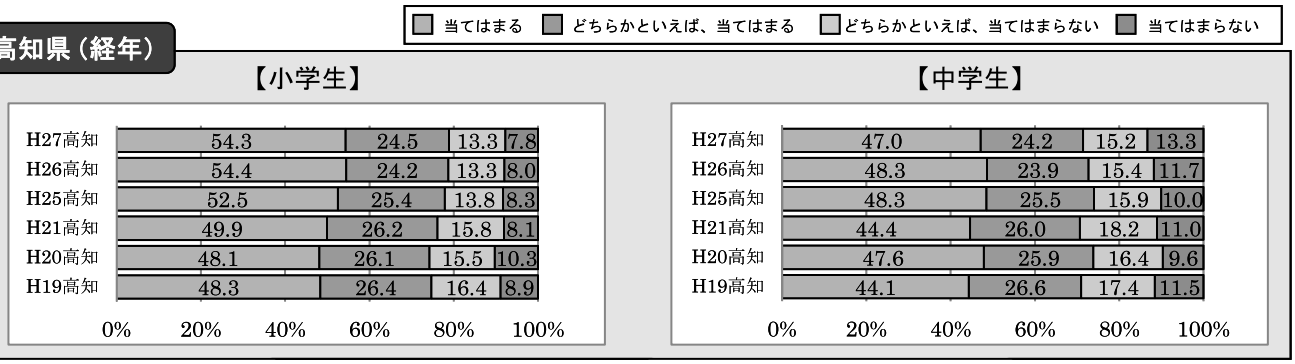
質問項目と正答率との相関



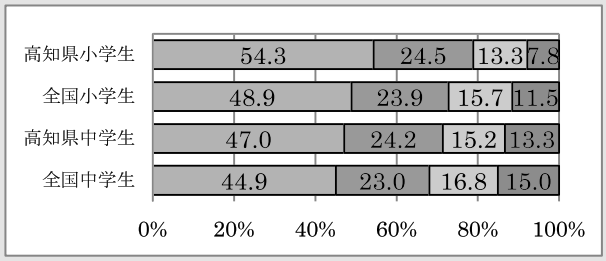
小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じであり、規範意識と正答率には相関が見られます。各学校において、児童生徒の規範意識を高めるために、他者との関わりを大事にし、自他を尊重できるよい人間関係を育む教育活動を進めていくことが大切です。

【読書は好きですか】

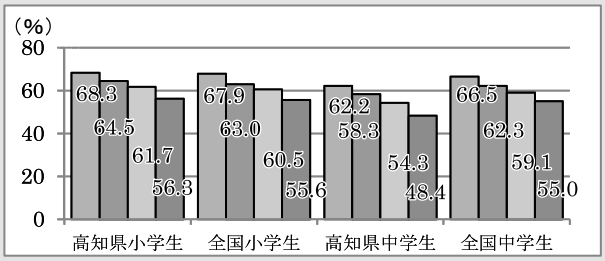
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



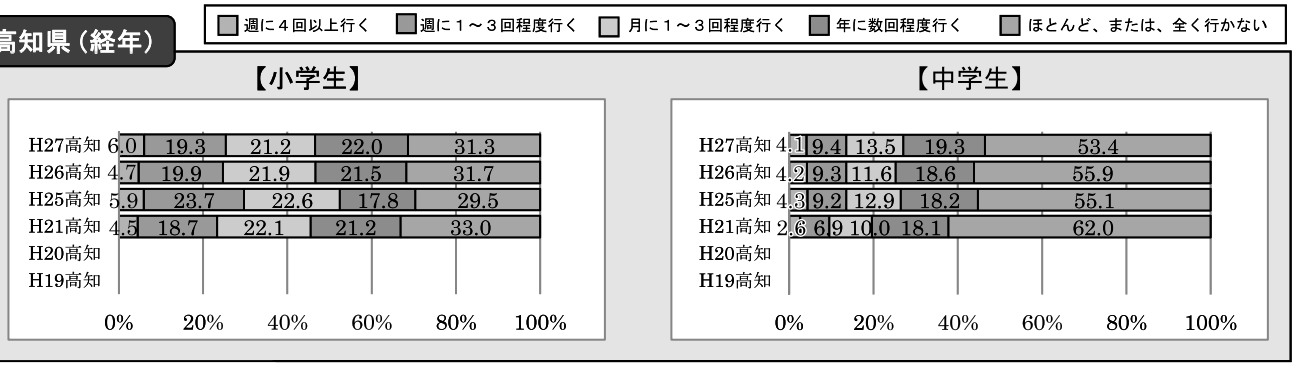
質問項目と正答率との相関



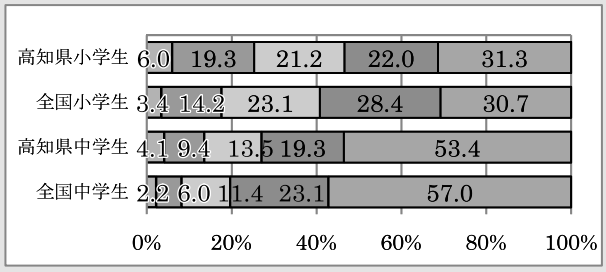
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では６．０ポイント、中学生では３．３ポイントそれぞれ上回っています。読書への関心と正答率には相関が見られます。児童生徒の豊かな感情を育むとともに、表現力等を高めることにつなげるためにも、読書を通して、生き方や考え方などに触れる機会を仕組むことが大切です。

【本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか】

高知県（経年）

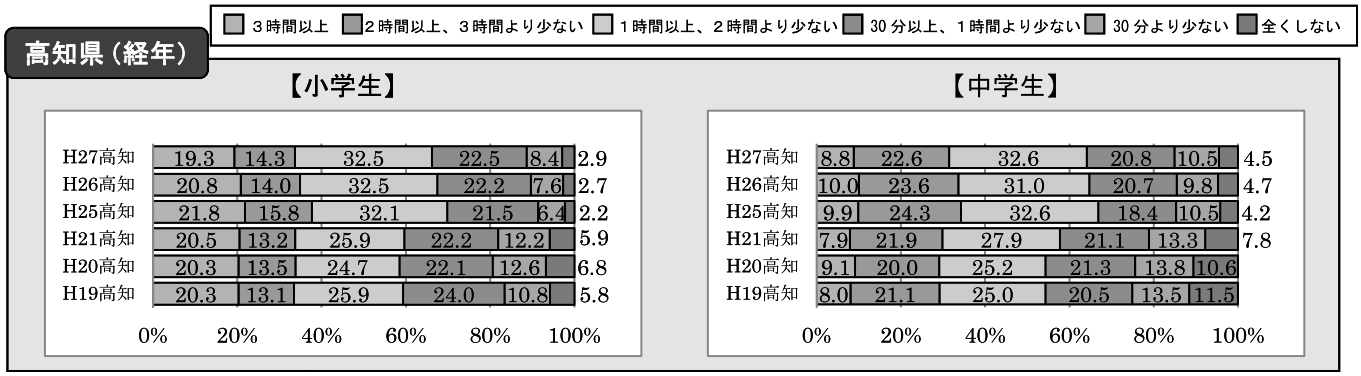


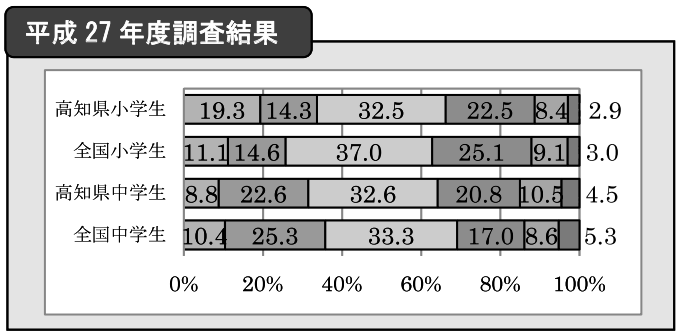
平成 27 年度調査結果



「週に１回以上」行くと回答した割合は、全国と比較すると、小学生では７．７ポイント、中学生では５．３ポイントそれぞれ上回っています。各教科において、学校図書館・室を活用した授業づくりを進める中で、児童生徒の本への関心を高めるなど、本との出会いを仕組んだり、図書資料の活用の仕方等を学んだりすることで、学校図書館・室の利用につなげていくことも大切です。

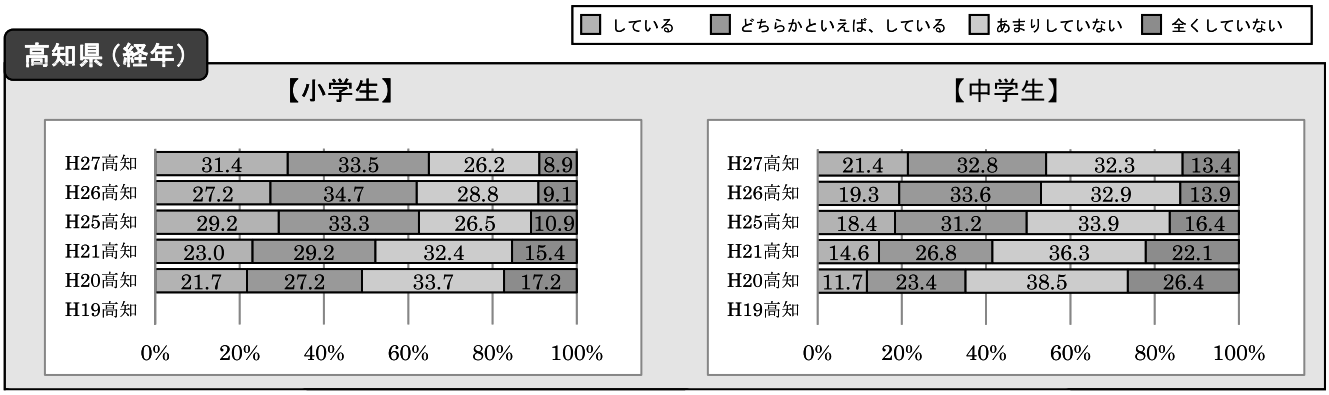
【学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか】

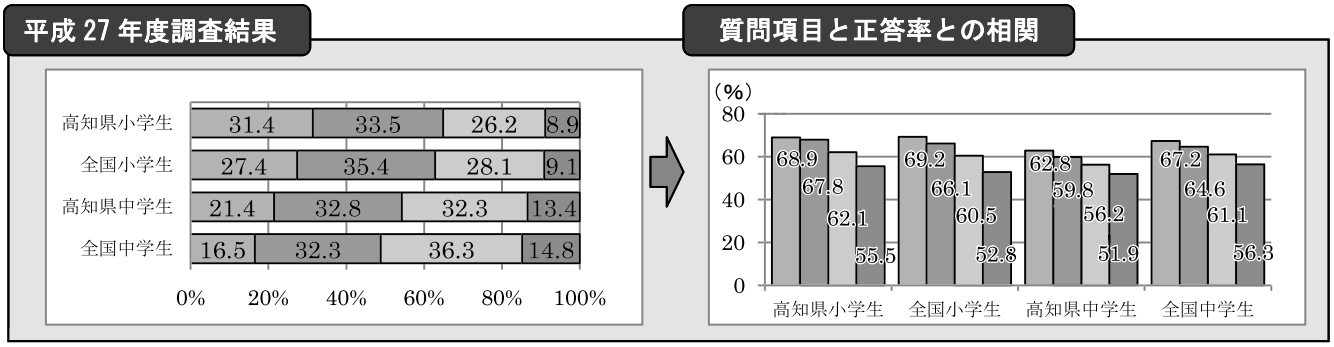




「１時間以上」勉強すると回答した割合は、全国と比較すると、小学生では３．４ポイント上回っていますが、中学生では５．０ポイント下回っています。授業内容の定着を図ったり、発展的に考えたりできるような適切な課題を設定することで、家庭学習の質・量ともに高めていくことが大切です。

【家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか】

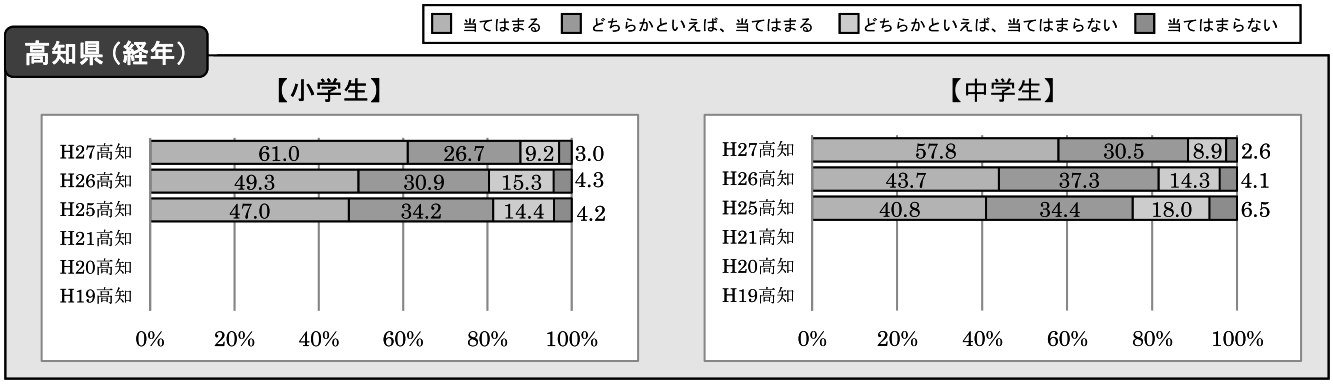


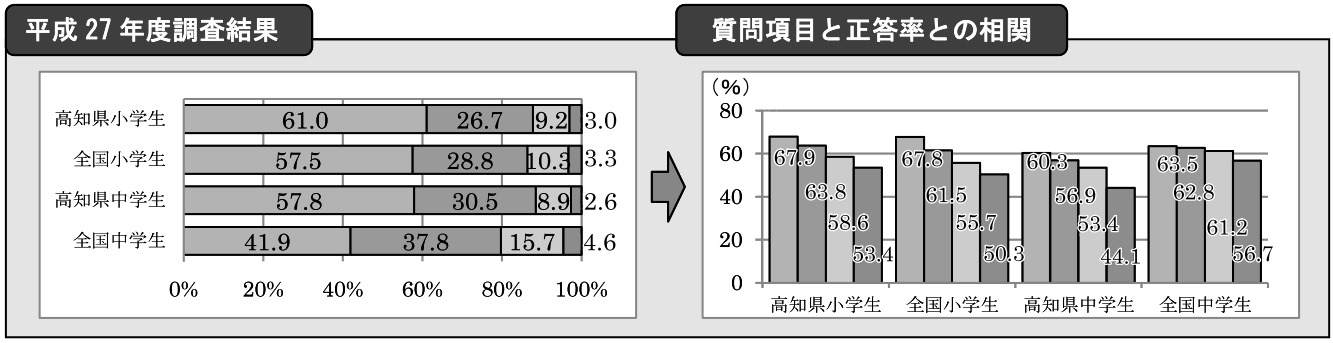


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では２．１ポイント、中学生では５．４ポイントそれぞれ上回っています。計画的な学習習慣と正答率には相関が見られます。学習の仕方等を指導し、児童生徒が家庭学習の内容や時間など、生活全般における計画性をもてるようにすることが大切です。

高知のキャリア教育の柱「学力向上」

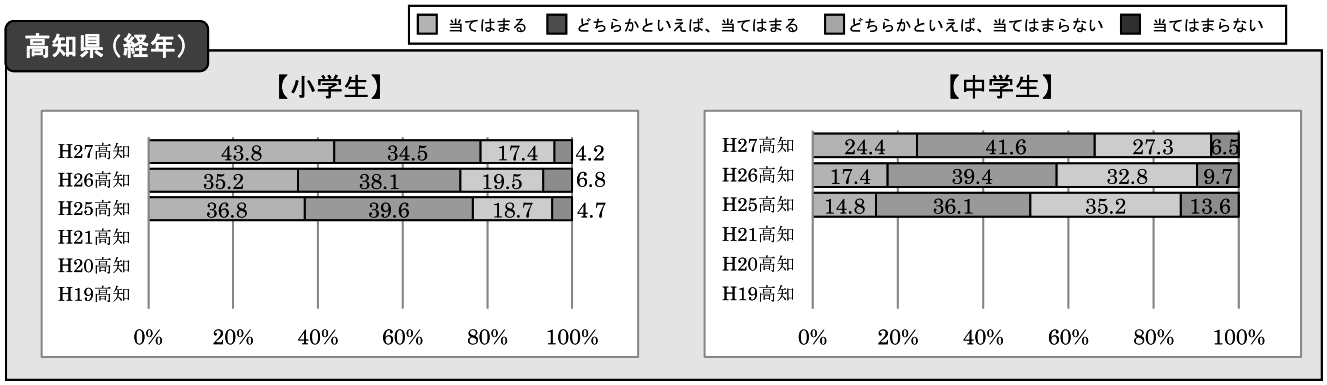
【授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか】

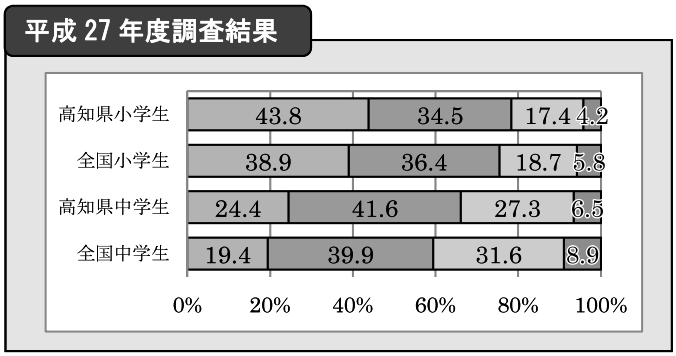




全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じですが、中学生では８．６ポイント上回っています。小・中学生ともに、授業の目標の提示と正答率には相関が見られます。授業において、児童生徒が気づきや疑問を解決するために、適切な授業の目標を提示し、課題解決の見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるようにすることが大切です。

【授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか】

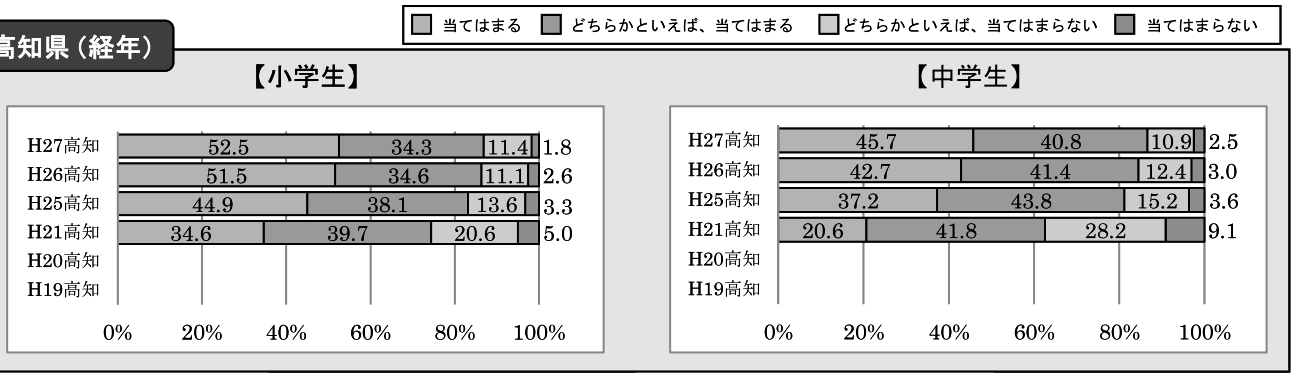




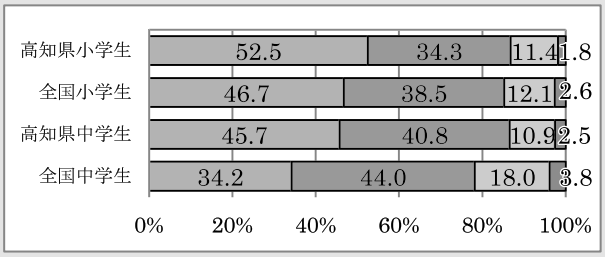
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では３．０ポイント、中学生では６．７ポイントそれぞれ上回っています。授業で、児童生徒が自ら授業の目標の達成状況を振り返ることで、「何がわかり、できるようになったのか」を実感できるようにしていくことが大切です。

【授業では、学級の友達との間で（生徒の間で）話し合う活動をよく行っていたと思いますか】

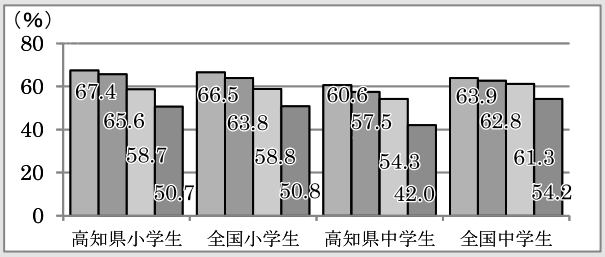
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



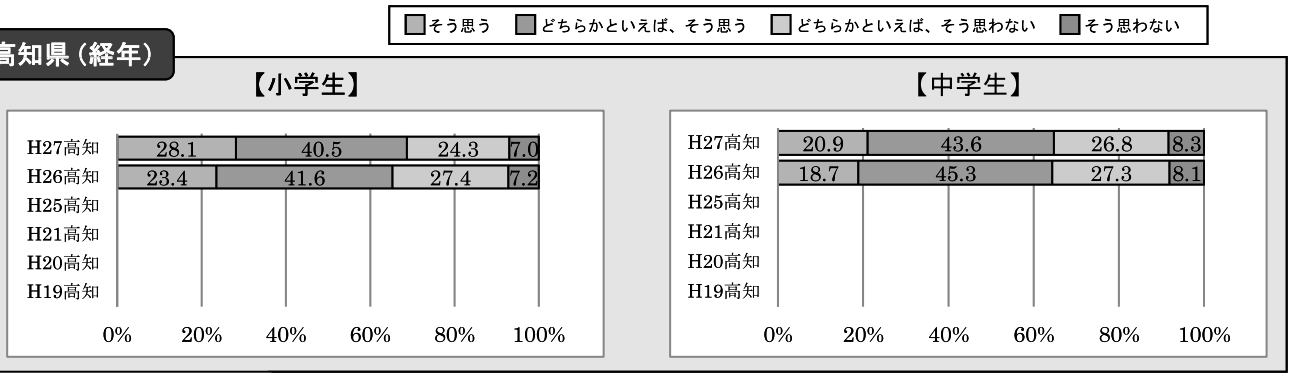
質問項目と正答率との相関



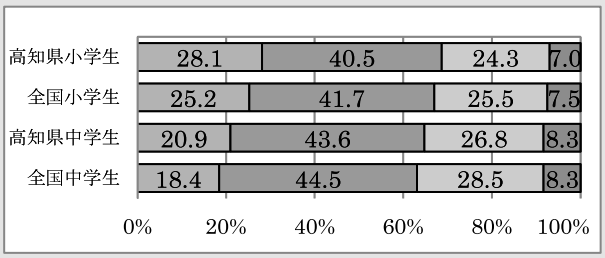
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じですが、中学生では、８．３ポイント上回っています。小・中学生ともに、授業において話し合う活動をよく行うことと正答率には相関が見られます。授業の目標を達成するために、児童生徒が教科の特性を生かした方法で自分の考えを表現できるよう手立てを工夫するなどして、話し合う活動を適切に設定することが必要です。

【学級の友達との間で（生徒の間で）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

高知県（経年）



平成 27 年度調査結果

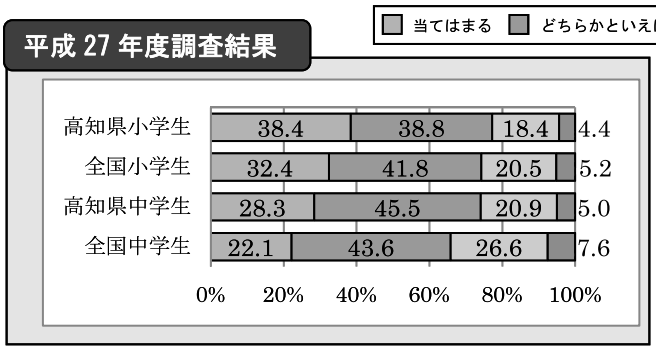


小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じであり、本県のＨ２６年度と比較すると、小学生では３．６ポイント増加しています。話し合う活動を通じて、互いの考えを伝え合い、比較したり、関連付けたりすることで、学びが深まり、広がったと実感できるようにすることが大切です。

新規項目

【授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか】

平成 27 年度調査結果

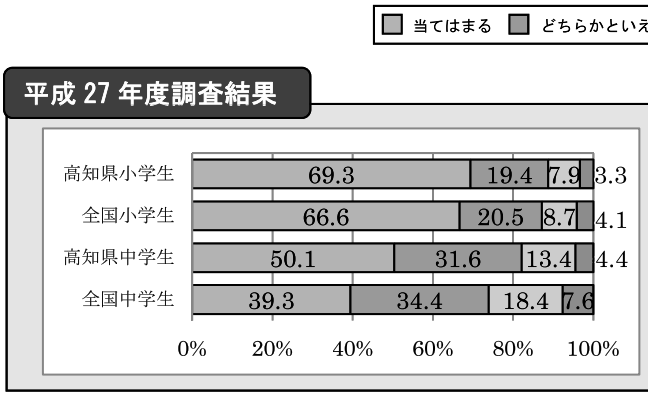


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では３．０ポイント、中学生では８．１ポイントそれぞれ上回っています。各教科において、問題解決の能力や主体的に学ぶ意欲が育成される授業づくりに取り組み、児童生徒が自ら課題を見つけ、その課題を協働的に解決することができるようにしていくことが大切です。

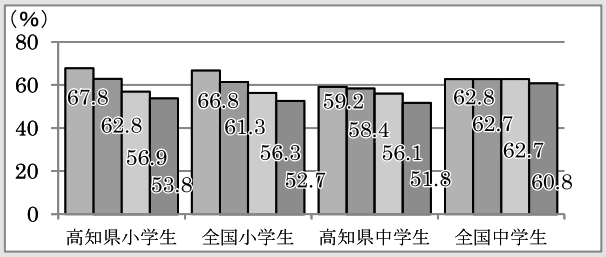
新規項目

【授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか】

平成 27 年度調査結果



質問項目と正答率との相関



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じですが、中学生では８．０ポイント上回っています。ノートづくりと正答率には相関が見られます。児童生徒が学習過程のわかるようなノートをつくり、それを次の学習場面や家庭での学習で活用できるようにすることが大切です。

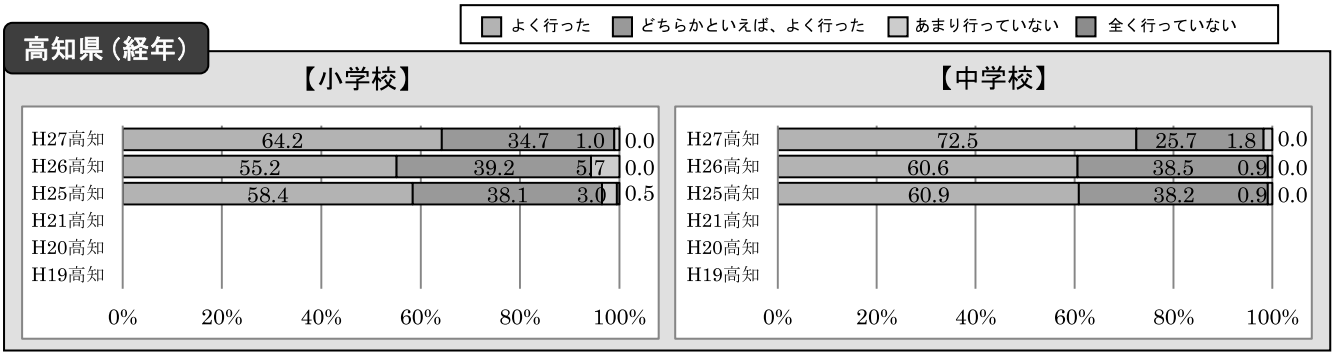
5　質問紙調査の結果（学校質問紙）

＊「肯定群」は、選択肢の「よく行った・どちらかといえば、行った」、「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」、「よくしている・どちらかといえば、している」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。
＊文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±２ポイントの範囲内にあることを表している。
＊高知県（経年）は、悉皆調査であった調査年度の結果を掲載している。

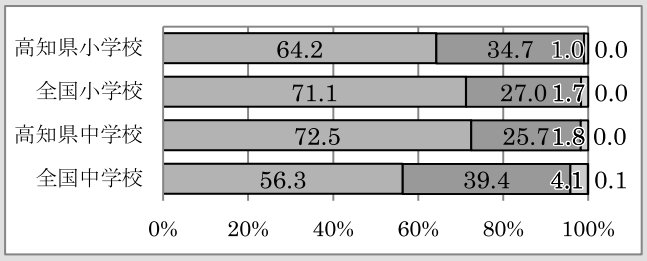
〔指導方法〕

【授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れましたか】

高知県（経年）



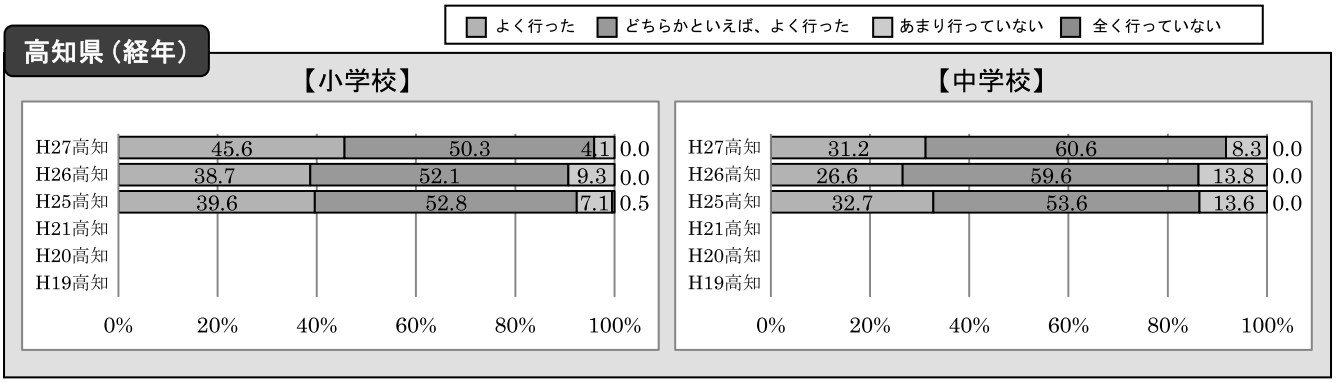
平成 27 年度調査結果



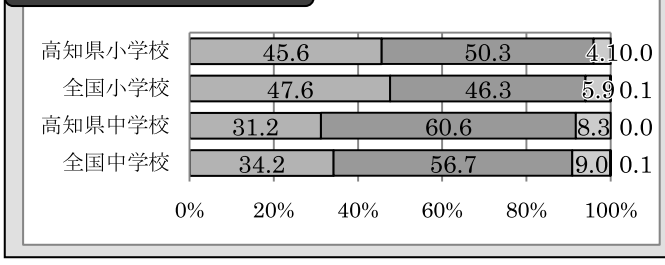
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では２．５ポイント上回っています。児童生徒に授業の目標をつかませ、課題意識をもたせるためにも、各教科で学習指導要領の指導内容に基づいた目標を設定することが大切です。

【授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか】

高知県（経年）



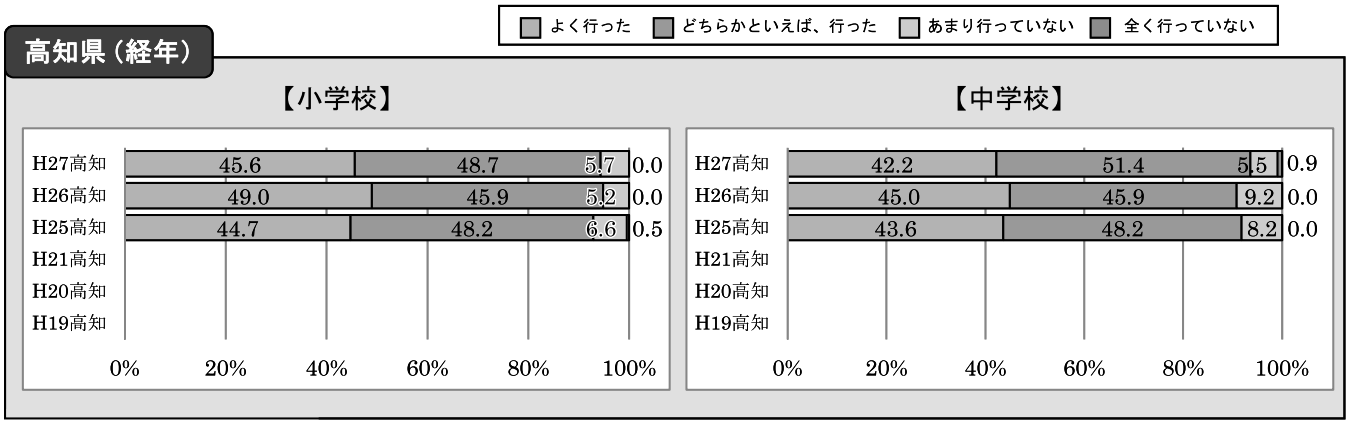
平成 27 年度調査結果



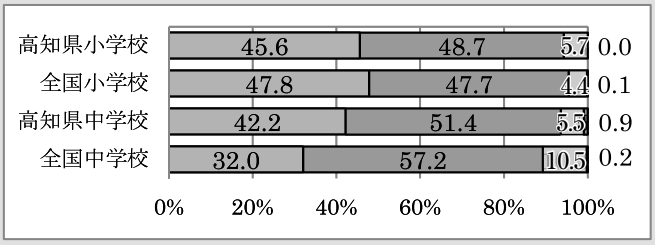
小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。授業の最後に、児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどをまとめさせ、評価問題等で学習の定着状況を把握することができるよう、振り返る活動を適切に位置付けることが大切です。

【学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか】

高知県（経年）



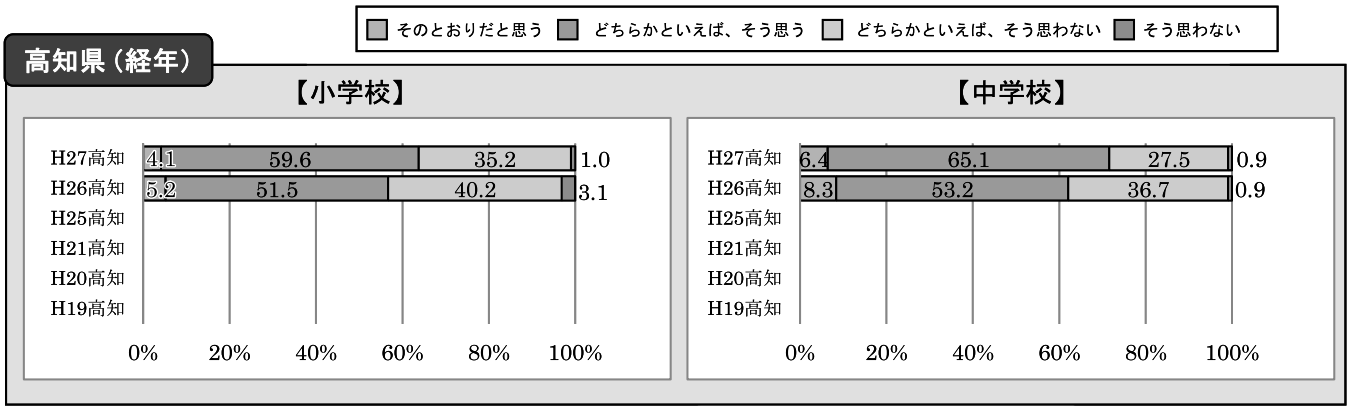
平成 27 年度調査結果



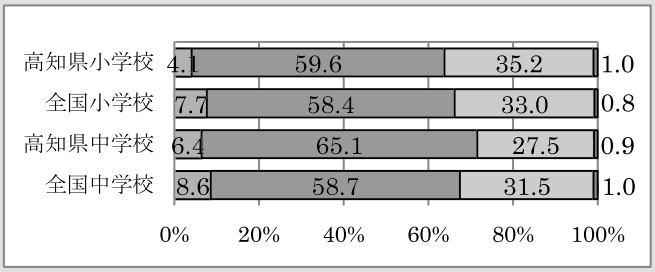
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では４．４ポイント上回っています。話し合う活動は、児童生徒の学びの質を高めるためのものです。児童生徒一人一人の目標の達成状況を把握し、その効果を検証しながら、より適切に位置付けていくことが大切です。

【児童生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

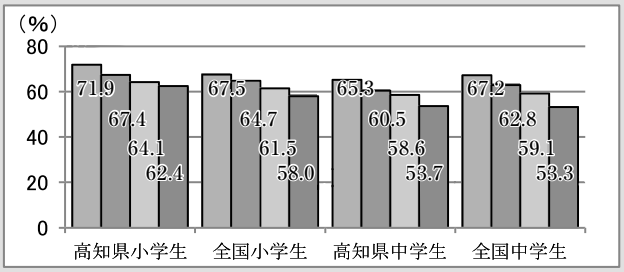
高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



質問項目と正答率との相関

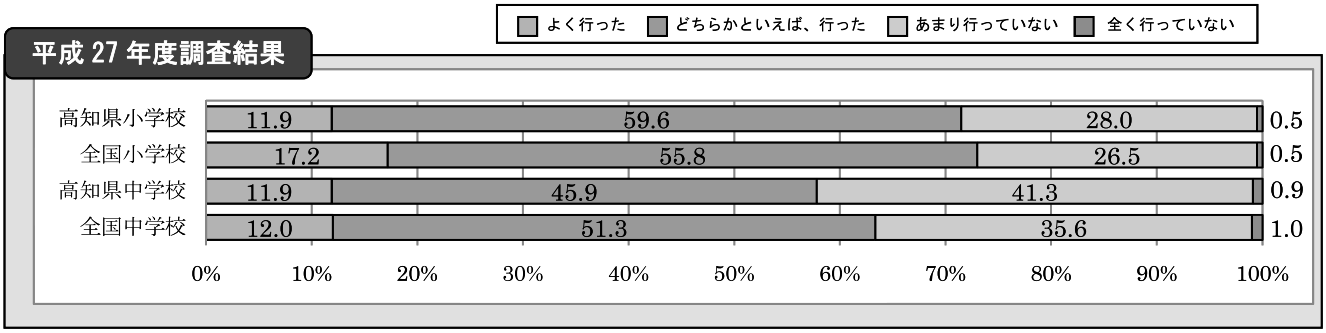


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では２．４ポイント下回っていますが、中学校では４．２ポイント上回っています。話合いなどの活動で考えを深めたり、広げたりすることと正答率には相関が見られます。話し合う活動をする際には、授業の目標を達成するために、話し合いや交流の目的を明確にし、児童生徒の意見を価値付けたり、つなげたりすることで、課題解決を図ることができるよう、適切な支援をしていくことが大切です。

新規項目

【授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか】

平成 27 年度調査結果

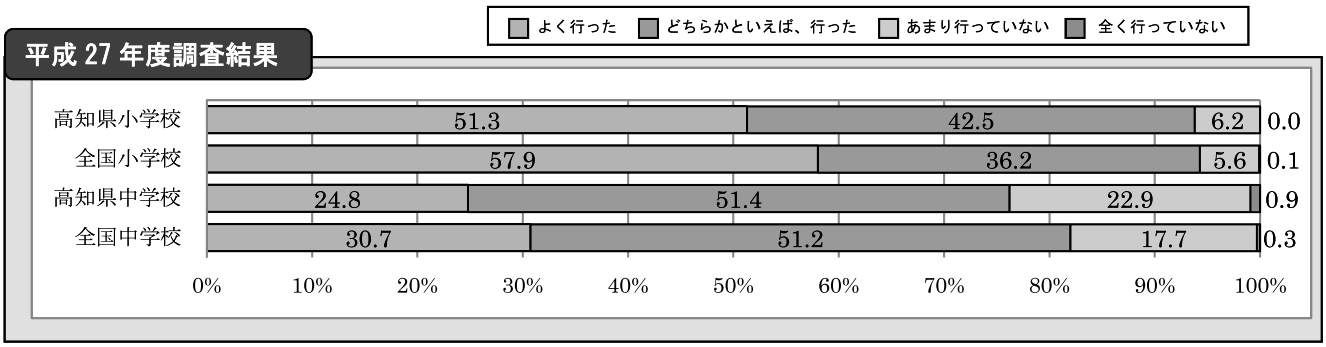


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では５．５ポイント下回っています。協働的に学び合うことで、学びの質を高めるような問題解決的な学習について、各教科の特性を生かした取り組みを進めていくことが大切です。

新規項目

【授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか】

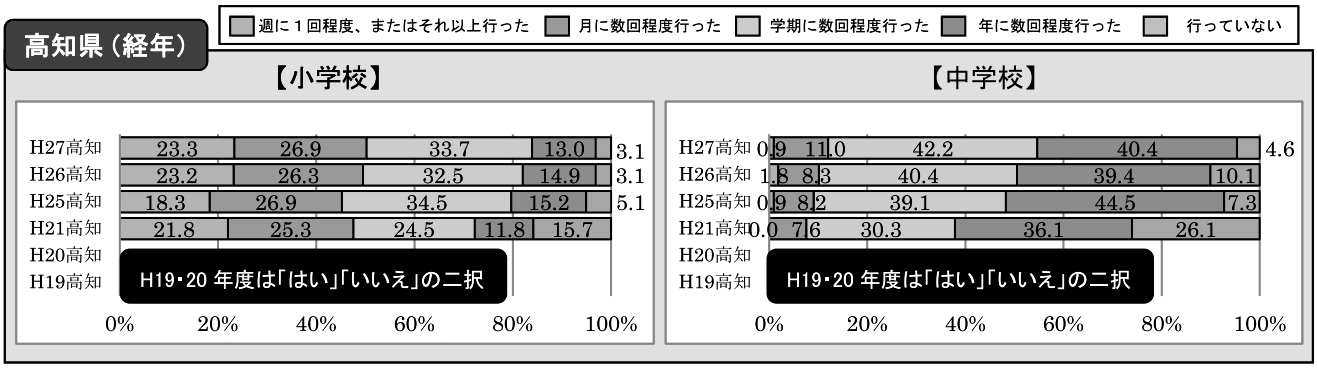
平成 27 年度調査結果

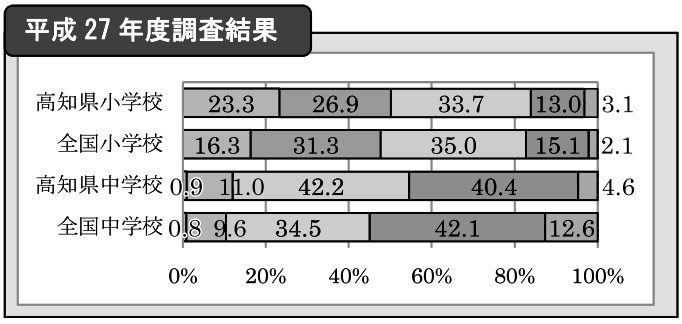


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では５．７ポイント下回っています。「授業づくりのポイント」に基づき授業を構成し、児童生徒が課題解決の道筋を捉えたり、学習内容を整理したりすることができるよう、適切なノートづくりを指導することが大切です。

〔学力向上に向けた取組〕

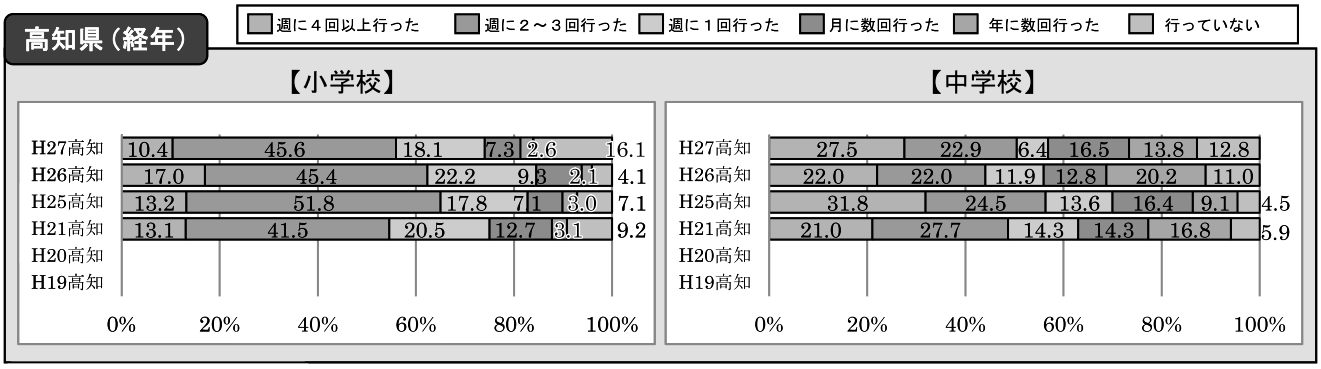
【学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか】

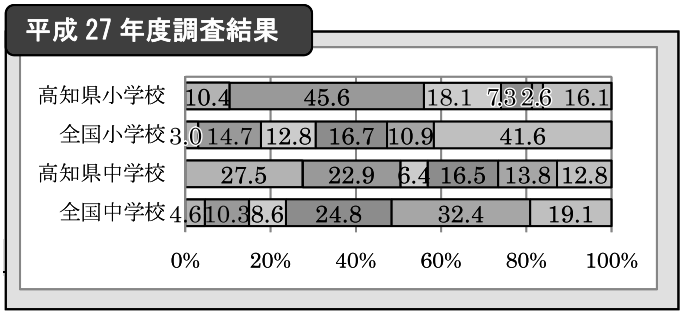




「月に数回以上」行ったと回答した学校の割合は、全国と比較すると、小学校では２．６ポイント上回っていますが、中学校ではほぼ同じです。児童生徒が気づきや疑問を解決するために、教科指導においても学校図書館を効果的に活用することは大切です。各教科の指導計画に学校図書館を活用した授業を位置付けるなど、学校全体で取り組みを進めることが重要です。

【放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか】

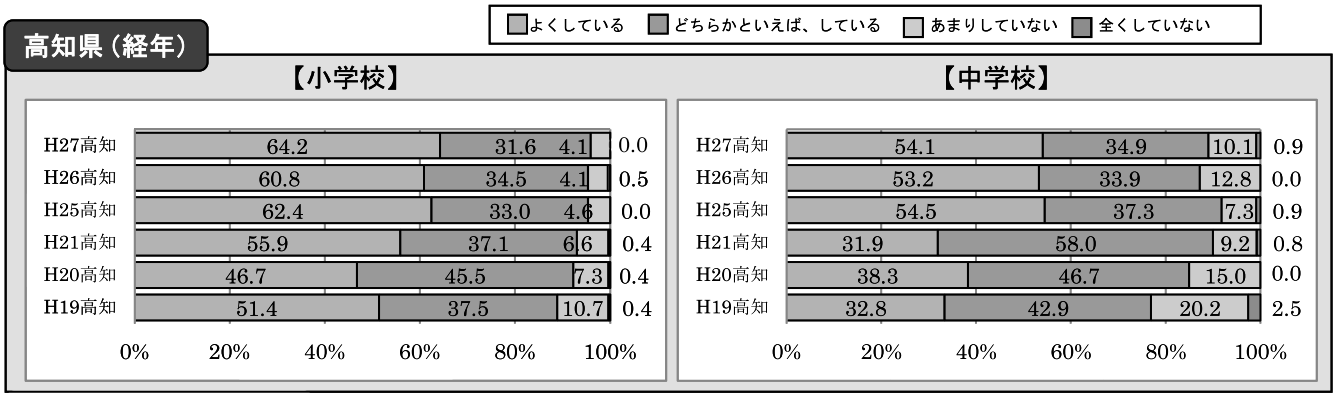




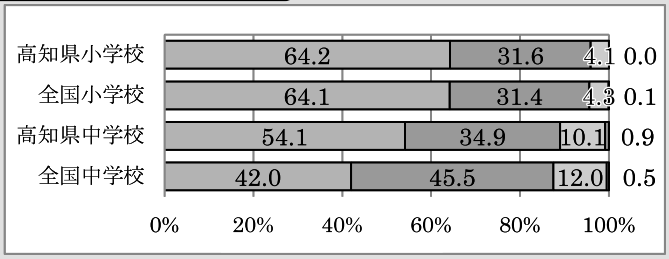
「週に２回以上」実施したと回答した学校の割合は、全国と比較すると、小学校では３８．３ポイント、中学校では３５．５ポイントそれぞれ上回っています。児童生徒の学習の定着状況を捉え、課題に応じた個別支援などを行うことができるよう、補充的な学習サポートを充実させ、基礎的な学力の定着につなげていくことが大切です。

【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】

高知県（経年）



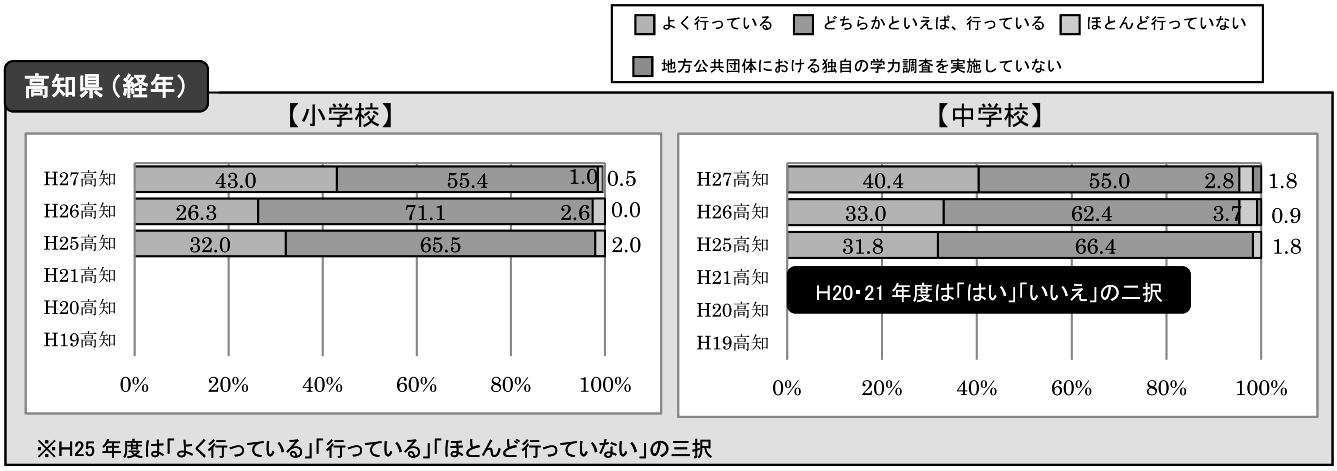
平成 27 年度調査結果



小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。学校経営計画に基づいた学力向上のPDCAサイクルが確立されるよう、実践的な研修を検証場面の一つとして位置付け、その検証結果を、教員一人一人が授業改善の取り組みに反映させていくことが大切です。

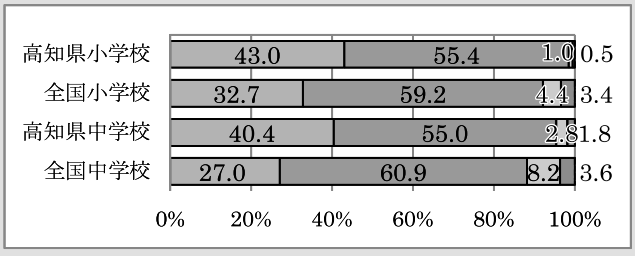
【全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか】

高知県（経年）



※H25 年度は「よく行っている」「行っている」「ほとんど行っていない」の三択

平成 27 年度調査結果

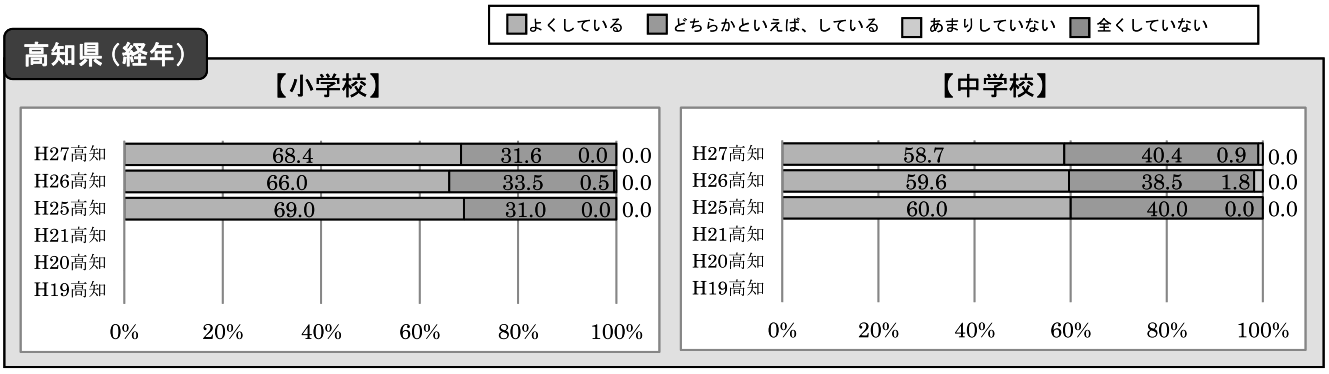


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では６．５ポイント、中学校では７．５ポイントそれぞれ上回っています。全国学力・学習状況調査と高知県学力定着状況調査結果等を併せて分析し、学校の取り組みの効果を短期的なスパンで検証し、指導計画の見直しを行うなど、取り組みの質を高めていくことが大切です。

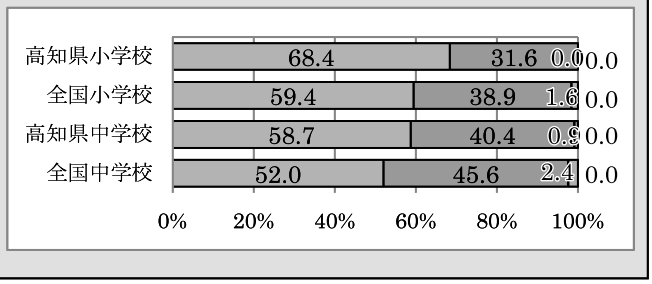
〔教職員の取組〕

【学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか】

高知県（経年）



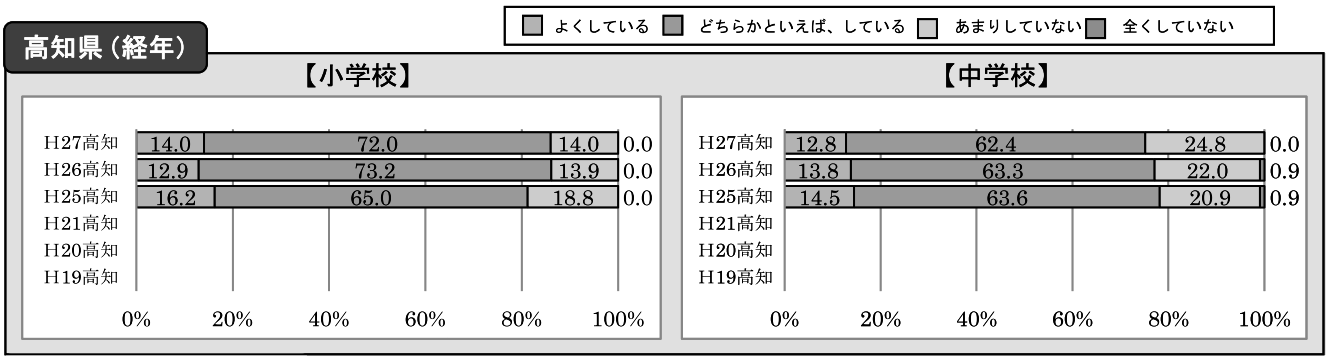
平成 27 年度調査結果



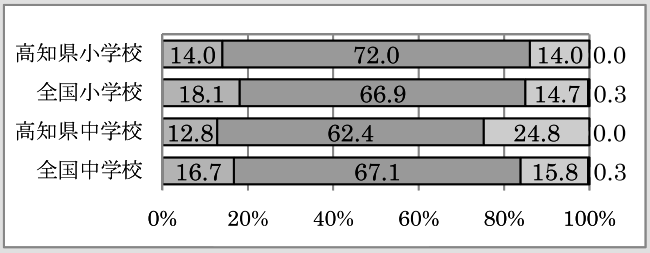
肯定群の割合は、小学校では１００％であり、中学校では全国とほぼ同じです。全教職員で学力調査の結果等を基に、学力状況だけでなく、改善策を共有し、学校がチームとして取り組みを進め、成果につなげることが大切です。

【知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか】

高知県（経年）



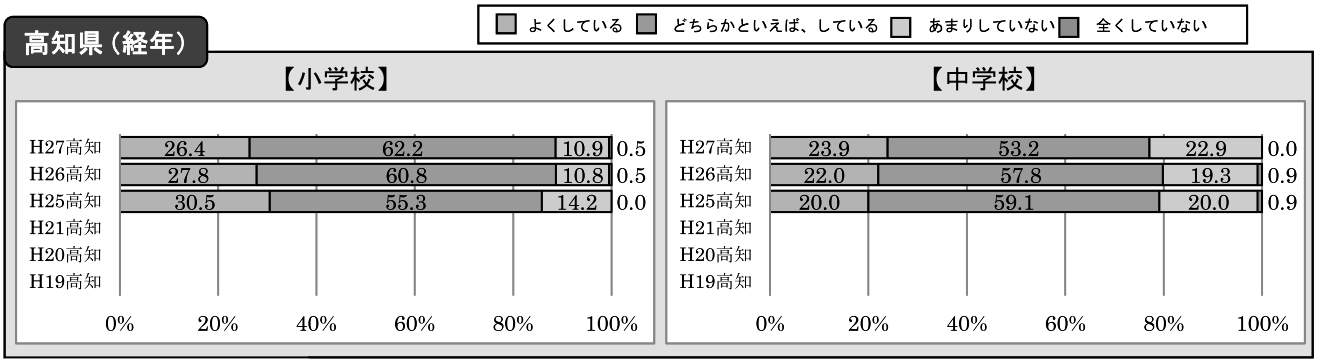
平成 27 年度調査結果



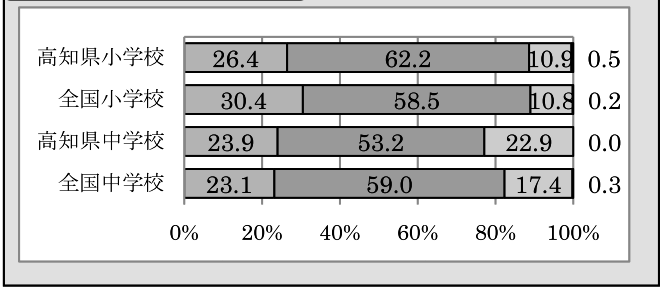
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では８．６ポイント下回っています。知識・技能を活用することは、思考力・判断力・表現力等を育成することにつながり、これからの社会を生き抜く児童生徒には欠かせません。各教科の指導計画に知識・技能の活用の場面を必ず位置付け、授業において実践していくことが重要です。

【言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか】

高知県（経年）



平成 27 年度調査結果



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じですが、中学校では５．０ポイント下回っています。言語活動は、各教科の目標を達成するための一つのツールです。単元や授業の目標を達成するために、どの場面でどのような言語活動を位置付けるのかを計画し、実践していくことが大切です。

6 質問紙調査結果一覧

児童質問紙調査

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（1）	朝食を毎日食べていますか	−0.1	95.5	4.4	95.6	4.3	
（2）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	0.2	79.7	20.3	79.5	20.5	
（3）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	−0.7	90.3	9.8	91.0	8.9	
（4）	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	−0.4	94.1	5.9	94.5	5.5	
（5）	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	2.2	78.6	21.3	76.4	23.5	
（6）	自分には、よいところがあると思いますか	0.9	77.3	22.6	76.4	23.6	
（7）	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	1.4	52.6	47.4	51.2	48.8	
（8）	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	0.6	93.5	6.5	92.9	7.1	
（9）	将来の夢や目標を持っていますか	−0.4	86.1	13.9	86.5	13.4	
（18）	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	−2.1	77.4	22.6	79.5	20.4	
（19）	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	−0.9	95.7	4.1	96.6	3.3	
（20）	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	2.1	64.9	35.1	62.8	37.2	
（21）	家で、学校の宿題をしていますか	0.1	96.9	3.1	96.8	3.2	
（22）	家で、学校の授業の予習をしていますか	−0.8	42.6	57.4	43.4	56.5	
（23）	家で、学校の授業の復習をしていますか	1.5	56.0	43.8	54.5	45.4	
（24）	学校に行くのは楽しいと思いますか	−0.5	86.5	13.4	87.0	13.0	
（26）	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	0.2	86.3	13.4	86.1	13.7	
（27）	今住んでいる地域の行事に参加していますか	−9.0	57.9	42.0	66.9	33.0	
（28）	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	0.2	64.1	35.8	63.9	36.1	
（29）	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	3.9	48.7	51.3	44.8	55.1	
（31）	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	−2.7	81.6	18.3	84.3	15.6	
（32）	学校のきまりを守っていますか	0.1	91.2	8.8	91.1	8.9	
（33）	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	0.4	94.3	5.6	93.9	6.1	
（34）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.8	97.0	2.8	96.2	3.6	
（35）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	0.7	94.4	5.6	93.7	6.2	
（36）	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	3.9	89.3	10.8	85.4	14.4	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（37）	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	−2.7	63.1	36.9	65.8	33.9	
（38）	５年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	2.9	89.6	10.4	86.7	13.2	
（39）	５年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	1.6	86.8	13.2	85.2	14.7	
（40）	５年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	3.0	77.2	22.8	74.2	25.7	
（41）	５年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	1.4	87.7	12.2	86.3	13.6	
（42）	５年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	3.0	78.3	21.6	75.3	24.5	
（43）	５年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	1.6	88.7	11.2	87.1	12.8	
（44）	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	2.7	62.8	37.1	60.1	39.8	
（45）	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	−0.8	54.4	45.6	55.2	44.7	
（46）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	1.7	68.6	31.3	66.9	33.0	
（48）	国語の勉強は好きですか	2.5	63.6	36.4	61.1	38.7	
（49）	国語の勉強は大切だと思いますか	1.9	93.9	6.0	92.0	7.9	
（50）	国語の授業の内容はよく分かりますか	1.4	83.4	16.6	82.0	17.8	
（51）	読書は好きですか	6.0	78.8	21.1	72.8	27.2	
（52）	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.3	91.9	8.0	88.6	11.3	
（53）	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	3.6	68.8	31.1	65.2	34.6	
（54）	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	2.5	63.7	36.2	61.2	38.6	
（55）	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	1.9	74.6	25.3	72.7	27.2	
（56）	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	2.1	79.3	20.6	77.2	22.7	
（57）	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	5.2	82.9	16.6	77.7	21.6	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合
（58）	算数の勉強は好きですか	2.7	69.3	30.6	66.6	33.2	
（59）	算数の勉強は大切だと思いますか	1.5	94.6	5.3	93.1	6.8	
（60）	算数の授業の内容はよく分かりますか	2.2	83.2	16.8	81.0	18.8	
（61）	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	5.0	82.5	17.4	77.5	22.3	
（62）	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	3.5	83.1	16.8	79.6	20.2	
（63）	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	3.2	70.9	29.0	67.7	32.2	
（64）	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	1.9	92.2	7.7	90.3	9.5	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（65）	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	2.3	81.4	18.6	79.1	20.6	
（66）	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	1.8	82.4	17.5	80.6	19.2	
（67）	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	0.2	84.0	15.9	83.8	16.0	
（68）	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	5.7	79.0	20.3	73.3	25.9	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合
（69）	理科の勉強は好きですか	−0.7	82.8	17.2	83.5	16.2	
（70）	理科の勉強は大切だと思いますか	2.4	89.3	10.6	86.9	12.8	
（71）	理科の授業の内容はよく分かりますか	−0.5	87.4	12.5	87.9	11.9	
（72）	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	−0.6	86.3	13.6	86.9	12.8	
（73）	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	3.6	72.9	27.0	69.3	30.4	
（74）	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	4.8	79.3	20.6	74.5	25.2	
（75）	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	−0.4	28.4	71.5	28.8	70.9	
（76）	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	2.8	57.7	42.1	54.9	44.8	
（77）	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	2.7	92.7	7.1	90.0	9.5	
（78）	観察や実験を行うことは好きですか	0.6	90.7	9.0	90.1	9.6	
（79）	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	0.3	75.6	24.3	75.3	24.4	
（80）	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	0.8	81.2	18.5	80.4	19.2	
（81）	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	1.9	69.0	30.6	67.1	32.5	
（82）	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	4.1	80.2	18.3	76.1	22.5	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合
（83）	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語Ａ）	6.1	89.4	10.2	83.3	16.1	
（84）	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語Ｂ）	6.2	73.8	25.8	67.6	31.9	
（85）	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数Ａ）	4.7	89.3	10.3	84.6	14.8	
（86）	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数Ｂ）	0.8	64.5	35.1	63.7	35.8	
（87）	調査問題の解答時間は十分でしたか（理科）	−0.2	79.4	20.1	79.6	19.8	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太　字」は、全国の肯定群の割合より３ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より３ポイントをこえて低い質問事項

生徒質問紙調査

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（1）	朝食を毎日食べていますか	−2.1	91.4	8.5	93.5	6.6	
（2）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	2.6	77.8	22.1	75.2	24.7	
（3）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	0.3	92.4	7.3	92.1	7.8	
（4）	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	−0.1	94.1	5.8	94.2	5.8	
（5）	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	0.2	69.0	30.9	68.8	31.2	
（6）	自分には、よいところがあると思いますか	1.3	69.4	30.5	68.1	31.8	
（7）	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	−0.8	48.8	51.0	49.6	50.3	
（8）	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	−0.9	92.1	7.7	93.0	6.9	
（9）	将来の夢や目標を持っていますか	1.4	73.1	26.6	71.7	28.1	
（18）	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	−4.5	69.2	30.6	73.7	26.3	
（19）	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	−3.3	80.1	19.5	83.4	16.2	
（20）	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	5.4	54.2	45.7	48.8	51.1	
（21）	家で、学校の宿題をしていますか	−1.7	87.6	12.2	89.3	10.5	
（22）	家で、学校の授業の予習をしていますか	−4.3	31.0	68.8	35.3	64.5	
（23）	家で、学校の授業の復習をしていますか	8.2	60.2	39.5	52.0	47.9	
（24）	学校に行くのは楽しいと思いますか	−2.9	79.2	20.7	82.1	17.8	
（26）	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	−2.0	82.2	16.3	84.2	14.6	
（27）	今住んでいる地域の行事に参加していますか	−4.7	40.1	59.7	44.8	55.1	
（28）	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	0.8	56.7	43.1	55.9	44.0	
（29）	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	4.4	37.3	62.6	32.9	67.0	
（31）	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	−2.8	81.1	18.1	83.9	15.5	
（32）	学校の規則を守っていますか	−0.6	93.8	6.1	94.4	5.5	
（33）	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	−1.1	93.8	6.1	94.9	5.0	
（34）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.7	94.4	5.5	93.7	6.2	
（35）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	0.2	93.9	5.9	93.7	6.2	
（36）	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	6.0	80.6	19.3	74.6	25.2	
（37）	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	3.9	61.9	37.8	58.0	41.6	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（38）	１、２年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	0.4	86.3	13.5	85.9	14.0	
（39）	１、２年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	8.3	86.5	13.4	78.2	21.8	
（40）	１、２年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	8.1	73.8	25.9	65.7	34.2	
（41）	１、２年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	8.6	88.3	11.5	79.7	20.3	
（42）	１、２年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	6.7	66.0	33.8	59.3	40.5	
（43）	１、２年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	8.0	81.7	17.8	73.7	26.0	
（44）	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	2.5	66.9	32.9	64.4	35.6	
（45）	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	2.6	67.0	32.8	64.4	35.5	
（46）	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	1.6	64.5	35.1	62.9	36.8	
（48）	国語の勉強は好きですか	1.5	62.0	37.7	60.5	39.4	
（49）	国語の勉強は大切だと思いますか	0.3	90.2	9.5	89.9	10.0	
（50）	国語の授業の内容はよく分かりますか	−2.2	72.1	27.5	74.3	25.6	
（51）	読書は好きですか	3.3	71.2	28.5	67.9	31.8	
（52）	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	2.1	86.3	13.5	84.2	15.6	
（53）	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	5.2	64.4	35.3	59.2	40.7	
（54）	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	2.7	56.7	43.1	54.0	45.8	
（55）	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	0.9	66.6	33.1	65.7	34.1	
（56）	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	−0.3	70.3	29.3	70.6	29.2	
（57）	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	−1.0	75.4	23.7	76.4	22.9	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合
（58）	数学の勉強は好きですか	3.6	59.6	40.2	56.0	43.8	
（59）	数学の勉強は大切だと思いますか	1.5	84.1	15.7	82.6	17.2	
（60）	数学の授業の内容はよく分かりますか	−1.4	70.2	29.5	71.6	28.3	
（61）	数学ができるようになりたいと思いますか	−0.5	91.0	8.6	91.5	8.2	
（62）	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	1.7	71.5	28.3	69.8	30.0	
（63）	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	4.7	45.6	54.2	40.9	58.9	
（64）	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.6	76.1	23.6	72.5	27.3	
（65）	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	1.2	68.7	30.9	67.5	32.3	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（66）	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	2.9	73.0	26.7	70.1	29.6	
（67）	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	−0.2	80.4	19.3	80.6	19.1	
（68）	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	3.8	55.1	44.5	51.3	48.3	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合
（69）	理科の勉強は好きですか	−1.8	60.1	39.6	61.9	37.8	
（70）	理科の勉強は大切だと思いますか	2.6	71.9	27.8	69.3	30.3	
（71）	理科の授業の内容はよく分かりますか	−4.7	62.1	37.6	66.8	32.9	
（72）	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	1.5	77.0	22.3	75.5	24.1	
（73）	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	3.5	50.4	49.3	46.9	52.8	
（74）	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	4.9	59.2	40.3	54.3	45.3	
（75）	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	0.5	23.4	76.2	22.9	76.7	
（76）	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	2.9	41.3	58.3	38.4	61.2	
（77）	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	−7.6	76.3	23.1	83.9	15.5	
（78）	観察や実験を行うことは好きですか	−2.7	77.4	22.2	80.1	19.4	
（79）	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	−2.0	53.0	46.6	55.0	44.6	
（80）	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	−5.2	62.0	37.6	67.2	32.3	
（81）	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	−1.4	53.6	45.8	55.0	44.5	
（82）	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	0.7	52.5	45.9	51.8	46.9	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合
（83）	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語Ａ）	−2.6	91.8	7.6	94.4	5.1	
（84）	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語Ｂ）	−2.4	83.6	16.0	86.0	13.5	
（85）	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学Ａ）	−2.8	87.8	11.9	90.6	8.8	
（86）	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学Ｂ）	−3.5	73.1	26.5	76.6	22.9	
（87）	調査問題の解答時間は十分でしたか（理科）	−4.0	81.3	18.3	85.3	14.2	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太　字」は、全国の肯定群の割合より３ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より３ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（小学校）

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（15）	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（「学校司書」など）が置かれていますか（ボランティアを除く）	2.0	18.1	81.3	16.1	83.4	肯定群は常勤もしくは非常勤の職員が置かれている割合
（16）	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	1.2	93.8	6.2	92.6	7.5	
（17）	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	2.6	92.8	7.3	90.2	9.8	
（18）	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	0.7	89.1	10.9	88.4	11.5	
（19）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	−2.5	69.4	30.5	71.9	28.1	
（20）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	0.4	84.4	15.5	84.0	15.9	
（21）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	−2.4	63.7	36.2	66.1	33.8	
（24）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	33.2	94.3	5.7	61.1	38.8	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
（25）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	2.6	50.2	49.8	47.6	52.2	肯定群は月に数回程度以上行った割合
（26）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	38.3	56.0	44.0	17.7	82.0	肯定群は週に2〜3回以上行った割合
（27）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	−1.5	0.5	99.5	2.0	97.5	肯定群は月に数回程度以上行った割合
（28）	調査対象学年の児童に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	14.9	42.5	57.5	27.6	72.0	肯定群は延べ5日以上行った割合
（29）	調査対象学年の児童に対して､前年度までに､授業の冒頭で目標(めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	0.8	98.9	1.0	98.1	1.7	
（30）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	2.0	95.9	4.1	93.9	6.0	
（31）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	0.1	91.8	8.3	91.7	8.1	
（32）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	2.6	96.9	3.1	94.3	5.6	
（33）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	−0.5	96.8	3.1	97.3	2.6	
（34）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	−0.3	93.8	6.2	94.1	5.7	
（35）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	−1.2	94.3	5.7	95.5	4.5	
（36）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	0.0	81.3	18.7	81.3	18.4	
（37）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	−1.5	71.5	28.5	73.0	27.0	
（38）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	−6.4	84.4	15.5	90.8	9.0	
（39）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	−3.6	82.3	17.6	85.9	13.9	
（40）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	1.3	93.2	6.7	91.9	7.9	
（41）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	9.0	81.4	18.7	72.4	27.5	
（42）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	−2.5	85.0	15.0	87.5	12.4	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(43)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか	0.2	96.9	3.1	96.7	3.2	
(44)	調査対象学年の児童に対して､前年度までに､学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	−0.9	95.3	4.7	96.2	3.6	
(45)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	3.7	79.3	20.7	75.6	24.3	
(46)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む)､電子黒板, 実物投影機, プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	−10.7	55.4	44.6	66.1	33.8	
(47)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	−8.5	29.0	71.0	37.5	62.3	肯定群は月に１回以上行った割合
(48)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板, 実物投影機, プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	−7.6	38.4	61.6	46.0	53.8	肯定群は月に１回以上行った割合
(49)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	−4.5	57.0	43.0	61.5	38.2	肯定群は月に１回以上行った割合
(50)	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	1.4	99.5	0.5	98.1	1.6	
(51)	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	3.2	99.0	1.0	95.8	3.9	
(52)	平成２６年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載, 保護者会等での説明を含む）	0.1	88.1	11.9	88.0	11.7	
(53)	平成２６年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	−1.4	86.0	14.0	87.4	12.3	
(54)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	6.5	98.4	1.5	91.9	7.8	
(55)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	−18.4	41.0	59.1	59.4	40.4	否定群は行っていない割合
(56)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	−19.2	33.2	66.8	52.4	47.4	否定群は行っていない割合
(57)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に, ティームティーチングによる指導を行いましたか	−7.7	57.0	43.0	64.7	35.1	否定群は行っていない割合
(58)	調査対象学年の児童に対して, 理科の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	2.4	28.5	71.5	26.1	73.5	否定群は行っていない割合
(59)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	8.1	81.9	18.1	73.8	26.0	
(60)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	12.4	57.0	43.0	44.6	55.3	
(61)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	−5.4	83.9	16.1	89.3	10.6	
(62)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	3.5	95.4	4.7	91.9	8.0	
(63)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	2.5	87.1	13.0	84.6	15.2	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（64）	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	0.6	98.5	1.6	97.9	1.9	
（65）	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	2.0	93.8	6.2	91.8	8.1	
（66）	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	5.3	66.9	33.1	61.6	38.3	
（67）	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	0.6	69.9	30.0	69.3	30.6	
（68）	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	0.0	97.4	2.6	97.4	2.5	
（69）	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	−2.0	5.2	94.8	7.2	92.5	
（70）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	12.0	67.8	32.1	55.8	44.0	
（71）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	7.7	54.9	45.1	47.2	52.7	
（72）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	−3.9	76.1	23.8	80.0	19.8	
（73）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	−13.0	71.0	29.0	84.0	15.8	
（74）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	−7.0	74.6	25.4	81.6	18.2	
（75）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	−5.2	88.6	11.4	93.8	6.0	
（76）	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか	−6.1	86.0	14.0	92.1	7.8	
（77）	調査対象学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	−11.1	2.1	97.9	13.2	86.7	
（78）	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に理科室で児童が観察や実験をする授業を１クラス当たりどの程度行いましたか	−0.6	95.9	4.1	96.5	3.2	
（79）	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	1.5	90.7	9.3	89.2	10.5	
（80）	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	4.3	71.0	29.0	66.7	33.2	
（81）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	0.9	77.2	22.8	76.3	23.5	
（82）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	−16.3	24.3	75.6	40.6	59.2	
（83）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	−12.1	24.3	74.6	36.4	63.5	
（84）	調査対象学年の児童に対して、第５学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか（複数回実施した場合は、最も長期のもの）	−3.9	89.7	10.4	93.6	6.2	肯定群は行っている割合
（85）	職場見学や職場体験活動を行っていますか	27.4	69.4	30.6	42.0	57.8	
（86）	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	0.3	97.4	2.6	97.1	2.7	
（87）	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	−6.4	77.7	22.3	84.1	15.8	
（88）	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	−2.8	92.8	7.2	95.6	3.7	
（89）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	0.4	100.0	0.0	99.6	0.3	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(90)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.7	100.0	0.0	98.3	1.5	
(91)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	0.4	100.0	0.0	99.6	0.3	
(92)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.6	100.0	0.0	98.4	1.4	
(93)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数共通）	−1.7	94.8	5.2	96.5	3.3	
(94)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数共通）	8.3	95.4	4.7	87.1	12.7	
(95)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	6.5	86.0	14.0	79.5	20.4	
(96)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数共通）	2.0	91.8	8.3	89.8	10.1	
(97)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	8.1	48.1	51.9	40.0	59.9	
(98)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	−4.5	79.8	20.3	84.3	15.5	
(99)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	5.1	78.7	21.3	73.6	26.3	
(100)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	6.2	99.5	0.5	93.3	6.7	
(101)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	0.3	95.8	4.1	95.5	4.4	
(102)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	0.3	97.4	2.6	97.1	2.8	
(103)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	10.9	79.4	20.1	68.5	31.0	肯定群は年間7回以上実施した割合
(104)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	0.1	95.9	3.6	95.8	4.0	
(105)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	−2.0	93.8	6.2	95.8	4.1	
(106)	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	1.0	86.0	14.0	85.0	15.0	
(107)	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	−0.3	88.6	11.4	88.9	11.0	
(108)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	4.7	93.3	6.7	88.6	11.4	
(109)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	−1.4	90.2	9.8	91.6	8.3	
(110)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	1.7	100.0	0.0	98.3	1.6	
(111)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	1.4	99.0	1.0	97.6	2.3	
(112)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	−3.4	89.7	10.4	93.1	6.8	肯定群は週に2〜3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太　字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（中学校）

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
（15）	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（「学校司書」など）が置かれていますか（ボランティアを除く）	−1.4	17.4	81.7	18.8	80.2	肯定群は常勤もしくは非常勤の職員が置かれている割合
（16）	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	−0.2	89.0	11.0	89.2	10.6	
（17）	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	0.3	93.6	6.4	93.3	6.5	
（18）	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	−1.2	89.9	10.1	91.1	8.8	
（19）	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	−0.5	68.8	31.2	69.3	30.5	
（20）	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	0.2	85.4	14.7	85.2	14.6	
（21）	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	4.2	71.5	28.4	67.3	32.5	
（24）	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	14.3	94.5	5.5	80.2	19.6	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
（25）	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	1.5	11.9	87.2	10.4	89.2	肯定群は月に数回程度以上行った割合
（26）	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	35.5	50.4	49.5	14.9	84.9	肯定群は週に2〜3回以上行った割合
（27）	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	−1.5	1.8	98.1	3.3	96.5	肯定群は月に数回程度以上行った割合
（28）	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	27.1	84.4	15.6	57.3	42.5	肯定群は延べ5日以上行った割合
（29）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	2.5	98.2	1.8	95.7	4.2	
（30）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	0.9	91.8	8.3	90.9	9.1	
（31）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	4.1	90.8	9.2	86.7	13.2	
（32）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	3.3	95.4	4.6	92.1	7.6	
（33）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	1.1	95.4	4.6	94.3	5.6	
（34）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	−5.7	76.2	23.8	81.9	18.0	
（35）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	4.4	93.6	6.4	89.2	10.7	
（36）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	−5.6	73.4	26.6	79.0	20.8	
（37）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	−5.5	57.8	42.2	63.3	36.6	
（38）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	−8.3	69.7	30.3	78.0	21.8	
（39）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	−6.6	71.5	28.4	78.1	21.7	
（40）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	1.2	89.0	11.0	87.8	12.0	
（41）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	−1.0	95.4	4.6	96.4	3.4	
（42）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	0.8	83.5	16.5	82.7	17.2	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(43)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	2.3	98.1	1.8	95.8	4.0	
(44)	調査対象学年の生徒に対して､前年度までに､学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	−0.2	97.2	2.8	97.4	2.5	
(45)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	−1.5	66.9	33.0	68.4	31.4	
(46)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む)､電子黒板､実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	−2.9	50.4	49.5	53.3	46.5	
(47)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	−2.6	13.8	86.2	16.4	83.2	肯定群は月に１回以上行った割合
(48)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	0.6	28.4	71.6	27.8	71.8	肯定群は月に１回以上行った割合
(49)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	−5.3	48.6	50.5	53.9	45.6	肯定群は月に１回以上行った割合
(50)	平成２７年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	1.3	98.2	1.8	96.9	2.8	
(51)	平成２７年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	2.2	95.4	4.6	93.2	6.6	
(52)	平成２７年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	−3.1	80.8	19.3	83.9	15.8	
(53)	平成２７年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	−2.5	78.0	22.0	80.5	19.2	
(54)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	7.5	95.4	4.6	87.9	11.8	
(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	−4.8	41.3	58.7	46.1	53.7	否定群は行っていない割合
(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	−9.4	30.3	69.7	39.7	60.1	否定群は行っていない割合
(57)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	6.2	63.2	36.7	57.0	42.7	否定群は行っていない割合
(58)	調査対象学年の生徒に対して、理科の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	3.7	26.6	72.5	22.9	76.7	否定群は行っていない割合
(59)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	1.6	79.8	20.2	78.2	21.6	
(60)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	−3.0	57.8	42.2	60.8	39.1	
(61)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	3.0	86.2	13.7	83.2	16.6	
(62)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	−3.7	90.8	9.2	94.5	5.4	
(63)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	−0.4	86.3	13.8	86.7	13.2	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(64)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	0.0	98.2	1.8	98.2	1.7	
(65)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	2.6	91.7	8.2	89.1	10.7	
(66)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	2.5	67.9	32.2	65.4	34.4	
(67)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	−4.6	58.8	41.3	63.4	36.4	
(68)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	1.0	97.3	2.8	96.3	3.5	
(69)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	1.0	79.8	20.2	78.8	21.1	
(70)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	−4.7	57.8	42.2	62.5	37.4	
(71)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	−4.6	83.5	16.5	88.1	11.8	
(72)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか	−10.6	68.8	31.2	79.4	20.5	
(73)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	−12.6	53.2	46.8	65.8	33.9	
(74)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか	−7.8	83.5	16.5	91.3	8.5	
(75)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか	−19.1	57.8	42.2	76.9	22.8	
(76)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業やその準備において、前年度に観察実験補助員が配置されていましたか	−2.8	0.9	99.1	3.7	96.1	
(77)	調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に理科室で生徒が観察や実験をする授業を２クラス当たりどの程度行いましたか	−3.6	92.7	7.3	96.3	3.3	
(78)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	−1.0	85.3	13.7	86.3	13.4	
(79)	教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	11.7	87.2	12.9	75.5	24.3	
(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	7.2	66.0	33.9	58.8	41.0	
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	−9.5	14.7	85.3	24.2	75.6	
(82)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	1.1	16.6	83.5	15.5	84.3	
(83)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	1.5	100.0	0.0	98.5	1.2	
(84)	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	−4.2	90.9	9.2	95.1	4.7	
(85)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	−8.2	61.5	38.6	69.7	30.0	
(86)	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	−3.8	86.2	11.9	90.0	8.6	
(87)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	3.4	94.5	5.5	91.1	8.7	
(88)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.7	95.4	4.6	93.7	6.0	
(89)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	4.9	98.2	1.8	93.3	6.5	

質問番号	質問事項	高知県肯定群−全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(90)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	2.6	96.3	3.7	93.7	6.0	
(91)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／数学共通）	−5.0	78.9	21.1	83.9	16.0	
(92)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	5.9	84.4	15.6	78.5	21.4	
(93)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）	−8.3	57.8	42.2	66.1	33.6	
(94)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／数学共通）	−1.2	84.5	15.6	85.7	14.0	
(95)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	−0.7	72.5	27.5	73.2	26.4	
(96)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか	−23.4	57.8	42.2	81.2	18.4	
(97)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	−9.9	78.0	22.0	87.9	11.6	
(98)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	12.4	98.2	1.8	85.8	14.1	
(99)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	1.5	89.0	11.0	87.5	12.5	
(100)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	0.3	93.6	6.4	93.3	6.6	
(101)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	30.5	78.0	22.0	47.5	52.4	肯定群は年間7回以上実施した割合
(102)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	2.2	94.5	5.5	92.3	7.6	
(103)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	−3.8	90.0	10.1	93.8	6.1	
(104)	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	−8.6	75.2	24.8	83.8	16.1	
(105)	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	−5.0	77.1	22.9	82.1	17.7	
(106)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	6.8	84.4	15.6	77.6	22.4	
(107)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	1.6	88.1	11.9	86.5	13.4	
(108)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	1.5	99.1	0.9	97.6	2.4	
(109)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	−0.7	95.4	4.6	96.1	3.7	
(110)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	−5.2	76.2	22.9	81.4	18.3	肯定群は週に2〜3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太　字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項